

四、時々通俗講演會ヲ開キ思想善導ヲ圖ル

會員數及分布狀況

會員 百七十三名

内 沼津市 百六十八名

其他 五名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

代表者 理事 神原 日祐

理事 林 彦明 同 横山 政靜

同 上村 義秀 同 間瀬 宗眠

同 天岫 接三 同 佐久間 眞應

同 笹津 海學 同 島本 智圓

同 木村 日舜 同 勸山 成景

ロ、職員(理事ノ内)

専任 林 彦明 同 上村 義秀

同 島本 智圓

資産(種目別)

一、基本金 二千九百七十圓

二、器具 七十五圓

維持方法

預金利息寄附金補助金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三七五、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 四八五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 歳入 六〇〇、〇〇

金百圓 沼津市役所ヨリ 昭和二年度補助金

名稱 榛原郡佛教積善會

事務所々在地 榛原郡川崎町釣學院

創設年月日 大正九年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 大石 廉 一

沿革概要

大正二年二月遠州教化積善會榛原支部トシテ創立シ専ラ
免囚保護ヲ目的トシテ重ニ間接保護ヲ取扱ヒ來リシカ歐
洲大戰後思想ノ動搖人心ノ荒廢ニ鑑ミ教化事業ノ必要ヲ
感シ大正九年十一月十日榛原郡佛教積善ト改稱シ社會百
般ノ教化事業ヲ爲スニ至テ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 佛教本來ノ思想ニ依リ信念ヲ培養シ國民道德
ヲ鼓吹思想善導ヲ目的トス

ロ、事業 1 教化の活動寫眞映畫會及講演會

2 青年修養會

3 免囚間接保護

4 講習會

會員數及分布狀況

本郡内各町村若クハ聯合ヲ以テ分會ヲ置ク現在左ノ如シ

榛原郡佛教積善會 同 川根分會 同 初倉分會
善會金谷分會 同 坂部分會 同 勝間田分會
同 吉田分會 同 相良分會 同 榛南分會
同 萩間分會 同 五和分會

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 大石 廉 一

副會長 兒 玉 視 虔

幹事 鈴木 寬 鳳 同 鈴木 惠 全

同 稻 萬 仙 雄 同 眞 川 一 入

常任幹事 西 村 隆 教

資産(種目別)

基本金 一千四百六十四圓

維持方法

會費及基金利子補助金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三八〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三八二、〇六
歳出 二三七、二〇

昭和三年度豫算額 歳入 四四〇、〇〇
歳出

奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金五十六圓 遠州佛教積善會補助金 (二年度)

金四十圓 縣聯合會 補助金 (同)

金九十六圓 (遠州佛教積善會) 補助金 (三年度)

(静岡縣聯合會)

名稱 熊村乃木講社

事務所々在地 磐田郡熊村一、九七七ノ二

創設年月日 大正十年四月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 小 出 薫

沿革概要

大正九年七月二十四日本村ニ於テ陸軍簡閱點呼執行ノ際
當時磐田郡聯合會長ニシテ中泉乃木講社相談役タル陸軍

歩兵大佐尾倉千萬多殿來村セラレ乃木講ニ關スル趣意其
他ノ御話アリ其設立ヲ唱導セラレ即チ有志相謀リ設立ノ

コトニ決シ翌大正十一年四月十九日發會式ヲ舉ケ同五月

十三日東京講元ヨリ承認狀ヲ交付セラレ

爾來乃木講ノ趣意目的トスルモ乃木御夫婦ノ心ヲ以テ心

トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵ミ質素ヲ守ルニ意ヲ注ギテ毎月十三

日例會ヲ開キテ講話ヲナシ大正十年ニハ講元取締澁谷中

將閣下ヲ大正十四年ニハ講元相談役伊豆少將閣下ヲ聘シ

テ講話ヲ乞フ外名士ヲ聘シテ年々講話會ヲ催シ又善行者

ヲ表彰シテ奨励ヲナシ漸ク教化機關タルコトヲ一般ニ認

メラル、ニ至レリ爾來加入講員増加シ現在七十餘名ヲ算

スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 乃木御夫婦ノ心ヲ以テ心トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵

ミ質素ヲ守ルモノトス

ロ、事業 一、毎月十三日講話ヲ開キ宮城遙拜乃木御夫婦

同 大桑 儀一 同 米倉 清一

同 太田 喜一 同 和田 荒助

同 太田 茂

資産(種目別)

一、基本金 三百〇五圓九十四錢

維持方法

講員ノ會費及寄附金

昭和二年度豫算額 通常一ケ年金十圓内外ニテ支辨シ來レリ

名稱 濱名郡佛教報國會

事務所々在地 濱松市高町濱名郡町村長會内

創設年月日 大正十一年六月四日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 (財團法人申請準備中)

ロ、代表者 倉 元 要 一

會員數及分布狀況

本講加入者目下七十三名ニシテ本村内有志ヲ以テ組織スルヲ以
テ講員ト本村各部落ニ涉リテ村有力者、役場吏員、學校職員
軍人會員、青年團員其他一般有志者ヨリ成ル

主ナル役職名並其氏名

相談役 熊 平 春 司 同 石 野 喜 平

同 梶 村 光 次 郎 同 高 橋 新 太 郎

同 馬 淵 粗 谷

世話人(代表者)小 出 薫 同(常務)梶 村 喜 一 郎

同(同)青 山 利 一 同(同)犬 塚 知 一 郎

同 大 石 貞 一 同 石 野 邦 五 郎

沿革概要

創立當初ヨリ基金造成ノタメ會員ニテ行乞ヲ五ヶ年繼續
ヲ以テ現在一萬二千二百圓アリ大正十三年皇太子殿下御
成婚記念トシテ本會基本基金造成ノタメ右會員タル寺院ニ
桐樹ヲ配布植樹セリ昭和二年度ニ於テ御大典記念事業ト
シテ各寺院三百餘ヶ寺ニ梅樹ヲ配布シ尙各町村ニ日曜學
校ヲ開始セリ其他事業トシテハ創立當初ヨリ大體變化ナ
ク其内容ノ充實ニ努メツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 民衆ノ宗教心ニ訴ヘ國民道德ヲ振作シテ世道
人心ノ啓發ニ努メ社會事業教化事業ヲ施設經

營スルヲ目的トス

- 口、事業種類 一、布教、(一宗ニ偏セサルモノ)
- 二、講師派遣 三、講習講演、修養會
- 四、感化救濟 五、施本
- 六、日曜學校 七、總會 八、追弔會

會員數及分布狀況

會員 三百餘ヶ寺ノ寺院住職
郡内各町村ニ亘リ一町村ニ一名乃至十五六名
郡下ヲ六分シテ六支部トス

主ナル役職名並其氏名

- | | |
|--------|---------------|
| 會長 | 倉元要一 |
| 第一部正幹事 | 村松辨雄 |
| 第二部同加藤 | 宗眠 |
| 第三部同 | 荻原本藏 |
| 第四部同鹽 | 谷月局 |
| 第五部同 | 吉田重海 |
| 第六部同伊 | 原徳元 |
| 理事 | 上村良平 幹事長 仲川唱玄 |

資産(種目別)

基本金 一萬二千二百圓 現金

維持方法

團體ノ經費ハ豫算ヲ定ムル所ニヨリ會費寄附金雜收入ヲ以テ充
當シ基金ハ定期預金トシテ銀行ニ預入利倍増殖

昭和二年度豫算額 歳入) 二、三二〇、〇〇

昭和二年度決算額

歳入) 一、四四〇、〇〇

昭和三年度豫算額

歳入) 二、七〇、〇〇

昭和二年度ニ於テ決算額少ナカリシハ修養會ヲ講師ノ都合ニ
ヨリ翌年度ニ延入セシニヨル

奨励金並補助金下附ノ有無

金百圓 昭和二年度 内務省助成金

名稱 藤枝四恩會

事務所々在地 志太郡藤枝町若王寺洞雲寺内

創設年月日 大正十一年十二月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 安井辨義

沿革概要

大正十一年九月藤枝町及西益津村一部ニ各宗寺院有志會
合シテ思想善導ヲ目的トスル團體ヲ組織センコトヲ申合

セテ十二月八日其ノ發會式ヲ舉ク

爾來修養講演會並ニ夏期講習等ヲ開催シテ本會ノ目的達
成ニ努メタリ

昭和二年六月ヨリ保育事業ヲ經營シ假團舎ニテ毎年一百
名位ツ、入園兒ヲ保育シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 社會生活ノ精神タル共存ノ意義ヲ徹底セシム
ル爲メニ四恩報謝ノ念ヲ振興スルニアリ

口、事業ノ種類 一、通俗修養講演會

一、兒童保育事業

會員數及分布狀況

會員數(維持會員) 十七人
(賛成會員) 百十八人

分布狀況 一、藤枝町一圓 一、西益津村一部

主ナル役職名並其氏名

- | | |
|------|------|
| 常任幹事 | 安井辨義 |
| 幹事 | 伊村達之 |

會計 櫻井謙友
同 水野報洲
保育部主任 櫻井謙友

資産(種目別)

金四百圓 現金(基本金)(賛助會員ノ特別喜捨金ナリ)

維持方法

維持會員ノ離出金及賛助會員ノ喜捨金ヲ以テ維持ス

昭和三年度豫算額

歳入 八二八、〇〇
歳出

名稱 岳南佛教會

事務所所在地 沼津市本字出口乘運寺内

創設年月日 大正十一年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 林彦明

沿革概要

大正十一年十二月郡制廢止記念ノ共進會開催セラル、ニ

際シ駿東郡佛教徒ハ別ニ大會ヲ開キテ多年郡制ニ受ケタ

ル餘惠ヲ記念スル爲ニ倍々團結ヲ牢固ニシ進テ各種ノ社

會の教化ニ一致協力センコトヲ宣言シ其レニ最モ緊切ナ

ル決議ヲ爲シタリ翌年三月發會式ヲ舉ケ爾來尤モ順調ニ

發達シ着々其ノ目的遂行ニ努力シテ今日ニ及ヒタリ

目的及事業種類

イ、目的 民衆宗教心ニ訴ヘ國水道德ノ涵養ニ努メ社會

ニ貢獻スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、民力涵養自治促進ノ事業ニ關與幫助スル

コト

二、犯罪防止、不良少年ノ感化ニ盡クスコト

三、人事相談、細民救護ニ力ヲ盡クスコト

四、各所ニ講演會ヲ開クコト

會員數及分布狀況

會員數 二百名 沼津市及駿東郡内十ヶ町村ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

主 事 林彦明 上村義秀

天岫接三 山本玄峰

釋敬俊 増田元徹

山本大善 持田智秀

保田義辨

維持方法

正會員ノ離金其他ノ寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額

歳入 五〇〇、〇〇
歳出

昭和二年度決算額

歳入 四五〇、〇〇
歳出 四三〇、〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 六〇〇、〇〇
歳出

名稱 長泉乃木講

事務所所在地 駿東郡長泉尋常高等小學内

創設年月日 大正十二年六月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 木下秀四郎

沿革概要

大正十二年六月五日東京市麴町紀尾井町六乃木講元ニ發

起者代表願出ス

大正十二年六月十三日承認サル以後今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 乃木大將御夫婦ノ徳ヲ慕ヒ講員各自ノ精神修

養ヲ旨トシ兼ネテ國家社會ノ爲メニ奉仕セン

トス

ロ、事業 毎月十三日修養會、年一、二回名士ノ講演會

九月十三日祭式、會員ノ慶弔其他次月修養會

ニナスヘキ事項トシテ臨時ニ定ム

會員數及分布狀況

駿東郡長泉村 二一名 田方郡三島町一名

沼津市 三名

主ナル役職名並其氏名

取 締 陸軍歩兵少佐 木下秀四郎
相談役 安生慶三郎
世話人 野崎守太郎
會計 富岡一郎

資産(種目別)

基本金 一百圓

維持方法

基財産利子 講員會費(一人毎月十錢) 寄附金

昭和二年豫算額

歳入 約五〇、〇〇
歳出

昭和二年決算額

歳入 約五〇、〇〇
歳出

昭和三年豫算額

歳入 約五〇、〇〇
歳出

名稱 笠原村乃木講社

事務所所在地 小笠原笠原村山崎三十五番地

創設年月日 大正十二年九月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 塚崎操

沿革概要

大正十二年九月十三日創立

大正十二年九月二十四日秋季皇靈祭日村社

三輪神社ニ創立發會奉告祭舉行

大正十四年四月六、七日兩日乃木講元ニテ開催ノ各講社

代表者第一回大會ニ代表塚崎操氏出席ス

昭和四年三月靜岡縣教化團體聯合會ニ加入ス

目的及事業種類

敬神崇祖ノ實行ヲ旨トシ質實剛健ノ風ヲ養ヒ乃木大將御夫婦ノ心ヲ以テ心トシ精神修養ヲ圖リ神ヲ敬ヒ業ヲ勵シ質素ヲ守ルヲ以テ目的トス
事業 一、神社參拜 二、講演會開催 三、九月十二日

乃木將軍祭典舉行

其ノ他精神修養上必要トスル事項

會員數及分布狀況

會員數 二五

分布狀況 笠原村、三輪區

當講員ハ敬神ノ念涵養ノタメ常ニ神社參拜ヲス村社三輪神社ヲ

中心トシ氏子ノ有志ニテ組織ス

主ナル役職名並其氏名 代表者 塚崎操

維持方法

講員酬金寄附金

名稱 安倍郡社會教化會

事務所所在地 靜岡市追手町安倍郡公會堂

創設年月日 大正十三年四月二十一日

沿革概要

經營主體又ハ代表者 代表者 龜谷弘岳

大正十三年四月一日安倍郡長酒見新一氏ノ主唱ノ下ニ安倍郡神職僧侶教導職ヲ中心トシテ安倍郡社會教化會ヲ組織シ大正十五年六月二十七日會則改正ヲナシ安倍郡内各村寺院住職ヲ以テ組織スルコト、ス

目的及事業種類

目的 官公署及各種團體ト聯絡シ屢々御下附ノ勅語詔書ノ御趣旨ヲ奉戴シ世道人心ヲ啓導シ國民道德ノ涵養ニ努メ以テ地方ノ振興ヲ期スルヲ目的トス

會員數及分布狀況

會員數 百二十四人

安倍郡内各村寺院住職ヲ會員トセルヲ以テ一村内一人ヲ最寡トシ一村内二十一人ヲ最多トス

主ナル役職名並其氏名

會長 缺
副會長 龜谷弘岳 副會長 渡邊福太郎

幹事 鈴木泰林 同 浪越友禪
 同 珥 璞 道 同 開地清純
 同 成瀬東岳 同 見城十作
 同 松永鹿藏

維持方法

會員ノ會費及安倍郡町村會長ノ補助金ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 四〇七、〇〇
 歲出 四〇七、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 五四二、四九
 歲出 二一一、八六

昭和三年度豫算額 歲入 五五一、〇〇
 歲出 五五一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

安倍郡町村長會リ 昭和二年度 百圓
 同 三年度 五十圓

名稱 國本社静岡支部

事務所々在地 静岡市西草深町八五

創設年月日 大正十三年五月

經營主體又ハ代表者 代表者 三家重三郎

沿革概要

明治大帝ノ遺訓、大正天皇ノ聖諭ヲ拜シ同志ヲ天下ニ求
 メ國家民族ノ急務ニ赴カムト欲シ會長平沼男爵ノ創立ニ
 係ル

内地及韓國ニ支部ヲ設立シ居レリ

目的及事業種類

一、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ目的ト

口、事業 一、國家並ニ國民生活ニ關スル諸般ノ事項ノ
 攻究

二、德行ノ獎勵

三、雜誌並ニ有益ナル著作物ノ發行、紹介

四、講演會ノ開催

五、其他必要ノ事項

會員數及分布狀況

當支部 一百五十名位

主ナル役職名並其氏名

本社顧問元帥 井上良馨
 同 上原勇作
 同 山川健次郎
 同 齋藤實
 會長 平沼騏一郎
 理事 原嘉道 同加藤寬治
 同 宇垣一成 同米山梅吉

其他略之

名稱 静岡縣庵原郡佛教奉詔會

事務所々在地 清水市各種團體聯合會事務所内

創設年月日 大正十三年六月二十九日

經營主體又ハ代表者

一、經營主體 庵原郡佛教各宗寺院

口、代表者 手島慶嚴

沿革概要

大正十二年十一月十日下賜ノ國民精神作興ニ關スル、御
 詔書ヲ奉體シ、一般國民ノ佛教的信念ニ基キ、ソノ御趣
 旨ノ普及徹底ヲ計ラシメ發會以來、文書ニ講演ニソノ
 目的並ニ事業ニ向ツテ邁進シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 一、佛教本來ノ思想ヲ涵養シ、人道ノ本義ヲ
 鼓吹スルコト

二、尊皇奉佛ノ趣旨ヲ徹底シ、國民精神ノ神
 髓ヲ發揮スルコト

三、剛健ノ精神ヲ作興シ、風俗ヲ匡勵シ、實
實敦厚氣風ヲ育成スルコト

口、事業ノ種類

- 一、詔書御趣旨ノ普及徹底
- 二、民力涵養、自治促進、産業振興
- 三、生活改善、風俗匡正、消費節約、時間勵行
- 四、青少年ノ訓育
- 五、婦人ノ淑徳涵養、家庭改善
- 六、人事相談、濟民救護事業
- 七、講演開催、文書發行

會員數及分布狀況

會員數 現在〔寺院
信徒 三百六十名
分布狀況 庵原郡全般

主ナル役職名並其氏名

- 一、役員
- 會長 缺員
 - 副會長 缺員

支部長 各町村長

口、職員 幹事長 手島 慶 嚴

常任幹事 川口 慈 宣 同 安 谷 量 衡
幹事 伊丹 覺 海 同 小 澤 素 元
同 望 月 宗 康 同 田 川 古 道

維持方法

會費及寄附金
昭和二年度豫算額 歲入 二七四、〇〇
昭和二年度決算額 歲入 二七四、〇〇
昭和三年度豫算額 歲入 三九八、〇〇

名稱 西山口村乃木講社

事務所々在地 小笠郡西山口村役場内

創設年月日 大正十四年五月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木實太郎

沿革概要

大正十四年一月頃ヨリ榛葉貫次鈴木實太郎等相圖リ乃木
講社ヲ創立センコトヲ企テ村長消防組頭小學校長等ノ聲
援ヲ得講員ヲ勸誘シ五月十日承認狀ノ交付ヲ受ク此間創
立ニ關シ萬事中泉乃木講社川島氏ノ大ナル斡旋ヲ受ケタ
リ爾來各月十三日ニ例祭並ニ講演會ヲ開キ春秋二回各種
團體ト聯合又ハ單獨ニテ大祭ヲ施行講演會ヲ公開シ中央
名士ノ講演ヲ依頼シタリ講員モ順次増加シ八十名ヲ超加
スルニ至ル

目的及事業種類

- 一、目的 乃木御夫婦ノ心ヲ以テ心トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵
ミ質素ヲ守ルヲ以テ目的トス
- 口、事業 一、各種團體ト聯契シテ教化事業ニ當ル
二、講演會修養會ヲ開キ身神ノ修養ニ資ス

三、雜誌乃木講友ノ責任購讀
四、明治神宮乃木神社ノ代參

會員數及分布狀況

一、會員數 八十名
口、分布狀況 村内全般ニ涉ル有志者

主ナル役職名並其氏名

取締 村長 鹽崎 治 一郎
相談役 竹島 藤 一 前田長太郎
菅沼九郎兵衛 杉森 貞 作
菅沼秋太郎 牧野 周 助
常務世話人 榛葉 貫 次 鈴木實太郎

維持方法

會費寄附金其他收入ニ依ル
昭和二年度豫算額 歲入 一五五、〇〇
昭和二年度決算額 歲入 一五〇、〇〇
昭和三年度豫算額 歲入 一七〇、〇〇

名稱 竹麻教化團

事務所々在地 賀茂郡竹麻村正善寺内

創設年月日 大正十五年三月五日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團 法人

代表者 中野實道

沿革概要

國民思想ノ動搖ニ觀シ感化德化同化教化ハ偉大ノ力アル
コトヲ認メテ大正十五年三月五日創立シ宗教宗派ニ偏セ
ス縣社會課ノ方針ニ順應ス

昭和二年三月御大喪映畫購入

昭和三年十一月御大禮映畫購入

詔勅ヲ奉體シ忠孝ノ大道ヲ布演ス

目的及事業種類

イ、目的 一、詔勅ヲ奉體シ國民性ノ精神ヲ鞏固ニシ忠

同 淺見孫之進

口、職員

幹事 竹田祖孝 同 關本天山

同 土屋賢祥 同 中野輝暢

專任幹事 中野實道

資産(種目別)

器具其他物品

活動寫真機 一臺 六百五十圓

御大喪映畫 一卷 八十圓

御大典映畫 三卷 二百六十四圓

漫畫 一卷 五十圓

合計 一千四十四圓

持持方法

助成金 寄附金 分擔費

昭和二年年度豫算額 歲入 一、一〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歲入 一、一〇、〇〇〇

昭和三年年度豫算額 歲入 一、一〇、〇〇〇

孝ノ大道ヲ發揮スルニアリ

二、社會ノ眞善美並智徳力ヲ啓發スルニアリ

三、自治ノ極致ヲ究盡シ穩健着實ノ思想ヲ感
化スルニアリ

四、凡テ採ルヘキモノハ採リ捨ツヘキモノハ
捨テ時勢ト同化スルニアリ

五、法性ノ理ニ順カウ慈愛ノ融和ヲ促進スル
ニアリ

口、事業

活動寫真會ヲ開催シテ前後ニ講演ヲナス
教化ニ關スル印刷物ヲ配布ス

會員數及分布狀況

會員ハ事業ヲ賛成シ贊助スル人ヲ以テ全部會員トナス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 竹麻村長 高橋 恒弘

顧問 大野 久次 同 鈴木勝太郎

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三十圓 竹麻村費ヨリ助成金 昭和二年度

三十圓 同 三年度

名稱 國本社濱松支部

事務所々在地 濱松市利町五八濱松市役所内

創設年月日 大正十五年四月十八日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

代表者 渡邊素夫

沿革概要

大正十五年春時ノ市長渡邊素夫以下同市内有力者國本社
ノ趣旨ヲ賛シ之レカ支部ノ組織ヲ企テ同年四月十八日國
本社會長平沼騏一郎氏其他名士ヲ聘シ濱松市元城町國光
館ニ於テ發會式ヲ舉行爾來雜誌國本ノ傳配シ又ハ講演會
ヲ開催シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、德行ノ獎勵

二、雜誌其他著作物ノ紹介

三、講演會ノ開催

四、其他必要ノ事項

會員數及分布狀況

濱松市内一圓ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

支部長	前濱松市長	渡邊素夫
幹事	前 助役	高 渡 素
同	濱松市 主事	米山喜太郎

維持方法

國本社ヨリ會費ノ半分ヲ分與セラルルニ依リ維持ス

昭和二年度決算額

歲入 一、一八二、七二
歲出

寄附金及其他ノ收入ニヨル

名稱 國本社 沼津支部

事務所々在地 沼津市役所

創設年月日 大正十五年六月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 (支部長缺)

沿革概要

國民精神ヲ涵養振作シ國本ヲ固クシ智徳ノ並進ニ努メ國體ノ精華ヲ顯揚シ國家ノ隆昌民族ノ安寧ヲ測ル爲メ大正十五年六月五日國本社ノ趣旨ニ賛同シ同志ノ者集リテ支部ヲ設ク

目的及事業種類

イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ以テ目的トス

名稱 國本社 三島支部

事務所々在地 田方郡三島町役場

創設年月日 大正十五年四月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 根岸時次郎

目的及事業種類

イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 講演會其他

會員數及分布狀況

二百名 田方郡一圓及駿東郡 長泉村 清水村

主ナル役職名並其氏名

支部長 根岸時次郎

維持方法

ロ、事業 一、國家並國民生活ニ關スル諸般ノ事項ノ攻

究

二、德行ノ獎勵

三、雜誌並有益ナル著作物ノ發行及紹介

四、講演會ノ開催

會員數及分布狀況

會員數 五十名

分布狀況 沼津市内及駿東郡ノ同志ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

支部長缺

評議員 森田泰次郎 同 矢部理朔

同 岩 田 實 同 林 彦 明

同 島 敬四郎 同 寺 田 信 郎

資産(種目別)

四十圓 現金

維持方法

會費ノ十分ノ二ヲ支部費トス

備考

本會ハ本社ヨリ各會ニ雜誌「國本」並國本新聞ヲ配布ス

名稱 國本社安倍郡支部

事務所所在地 静岡市追手町城内安倍郡公會堂

創設年月日 大正十五年六月二十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木勝太郎

沿革概要

大正十五年時ノ静岡郵便局長鹽原時三郎氏及静岡支部長三家重三郎氏等ノ斡旋ト時ノ郡長鈴木勝太郎氏ノ主唱ニヨリ創立當時二百四十九名ノ會員ヲ有シタレトモ其後退會者續出(會費ノ多キ原因ヲ主トス)且郡内大村カ静岡市ニ合併ノ結果會員ハ非常ニ減少シ目下僅ニ九十二名トナル

目的及事業種類

目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スル國本社ノ目的ヲ以テ支部ノ目的トス

會員數及分布狀況

會員 九十二名

安倍郡内各村ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

支部長 鈴木勝太郎(四年四月退)

副支部長 稻葉次郎右衛門(同)

幹事 大村半三郎 同 油上甚太郎

同 島崎清 同 永井儀佐

顧問 見城十作 同 森美之輔

事務主任 渡邊福太郎(四年四月退)

維持方法

會員會費ニ對スルニ割ヲ本社ヨリ交付スルニ付之ヲ維持ス

昭和二年度豫算額

口、事業 一、春秋二季ニ講演會開會ス

二、毎月十三日座談會ヲ開會

會員數及分布狀況

本會員ハ一般ノ人ヨリ成立ス

現在會員ハ六十八名アリ

主ナル役職名並其氏名

役員

顧問 町長 鈴木理一郎

第一小學校長 井上磯三郎

第二小學校長 松浦金一

分會長 平野賢一

署長 太田藤吉

中學校長 佐野兵吉

女學校長 多木悅造

世話人 山村善太郎 小倉降藏

内藤宇一郎

歳入七百五十一圓八十五錢 歳出本部納入五十九圓十七錢 支拂五十七圓十二錢 繰越金(前年ヨリ合算) 百七十五圓七錢 繰越金百七十五圓七錢及ヒ會費ノ二割ヲ以テ維持遂行セントス 附昭和四年度ヨリ豫算表ヲ調製セリ

名稱 掛川町乃木講

事務所所在地 掛川町掛川鹽町公會堂内

創設年月日 昭和二年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 山村善太郎

沿革概要

昭和二年二月現在ノ社會狀態ヲ考フル所アリテ思想善導ノ爲ニ大イニ活動セント思ヒ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 思想善導

維持方法
會費ニヨル

名稱 國本社富士號支部

事務所々在地 富士郡吉原町三百六十六番地

創設年月日 昭和二年七月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 内藤 磯 吉

沿革概要

本社ヨリ機關誌「國本」及國本新聞ヲ會員ニ配布シ、支部設立當時及其後講演會ヲ開催シ尙支部設立一週年記念トシテ書籍ヲ會員ニ配布シ御大典記念トシテ關根正直著述「御大典に就て」ヲ會員ニ配布シタリ

目的及事業種類

イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚ス
ロ、事業種類 一、國家並ニ國民生活ニ關スル諸般ノ事

項ノ攻究

二、德行ノ獎勵

三、雜誌並ニ有益ナル著作物ノ發行及紹介

四、講演會ノ開催

五、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員數 二百十一名

分布狀況郡内上井出村ヲ除ク各町村ニ會員ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

支部長 内藤 磯 吉

資産(種目別)

金三十三圓五十三錢

維持方法

本社ノ委託ニヨリ尙支部會員ノ會費ヲ取立テ其手数料ヲ以テ維持トス

名稱 袋井乃木講社

事務所々在地 袋井町役場

創設年月日 昭和三年四月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 渥 美 寛 一

沿革概要

元袋井町ニ戰友會ナルモノアリ會員僅カニ三十五名ナルモ常ニ戰病者ノ遺族ノ訪問戰歿者ノ墓參ヲナシ來レリ昭和二年柴山中將當町ニ住居セラル、ニ當リ閣下ヲ同會ノ名譽顧問ニ推薦シ常ニ指導ヲ受ケ居レリ然シテ昨三年三月十日同會總會ノ際同會主體トナル閣下ヲ中心ニ乃木講設立ニ決シタリ而シテ元笠西村ヨリモ此ノ舉ヲ傳ヘ聞キ入會ノ申込アリ爾來毎月十三日例會ヲ開會シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 精神修養

ロ、種類 事業トシテ特ニ企畫スルモノナシ

會員數及分布狀況

毎月ノ例會ニ講演會ヲ開催ス

元袋井町 四分

其他ノ隣接村 一分

會員 三百三十八名

主ナル役職名並其氏名

取締役 陸軍中將 柴 山 重 一

相談役 秋 野 孝 道

同 大 場 道 賢(歿)

同 諸 井 清 麿

同 大 谷 純 信

世話人 豊 田 嘉 七 同 高 橋 弘 平

同 伊 藤 新 九 郎 同 小 栗 孝 一

同 島 崎 清 吉 同 渥 美 寛 一

維持方法

必要ニ應シ有志ノ寄附ニ待ツ

名稱 小笠郡南部報德社聯合會

事務所所在地 小笠郡南山村大日本報德社出張所

創設年月日 明治四十二年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 橋本孫一郎

沿革概要

明治四十二年一月松永源次郎、橋本孫一郎、宮本雄一郎ノ發起ニテ大日本報德社ノ許ヲ得テ發會爾來每月會合松永源次郎主事トナリ昭和三年三月退隱、橋本孫一郎後ヲ繼ク

昭和三年二十年祝賀會ヲ開キ其發展ヲ謀ル

目的及事業種類

イ、目的 報德ノ教義ヲ奉シ勤儉推讓ノ道ヲ行フ

ロ、事業 毎日十五日講演會ヲ開キ且ツ善行者ヲ賞勵ス

會員數及分布狀況

小笠郡池新田	合戸	佐倉	朝比奈
新野	篠谷	中尾	南山
勸善	河東	一誠	山田
堂山	川上	古谷	丹野
布引	草鞋	棚草	奈良野
東横地	奥横地	三澤	下平川
ノ二十四德報社			

主ナル役職名並其氏名

會長	主事	橋本孫一郎
幹事取締	松下二十八	同 篠田秋太郎
同	小野勝司	同 漢人重次郎
同	匂坂清次郎	

資産(種目別)

基本金	九十五圓	器具	三十五圓	印刷物	二十圓
合計	百五十圓				

維持方法

寄附金補助金其他ノ收入ニヨル

イ、目的 本會ノ目的ハ佛祖ノ洪範ニ則リ協同和合以テ民衆ノ精神界ヲ指導スルニアリ

ロ、種類 事業ハ各種社會事業

會員數及分布狀況

清水市内各宗寺院住職ヲ會員トナス 約 三十五名

主ナル役職名並其氏名

常任理事	鶴谷誠隆
同	淨見素嶽
評議員	中村辨康
外	七名

維持方法

會員ヨリノ會費ヲ以テ之ニ充當ス 外寄附金

昭和三年度豫算額

歳入 一五〇、〇〇 円

名稱 清水市佛教聯合會

事務所所在地 清水市傳馬町江淨寺内

創設年月日 大正十二年

經營主體又ハ代表者 代表者 鶴谷誠隆

沿革概要

清水市ニ佛教各宗連絡機關ナキ爲メ教化上支障ノ點多クアルヲ認メ創設ス

目的及事業種類

名稱 愛知縣教化團體聯合會

事務所々在 愛知縣廳社會課

創設年月日 昭和三年二月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 小幡 豊治

沿革概要

昭和三年二月二十四日創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 愛知縣ニ於ケル教化事業ノ聯絡ヲ圖リ教化事業ノ實施調査及研究ヲ爲シ其ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、協議會ノ開催
- 二、社會教化事業ニ關スル方針並各般ノ調査研究
- 三、講習會講演會ノ開催
- 四、其他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

主ナル役職名並其氏名

會長 小幡 豊治

副會長 鐘 仁 富治

理事長 畠 田 昌福

維持方法

會費、寄附金、補助金、獎勵金及其他ノ收入ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 八二五、〇〇

歲出

名稱 財團法人名古屋基督教青年會

事務所々在 名古屋市 中區南瓦町三十番地

創設年月日 明治三十五年二月

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

ロ、代表者 楠 太

沿革概要

明治三十五年二月創メテ組織セラレ

明治三十九年學生寄宿舎ヲ開設シ學生間ニ事業ヲナス

明治四十五年中央英語學校ヲ經營ス

大正十三年五月中區南瓦町ニ新會館建築工事ニ着手シ同

十四年二月竣工、紀元節ヲトシ開館、今日ニ至ル

大正十四年二月財團法人設立認可セラル

目的及事業種類

イ、目的 青、少年ノ身體、知識、品性、及社交ノ四面ノ健全ナル發達改善ヲ計リ全人格ノ發展向上ヲ期シ堅實有爲ノ市民ヲ養成シ社會人道ノ爲メ奉仕セントス

ロ、事業

- 修養部 修養講演會、スカウト、講話
- 教育部 名古屋青年學院、英語教授、受験科、夏期講習、圖書室、學術講演、英語雄辯會
- 體育部 機械體操、ゲーム、インドアアスレテイ
- ツクス、體育講習、遠足、登山

社交部 音樂、ゲーム、クラブ、集會、會報發行

社會部 職業紹介、寄宿舎、會員食堂、臨時救濟

海外連絡、視察團

會員數及分布狀況

イ、會員數 計八六〇名

內譯 通常會員 五六三名
特別會員 一五八名
贊助會員 一三九名

ロ、會員分布狀況

名古屋市	東區	三六二名
	中區	三一八名
南區	西區	八一八名
	南區	六五名
縣下市外		一九名
縣外		一五名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 理事長 楠 太
- 理事 菊池 知學 同 長坂萬之助
- 同 尾關 誠一 同 見田重次

理事 木村克己 同 能勢 萬
 同 森 一兵 同 大津賀宅次
 同 都留信郎 同 市村與市
 同 境野周次郎 同 乾覺太郎
 田崎 榮

口、職員
 總主事 増田健三
 名譽主事 シ・イ・ツルマン

資産(種目別)(昭和三年三月三十一日調)
 一、宅地 四萬四千八百三十六圓
 二、建物 七萬二千圓
 三、什器備品 一萬八千七百九十五圓
 四、市公債 一千圓
 五、銀行預金 五千圓
 合計 十四萬一千六百三十一圓

持持方法
 會員ヨリノ會費、補助會員ノ維持費、篤志家ヨリノ寄附、教育

部生徒ノ月謝、並ニ補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年豫算額 歲入 二四、九二四、五〇
 歲出 二一、一二九、八五
 昭和二年決算額 歲入 二〇、九六五、二四
 歲出 二四、五六二、〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 二四、五六二、〇〇
 歲出 二四、五六二、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 金一百圓 愛知縣ヨリノ補助金 昭和二年
 金一百圓 名古屋市ヨリノ補助金 昭和三年度

名稱 名古屋排酒會

事務所所在地 名古屋市中區老松町四丁目一番地
 創設年月日 明治三十八年二月一日
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織
 口、代表者 杉浦武雄

沿革概要

明治三十八年二月名古屋禁酒會ヲ創立シ大正十三年三月
 中京愛生禁酒會ヲ合併シ「名古屋排酒會」ト名稱ヲ改ム
 因ニ大正八年二月日本國民禁酒同盟ニ加盟シ行動ヲ共ニ
 シ今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 飲酒ヲ禁シ個人並ニ社會ノ矯風進徳ヲ圖リ進ンテ
 無酒國ノ實現ヲ期スルニアリ

會員數及分布狀況

會員數 二百二十五名
 分布狀況 名古屋市ヲ中心トシ縣下全般ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

會長 杉浦武雄
 副會長 林喜市郎 同 森馨
 幹事 長尾卷 同 鈴木清節
 同 山本義見 同 那須八郎
 同 瀬上有作

維持方法

會費及寄附金

昭和二年豫算額 歲入 三五〇、〇〇
 歲出 四六四、〇〇
 昭和二年決算額 歲入 四六四、〇〇
 歲出 七五〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 七五〇、〇〇
 歲出 七五〇、〇〇

名稱 社團法人一德會名古屋支會

事務所所在地 名古屋市中區寶町三丁目四番地
 創設年月日 明治四十三年十月三十日
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人
 口、代表者 河村武七

沿革概要

明治四十三年十月ヨリ河村武七一個人ノ經營ニテ毎月講
 演會ヲ開催、翌十四年五月迄ニ一百餘名ノ會員ヲ得本部

規定ニ依リ支部ヲ設立シ爾來、年九同宛ノ講演ヲ開キ昭和三年十二月迄ニ講演會數一百七十一回ニ及ヒ會員數五百餘名ニ達ス

目的及事業種類

イ、目的 教育ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉戴シ倫理道德ノ實踐ヲ獎メ國體ノ精華ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、道德倫理ノ講演

一、美事善行者ノ表彰

一、本部發行ノ會誌(一徳)ノ頒布

會員數及分布狀況

會員數 五百五名

區域内 約四百二十餘名

市外縣外 約八十餘名

主ナル役職名並其氏名

支會長 伊藤 治郎左衛門

副支會長 河 村 武 七

顧問 伊藤由太郎 同 富田重助

同 岡谷惣助 同 神野金之助

同 吹原九郎三郎 同 關戸守彦

同 岡田良右衛門 同 鈴木總兵衛

同 中村與右衛門

理事 長谷部愛治 同 富永勝銳

同 岡田昭義 同 恒川平一

同 櫻山壯次 同 坂倉嘉十郎

同 龜井市治 同 小林清作

(常務) 松永久矣 同 河村丘造

資産(種目別)

基本金 三千六百圓

維持方法

一、本部ヨリノ交附金

一、基本金利子

一、會員寄附金、

昭和二年度豫算額 歲入 五六〇、〇〇

歲出 五六〇、〇〇

目的及事業種類

イ、目的 専ラ、通佛敎主義ニ依リ工場勞務者ノ信仰ノ

涵養、教養、並ニ一般婦女子ノ教化ヲ目的トス

ロ、事業

教化部 工場、警察、鐵道、農村、軍隊、少年會

青年會、婦人會、處女會、學校等講演並

ニ講習會開催

出版部 (幸の泉) 月刊(修養女學校講義錄)(臨

時刊行物)パンフレット

宗教音樂部 樂器ニ依リ宗教的情操ヲ養フヲ以テ

目的トス

教化活動寫眞部 教化師自ラ説明ノ任ニ當リ映畫

教化

體操部 國民體操ヲ教授實習セシメ保健衛生ニ努

ム

和敬同盟會 名古屋へ本部ヲ置支部ヲ各所ニ置ク

昭和二年度決算額

歲入 六六二、七八

昭和三年度豫算額

歲入 五七五、六〇

歲出 六六〇、〇〇

名稱 帝國社會教化團

事務所所在地 名古屋市東區松山町十番地

創設年月日 大正七年一月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 米 本 孝 巖

沿革概要

本團ハ大正六年六月八日、米本孝巖ノ發起者願ニテ、工場布教ノ任命ヲ拜シ、愛知縣工場課ノ承認ヲ得、各工場従業員ノ精神的教養ニ努メタルヲ以テ始メトス

大正七年中原布教團設立以來漸次ソノ發展ヲ見、大正十年一月八日、帝國布教團ト改稱

大正十五年五月、帝國社會教化團ト改稱シ、現在ニ至ル

會員數及分布狀況

(昭和三年四月組織) 現在支部十ヶ所

主ナル役職名並其氏名

顧問 二人

永平寺貫首 北野 元峰 禪師

總持寺貫首 杉 本道 山禪師

總裁 一人

前圓通寺主 陸 巖 巖師

團 長 大洞 良雲 師

副團長 吉田 鐵心 師

理事長 米本 孝巖

資産(種目別)

事務所 一棟 住宅 一棟 物置 一棟

昭和二年度決算額 歳入 四、六四一、八二〇
歳出 四、六一四、二三〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

友會ヲ組織スル等主トシテ國民精神作興ノタメ努力シツ

、アリ

目的及事業種類

イ、目的 日本道德ノ精髓タル皇室中心主義、忠孝主義

ノ鼓吹ニ努メ以テ國民精神ヲ作興シ國運ノ隆

盛ヲ圖リ延イテ世界ノ平和ニ貢獻スルニアリ

ロ、事業種類 東京本社ニ於テハ左ノ事業ヲ營ム

支社ノ事業種類亦同シ

一、講演會ノ開催 二、模範人物ノ表彰

三、美風美俗ノ支持 四、陋習迷信ノ打破

五、人格教育ノ高調 六、青年團ノ統一指導

七、學生ノ國家思想涵養

會員數及分布狀況

名古屋市及近郊

九二七名

主ナル役職名並其氏名

社長 後藤 武夫

昭和三年ヨリ内務省ヨリ百圓助成金下附サル
同 愛知縣知事ヨリ獎勵金交附サル

大正八年ヨリ宗務院ヨリ毎月補助金下附サル現在ニ至ル

名稱 日本魂社名古屋支社

事務所所在地 名古屋市中區笹島町三丁目二番地

創設年月日 大正五年四月三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 日本魂社

ロ、代表者 高澤龜三郎

沿革概要

大正五年四月三日ノ神武天皇祭ヲ期シ現社長後藤武夫氏

ニ依テ東京市京橋區櫻橋南側ニ本社ヲ創立セラレ同時ニ

當支社モ亦設置ス爾來今日ニ至ル迄本社ノ目的トスル

(別欄参照)主義理想ノ宣傳鼓吹ニ努メ同志ヲ糾合シテ社

支社長 高澤 龜三郎

資産(種目別)

資金トシテ特ニ蓄積セルモノナキモ必要ノ經費ハ總テ本支社ノ

母體タル帝國興信所支所會計中ヨリ支出ス

維持方法

本支社ノ母體タル帝國興信所ヨリ所要經費ヲ支出ス

昭和二年度豫算額 歳入 一、五〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、五〇〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、八〇〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

東京本社ハ左ノ如ク助成金ヲ下附セラレタルモ本支社ハ未タ其

事ナシ

金二百圓 政府ヨリノ助成金 昭和二年度

備考

當支社ハ株式會社帝國興信所名古屋支所ノ經營ニ屬シ絶對ニ寄

附ヲ募集セス

名稱 布袋教化會

事務所々在地 愛知縣丹羽郡布袋町本會寺内

創設年月日 大正六年十一月八日

經營主體又ハ代表者 江口祖關

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ尊皇奉佛ヲ旨トシ國民精神作興
思想善導、國民統一指導ヲ目的トス

ロ、事業

- イ、毎月一回又ハ二回名師ヲ招キ講演會開催
- ロ、春秋二期ニ總會ヲ開キ並特別大講演會開催ス
- ハ、國家事故有ル時ハ寺院ヲ請シ大法要執行スル
- ニ、新聞雜誌縱覽所設置スル

會員數及分布狀況

二百七名

主ナル役職名並其氏名

總裁	江口祖關
會長	中山峰
理事	中山玉
同	中山松之助

資産(種目別)

積立金 金三百圓

維持方法

會員ノ會費及特志者ノ寄附

昭和二年度豫算額 歲入 一五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一三〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一五〇、〇〇

名稱 皇道會名古屋支部

事務所々在地 名古屋市中區南大津町二丁目四番地

創設年月日 大正十年一月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 野田菅麿

會員數及分布狀況

會員數 九百十四名

名古屋市内及尾張國一圓

主ナル役職名並其氏名

支部長	野田菅麿
支部副長	瀧定助
同	岡谷清治郎
理事	近藤徳治郎

資産(種目別)

一、支部基金 二千三百三十四圓

二、活動映寫機及フィルム 三百四十圓

名稱 愛知縣佛教會

事務所々在地 名古屋市中區新榮町愛知縣廳内

創設年月日 大正十年十月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 小幡豊治

沿革概要

大正八年市内德源寺ニ各宗寺院會合シタル際談偶々各宗縣下聯合シタル會ノ組織ニ及ヒ本田善明大溪專其他數氏ヲ創立委員ニ擧ケ委員ハ全縣下ニ奔走シテ大正十年十一月一日知事ヲ會長ニ内務部長ヲ副會長トシテ縣内寺院堂庵說教所ヲ合シテ七千ヲ算スル大組織ヲ以テ第一回ノ總會ヲ擧ケ以テ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本義ニ基キ思想ノ向上風教ノ改善民力ノ涵養其ノ他社會教化事業ヲ行フ

ロ、事業

- 一、講習會
- 二、講演會
- 三、夏期講座
- 四、社會事業ノ助成
- 五、功勞者ノ表彰
- 六、印刷物ノ發行
- 七、社會事業ノ施設
- 八、其他理事會ニ於テ必要ト認メタル事業

會員數及分布狀況

1、會員 七千人

2、分布狀況 縣下全般

主ナル役職名並其氏名

役員

- 會長 知事 小幡 豊治
- 副會長 學務部長 鐘江 富次
- 理事 社會課長 畠田 昌福
- 同 本多 善明 同 佐々木 惠旭
- 同 岩田 大法 同 大野 園山
- 同 舟橋 水哉 同 成河 仙嶽

- 同 安西 承信 同 香村 宜圓
- 同 黒田 芳泉 同 眞野 耕雲
- 同 有坂 泰忍

資産(種目別)

一、基本金 八千五百圓

維持方法

- 一、會費、補助金、寄附金、基金利子
- 昭和二年度豫算額 歲入 六、五七五、〇〇
- 昭和二年度決算額 歲入 三、六七八、〇〇
- 昭和三年度豫算額 歲入 四、三七一、〇〇
- 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
- 金二百圓 内務省 昭和二年
- 金千五百圓 愛知縣 同 年
- 金千五百圓 同 昭和三年

名稱 國本社名古屋支部

事務所所在地 愛知縣廳社會課内

創設年月日 大正十二年三月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤治郎左衛門

沿革概要

大正十二年三月二十三日本部ヲ東京市麴町區平河町六ノ五ニ創立ト同時ニ名古屋支部ニモ創設シ今日ニ至ル

目的及事業種類

1、目的 國民精神ヲ涵養振作シ國本ヲ固クシ智徳ノ並進ニ努メ國體ノ精華ヲ顯揚セントスルニ在リ

2、事業種類 講演會

會員數及分布狀況

會員數 三百九十二名

縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

支部長 伊藤 治郎左衛門

評議員 生駒 重彦

外四十四名

常務委員 畠田 昌福

維持方法

寄附金ヲ以テ充當ス

名稱 至誠會

事務所所在地 名古屋市西區菅原町三丁目方等院内

創設年月日 大正十三年七月十日

經營主體又ハ代表者 1、經營主體 會員 組織

2、代表者 鈴木 光圓

沿革概要

伯爵徳川達孝閣下ヨリ大正十三年三月(至誠)ノ揮毫ヲ賜リ時節柄精神修養ノ守リトナサン爲メ知己有縁ノ友ヲ誘

ヒ千百餘人ノ會員ヲ得直チニ同年九月ヨリ毎月二回講演會、同小供會老人會、合計五回ノ集リ毎月開キ大正十四年ヨリ毎月一回雜誌(至誠)ヲ發行シ臨時講習會林間學園等ヲ開催シ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 皇室中心主義ニ基キ人格ノ完成ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 社會教化、至誠誌發行、小供會、講演會、臨時印刷物發行

會員數及分布狀況

會員 一千三百名
碧海郡安城町至誠會 支部時々講演會等ヲ開ク

主ナル役職名並其氏名

主事 鈴木光圓
理事 兒島景之
同 中島昌

創設年月日 大正十三年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 鯉江方敬

沿革概要

- 一、大正十年大成教々師中川元三郎各教々師ノ團結ヲ主張シ同十一年各教有志會ヲ開ク
- 一、大正十三年十二月各教派地方幹部集會合議ノ上愛知神道會ヲ設立ス出席十一教派
- 一、大正十五年五月全國ニ魁ケ第一回建國祭ヲ鶴舞公園ニ舉行シ同夜縣會議事堂ニ講演會ヲ開ク爾來毎年執行
- 一、大正十五年十月黒住天理二教加盟協議ノ上名稱ヲ愛知神道聯合會ト改ム
- 一、大正十五年十二月十二日各教派地方幹部會ヲ愛知縣廳内ニ開キ愛知縣神道聯合會ト改稱組織變更ノ爲メ更メテ各教ヨリ委員ヲ選出シ委員長、副委員長ヲ互選シ會務ヲ處理ス

目的及事業種類

顧問 伯爵 德川 達孝

大僧正 伯爵 松平 直亮

大僧正 岩堀 智道

大僧正 加藤 精神

大僧正 道重 信教

維持方法

會費寄附金補助金

昭和二年度決算額 歳入 二、七七一、六〇

昭和三年度決算額 歳入 三、一七八、〇二

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金三十圓ツツ昭和二、三年度豊山宗務所ヨリ

名稱 愛知縣神道聯合會

事務所所在地 名古屋市中區宮前町四丁目十番地

イ、目的 神道教師ノ修養、各教派聯絡、教師相互ノ親睦、發展向上

ロ、事業 惟神ノ大道ニ基キ國民道德ノ涵養、社會風教ノ善導、社會的各種事業ノ奉仕

會員數及分布狀況

本會聯合團體ハ愛知縣内ニ在ル十三團體

主ナル役職名並其氏名

委員長	鯉江方敬
副委員長	鈴木庄吉
神道本局委員	島田廣次郎 黒住教委員 久保 忠則
修成派委員	竹内宇太郎 大社教委員 平野菊之助
扶桑教委員	和田與三松 大成教委員 中川元三郎
實行教委員	鯉江方敬 神習教委員 木下 正宣
御嶽教委員	鈴木庄吉 神理教委員 山中 政次
禊教委員	山口 國吉 金光教委員 谷村萬之助
天理教委員	古橋唯一郎

維持方法
各教派隨時出金

名稱 協和會館

事務所所在地 名古屋市巾區流川町八十九番地

創設年月日 昭和二年十一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 長戸 鶴 松

目的及事業種類

- イ、目的 民衆ノ教化及教育ヲ目的トス
- ロ、事業 講演、映畫、講習、音樂其他ノ會合ヲ催ス

會員數及分布狀況

特定ノ會員ヲ有セス、一般公衆ヲ對象トナス

主ナル役職名並其氏名

館主以外ニ役員ナシ

維持方法

館主ノ私財ニ依ル

名稱 忠愛會名古屋支部

事務所所在地 名古屋市巾區老松町三丁目三番地

創設年月日 昭年二年十一月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 瀬戸 村 三

沿革概要

大正十年十月東京ニ創立セラレ一時中絶シ居タル處本會ノ趣旨宜シキ爲メ會長肥田景之先生ノ承諾ヲ得昭和二年十一月二十五日支部トシテ設立シ爾來會員募集思想講演ニ努メ今日ニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 庭内ニ明治天皇鳳靈ヲ奉祀シ會員相互ニ禮拜常ニ節操ヲ練リ敬神尊皇ノ實ヲ修メ國體ノ精華ヲ發揚シ思想善導ニ努メ忠愛主義ノ宣傳ヲ

ナスヲ以テ目的トス

- ロ、事業 各地ニ思想講演會ヲ開催明治大帝ノ御聖德ヲ普及シ及社會ノ缺陷ヲ補足スヘキ社會事業ノ施設ヲ爲ス事

會員數及分布狀況

本會々員ハ目下一百七名ニシテ其種類ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 名譽會員 七人 有功會員 十人 特別會員 八人
- 正會員 五十人 準正會員 三十二人

主ナル役職名並其氏名

理事 瀬戸 村 三

他ハ未定 選任中

資産 (種目別)

- 一、支部建設敷地 三萬七百四十三坪 此價格六萬一千四百八十六圓
- 二、建物四棟 (作業場 二千圓 假事務所) 二千圓
- 三、器具物品 千二百圓
- 合計 六萬三千四百八十六圓

維持方法

會員入會金、補導金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	一五、〇〇〇、〇〇
	歳出	八、九〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	四、七〇九、六一
	歳出	三、五〇〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	三五、〇〇〇、〇〇
	歳出	

名稱 岐阜縣教化團體聯合會

事務所所在地 岐阜市司町一番地岐阜縣廳内

創設年月日 大正十四年十月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 金澤 正雄

沿革概要

我邦内外ノ情勢ハ頗ル多事ニシテ國民タルモノ一人トシテ晏如タルヲ許サ、ルノ秋ナリ大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書渙發アラセラル、ヤ中央ニアリ

テハ大正十四年一月同志相謀リテ全國教化團體聯合會ヲ創立セラレシヲ以テ聖旨ノ普及徹底ヲ期セラレ右ノ趣旨ニ基キ全縣下ニ教化網ヲ張ラントスル計畫ノ基ニ大正十四年十月十六日設立セリ爾來加盟團體ノ加入並ニ教化事業ニツトメ或ハ縣ト合同シテ事業ノ目的達成ニツトメ昭和三年十二月末ニ於テハ加盟團體數三十八團體ヲ算シ事業ノ發展ハ大イニ見ルヘキモノアリ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 詔書ヲ奉戴シ國民精神ノ作興ヲ圖リ且加盟團體ノ聯絡ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 教化事業ノ一トシテ巡回講演會ヲ開催ス

教化ニ關スルリーフレツ發行ス

會員數及分布狀況

本會ハ目下加盟團體三十八團體ニシテ其名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 岐阜縣教育會 岐阜縣佛教會 岐阜縣神德會
- 岐阜縣作興講師會 岐阜市教化團體聯合會 憲友會

常務理事 社會課長 田中平太郎
口、職員 國枝利一 藤乃井行仁

維持方法

寄附金、補助金、獎勵金其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歲入 七〇一、〇〇〇

和和二年年度決算額 歲入 八〇〇、〇〇〇

昭和三年年度豫算額 歲入 九〇五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

- 一、金七百圓 昭和二年十二月 岐阜縣社會事業協會補助金
- 一、金百圓 同三年一月 社會局ヨリ獎勵金
- 一、金七百圓 同年十月十九日 岐阜縣社會事業協會補助金
- 一、金三百圓 同年十二月廿四日中央教化團體聯合會ヨリ獎勵金

* * * * *

- 岐阜縣基督教聯盟 眞宗聯合會 各宗協會
- 大垣市教化團體聯合會 大垣市保護會 眞宗教化會
- 尚道會 稻葉郡教化團體聯合會 稻葉郡聯合報德會
- 國民精神思想涵養會 振興會
- 海津郡佛教支會 養老郡佛教支會 大垣自治會
- 日吉講話會 不破郡教化團體聯合會 安八郡佛教支會
- 揖斐郡教化團體聯合會 揖斐郡聯合報德會 本巢郡佛教支會
- 山縣郡佛教支會 武儀郡佛教支會 郡上郡佛教支會
- 加茂郡佛教支會 可兒郡教化團體聯合會 土岐郡佛教支會
- 惠那郡永田報德社 神國會 安弘見報德社
- 益田郡佛教支會 大野郡佛教支會 吉城郡佛教支會

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
- 會長 岐阜縣知事 金澤正雄
- 副會長 學務部長 一戸二郎
- 理事 學務課長 中村龜藏
- 社事兵事課長 高瀬五郎
- 陸軍少將 金田房吉

名稱 岐阜縣教育會

事務所々在 岐阜市美江寺町二十六番地

創設年月日 明治十五年

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 公益私設團體

ロ、代表者 一戸二郎

沿革概要

明治十五年ノ創設ニシテ始メハ有志會員ノ團體ナリシカ
明治二十二年組織ヲ變更シテ各郡市教育會ヲ基礎トスル
團體トナレリ其ノ事業ハ順次擴張サレ別項目的及事業種類
類欄ニ記載スルカ如シ、内東亞日書院留學生ノ派遣ハ
明治三十五年、圖書館經營ハ同三十六年、調査會ハ大正
八年、通俗講演講師派遣ハ明治四十四年ノ創設ニカ、ル
他ノ事業ハ當初ヨリ繼續シ來レルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 縣下教育ノ改造ヲ目的トス

ロ、事業

- 一、總會ヲ開會スルコト
- 二、機關雜誌ヲ發行スルコト
- 三、圖書館ヲ經營スルコト
- 四、巡回文庫ヲ經營スルコト
- 五、教育調査會設置
- 六、教育研究獎勵
- 七、圖書編纂發行
- 八、通俗講演講師派遣
- 九、講習會開設
- 一〇、講演會開設
- 一一、展覽會開設
- 一二、留學生派遣
- 一三、視察員派遣
- 一四、教育團體聯合加盟
- 一五、諸種ノ表彰

會員數及分布狀況

本會ハ別項沿革欄ニ記載スルカ如ク各郡市教育會ヲ基礎トスル團體ニシテ直接本會ノ會員タルモノナシ但シ基礎團體タル各郡市教育會ハ各郡市ニ於ケル教育者及有力者ヲ其ノ會員ニ網羅セリ

主ナル役職名並其氏名

- 總裁 岐阜縣知事 金澤 正雄
- 會長 縣學務部長 一戸 二郎
- 同 豫備陸軍少將 金田 房吉
- 理事 縣學務課長 中村 龜藏

七千七百二十八圓 岐阜縣及岐阜市補助金 昭和三年度

備考

本會ハ大正十五年會館ヲ新築セリ、尙本會ハ目下基本財産造成中ニシテ豫定計畫ニ向ツテ着々進行中ナリ

名稱 社團法人安弘見報德社

事務所々在地 惠那郡蛭川村二三三〇番地ノ一
 創設年月日 明治二十七年一月十日
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

ロ、代表者 瀨瀨秋三郎

沿革概要

明治二十五年七月苗木町ノ人鈴木欽吾氏大日本報德ナル雜誌ヲ得テ本村有志ニ頒布セラレタルカ動機トナリ同年十月ニ至リ瀨瀨秋三郎氏ノ主唱ノ下ニ報德講ト稱スル結社ナル當時社員數二十一名ナリ其目的タルニ宮先生ノ遺

同 師範學校長 近藤 爲治
 同 小學校長 關 谷 國治
 定員四名一名缺員

幹事 總 山 文 兄

資産(種目別)

- 一、基本金 四千三百四十二圓八十五錢
- 二、建物 鐵筋混凝土 一棟 三萬圓
- 三、器具其他物品 二萬圓
- 四、圖書 四萬圓
- 合計 九萬四千三百四十二圓八十五錢

維持方法

郡市教育會負擔金、補助金、圖書印稅其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 二七、八五八、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 二七、七七三、一八

昭和三年度豫算額 歲入 二五、七三三、七四

昭和三年度豫算額 歲出 二一、七五一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 一萬四千六百八圓 岐阜縣及岐阜市補助金 昭和二年度

教ヲ奉シ毎月十五日臨番各社員宅ニ參集シテ斯道ノ研究ヲナス明治二十七年一月十日報德ヲ安弘見報德社ト改稱シ定款ヲ作製シ遠江國報德社ノ師傳ヲ受クルコトトナス同年九月九日遠江國報德社長岡田良一郎ヨリ入社及定款ヲ認可セラル明治二十一年民法制定ニヨリ同年十月十四日主務大臣ニ社團法人設立ノ出願ヲナシ同年十二月十九日之レカ認可ヲ受ク當時社員數三十三名ナリ明治四十一年四月ニ至リ會堂ノ建築ヲナス創立以來毎年一月十日總會日トナシ毎月一日ヲ定會日ト定メ斯道ノ研究及講演會ヲ開催シ社ノ事業ヲ實行シ今日ニ至ル其間年ヲ閱スルコト三十五年會ヲ重ヌルコト總會三十六回定會四百二十餘回ニ及ヒ社員數百五十七名積立金二萬三千八百餘圓ニ達スルノ現況ナリ

目的及事業種類

イ、目的 二宮尊德先生ノ遺教ヲ遵奉シ報德ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、報徳ノ研究及宣傳分度ノ確立勤儉推讓ノ獎勵其他社會教化並ニ人材養成ニ關スル事業ヲナスコト
- 二、地方自治ノ改善發達ノ援助ヲ爲スコト
- 三、防貧救貧其他社會事業ノ施設若クハ援助ヲナスコト
- 四、地方公共ノ福利増進ニ關スル事業ノ施設若クハ其援助 ナスコト
- 五、社員ノ仕法ヲ講シ貧困ヲ根絶スルコト
- 六、精業篤行者ノ旌表スルコト
- 七、産業ノ獎勵及生産品ノ共同販賣若クハ其援助ヲナスコト
- 八、生活及職業必需品ノ共同購入若クハ其援助ヲナスコト
- 九、其他役員會ニ於テ適當ト認メタル事業ヲナスコト

會員數及分布狀況

會員數 百五十七名ニシテ岐阜縣惠那郡蛭川村一箇及同郡笠置村苗木町ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長 理事 瀨 秋 三 郎
理事 永 治 初 太 郎

資産(種目別)

負債之部
土臺金 五千二百六十四圓五十二錢
善種金 一萬二千九百三十七圓七十錢
加入金 三千六百三十四圓五十一錢
特別加入金 百八十三圓七十九錢
互恩加入金 千八百九十八圓八十四錢
合計 二萬三千八百八十九圓三十六錢
資産之部
永安證券 四百四十八圓七十八錢
貸付金 一萬二千七百五十九圓八十六錢

沿革概要

本會ハ明治三十七年七月一日創立シ各宗協同各自親睦岐阜市保育會事業達成ノ爲全力ヲ傾注シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス且佛陀ノ教訓ヲ普及ス

口、事業 思想善導ニ時折講演會等ヲ開ク

會員數及分布狀況

百五十人

主ナル役職名並其氏名

理事 不破 賢 龍 同 栽 松 禪 昌
同 松 枝 秀 晃 同 東 海 月 桂
同 白 旗 靈 光 同 青 木 禪 哲
同 高 木 行 運 同 加 藤 幸 圓

維持方法

會費組織月掛其他寄附

預 金 八 千 五 十 七 圓
宅 地 所 千 四 百 九 十 八 圓
事 務 所 器 具 千 五 十 八 圓 二 十 錢
現 金 六 十 七 圓 五 十 二 錢
合計 二 萬 三 千 八 百 八 十 九 圓 三 十 六 錢

維持方法

寄附金、元恕金、利子收支剩餘雜收入其他

昭和二年度豫算額 歲入 三、四五〇、〇〇〇
歲出 三、三四〇、四三〇
昭和二年度決算額 歲入 三、五二四、五六〇
歲出 三、五二四、五六〇

名稱 岐阜市各宗協會

事務所々在地 岐阜市大寶町大寶寺内

創設年月日 明治三十七年七月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 濱 村 精 道

名 稱 岐 阜 縣 神 德 會

事務所所在地 岐阜市岐阜縣廳内

創設年月日 明治四十二年

經營主體又ハ代表者 代表者 一 戸 二 郎

沿革概要

明治四十二年縣下神職ヲ以テ組織シ明治四十三年更ニ神職及氏子若ハ崇敬者總代ヲ以テ組織スルニ改メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國體ヲ闡明シ神社ノ隆盛神職ノ向上發展、敬神ノ念ヲ普及シ國民道德ノ基本ヲ確立スルヲ目的トス

口、事業

一、神祇ニ關スル事項ノ研究

- 二、神職ノ養成
- 三、講演會講習會ノ開催
- 四、功勞者ノ表彰
- 五、皇典講究所事業ノ翼賛
- 六、神宮大麻曆ノ頒布

會員數及分布狀況

縣下二市十八郡ノ支部

主ナル役職名並其氏名

總裁	金 澤 正 雄
會長	一 戸 二 郎
副會長	高 瀬 五 郎
理事	長 田 伊 織 同 河 合 繁 樹
	栗 田 嚴 穂 同 宗 宮 生 夫
	中 川 五 月 同 上 杉 齋 次 郎
	梅 村 馨 同 中 原 嘉 七
幹事	中 原 嘉 七

資産(種目別)

一、基本金 三千六百八十八圓

維持方在

寄附金、支部分賦金及其ノ他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	四、〇九九、五九九
	歳出	三、九一八、七四四
昭和二年度決算額	歳入	三、七二八、四六六
	歳出	五、二六八、六六六
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
金三百五十圓	昭和二年度	岐阜縣ヨリ補助
金三百五十圓	同	三年度 同

名 稱 社 團 法 人 永 田 報 德 社

事務所々在地 惠那郡長島町永田六九八番地

創設年月日 明治四十二年二月一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社 團 法 人 口、代表者 小 林 兼 輔

沿革概要

明治四十一年戊申詔書渙發セラル、ヤ時ノ町長ハ郡長ノ意ヲ受ケテ区内有力者青年會長等ノ參集ヲ求メ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ル方途ヲ協議シタル結果二宮尊徳翁ノ遺法ヲ報德社ヲ組織スルコト、ナリ翌年二月一日之レヲ創立セリ

爾來加入者増加シ資力増大シ社運隆盛ヲ見勤儉力行ノ實ヲ學クニ至リタレハ組織ヲ改革シ社團法人設立ヲ出願シ大正五年九月五日許可セラレ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 戊申ノ聖訓ヲ奉體シ併セテ二宮先生ノ遺法ヲ尊奉シ勤儉推讓ヲ獎勵シ報德ノ事業ヲ立ツルヲ目的トス

口、事業

神佛遵奉祖先崇拜勤儉力行社員事業資金貸付 社員救恤公益慈善事業講演講話等

會員數及分布狀況

1、會員數 四十八名

口、分布 長島町永田區一圓

主ナル役職名並其氏名

理事會長 小林 兼 輔
理事副會長 牧野 俊 助

資産(種目別)

善種金 三千十圓二十錢

土臺金 六百八十八圓

計 三千六百九十九圓二十錢

(昭和三年末現在)

維持方法

寄附金補助金土臺金貸付金利益等

昭和二年度豫算額

歳入 一、三九〇、〇〇
歳出 一〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額

歳入 三、三九九、六六
歳出 二五、九二

昭和三年度豫算額

歳入 三、七五二、五〇
歳出 一〇〇、〇〇〇

名 稱 岐阜縣佛教會支部加茂郡德林會

事務所所在地 加茂郡國體教務所

創設年月日 明治四十四年十一月

經營主體又ハ代表者 町 村 會 長

沿革概要

明治三十七八年日露戰役當時郡内各宗寺院聯合會ナルモ
ノヲ設ケ戰病死者ノ慰靈祭ヲナスト共ニ遣族慰藉及軍國
ノ民トシテ義勇奉公ニ遺憾ナカラシムル爲メ共同聯合シ
タルヲ動機トシテ明治四十四年十一月本會ヲ設立シ教育
勅語戊申詔書國民精神作興ノ聖訓ヲ奉體シ品性ノ陶冶、
精神修養、風紀ノ改善、教育及勸業ノ發達ニ努ム
大正十四年四月教化團體聯合會ニ加盟ス

目的及事業種類

1、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神作興ヲ圖リ社會教化ヲ

以テ目的トス

口、事業 一、巡回講演 二、免囚保護

三、防貧救貧

四、戰病死者慰靈祭

五、災害慰問及義金募集六、農繁期託兒所

其他目的達成ニ必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會ハ郡内各村ニ支部ヲ設ク

會員郡内各宗寺院住職二百三人

主ナル役職名並其氏名

會 長 郡町村會長 中 村 敬 一
副會長 大仙寺住職 高 橋 至 道
幹 事 萬天寺住職 畠 山 竺 元
同 明應寺住職 佐々 貴 眞 道
同 光德寺住職 渡 邊 弘 音

資産(種目別)

一、基本金 七百圓

維持方法

基本金 各村分賦金、其他寄附金

昭和二年度豫算額

歳入 三〇〇、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 三〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 三〇〇、〇〇

名 稱 大 墳 自 治 會

事務所所在地 多藝村大字直江

創設年月日 大正三年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 多 藝 村 長

沿革概要

大正三年貧困兒童百餘人救濟ノ爲メ生シタルモノナリ然
ルニ大正九年四月本村ニ尋常小學校創立ニ當リ右事業ヲ
打切り爾後専ラ地方改良事業ニ従事ス

目的及事業種類

1、目的 聖訓ヲ奉體シ民風ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的ト

ス

- 口、事業
- 一、産婆醫師ノ嘱託
 - 二、トラホームノ檢診
 - 三、講演講話ニヨル教化
 - 四、青年處女會ノ指導
 - 五、地區ノ改良及住家ノ改良六、井ノ新鑿
 - 七、貯金ノ奨勵
 - 八、納税ノ督勵
 - 九、戶籍ノ整理
 - 十、其他

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 多藝村長 村山 辨市
- 副長 松岡 勘吉
- 顧問 署長 服部 留次郎
- 同 校長 高木 佳又
- 同 巡查 寺田 佐吉

イ、職員

- 理事 書記 佐竹 松男

資産(種目別)

基本財産 現金八百圓

維持方法

寄附金補助金收入

昭和二年度決算額	歳入	歳出
昭和二年度決算額	一、三五〇、〇〇	一、三五〇、〇〇
昭和二年度決算額	七五〇、〇〇	七五〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	歳出
昭和三年度決算額	一、三五〇、〇〇	一、三五〇、〇〇

奨勵金並補助金下附ノ有無

金千三十圓 岐阜縣ヨリ補助金(昭和元年、二年度)

名稱 御大典記念尚道會

事務所所在地 大垣市郭町百六番地ノ十二

創設年月日 大正四年十二月二十六日

經營全體又ハ代表者 代表者 森 茂 樹

沿革概要

大正三年日獨戰捷後輕佻浮薄ノ風潮ノ萌セルヲ嘆キ翌大正四年先帝登極ノ大典ヲ記念シテ本會ヲ創立シ社會教化ノ先驅タラント期ス、創立者タル森恭造ハ時運ニ鑑ミ市

内ノ先輩更ニ當時ノ島田岐阜縣知事ニ稟議シ仍テ東郷元師始メ中央諸名士ノ指導ヲ受ケ大正四年十二月二十六日發會式ヲ舉ケ。其後大正十年會長陸軍少將可兒春琳卒去後理事長之ニ當ル、大正十三年五月本會創立後十年ヲ經テ會員組織トシ主義綱領ノ徹底ニ努ム、大正十四年二月十一日本會ニ對シ助成金ヲ内務大臣ヨリ受ク、昭和三年九月六日理事長森恭造卒去後嗣子森茂樹之ヲ繼承セリ。

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ堅實ナル國民精神ヲ涵養シ民風ヲ作興スルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、各地ノ諸教化團體ト提携シ民衆ニ對スル指導教化ノ講演及講習會開催

一、社會改良事項宣傳ノ爲メ印刷物ノ刊行及活動寫

眞班ノ設置

一、本會ノ目的達成ニ適スル著書ノ回覽等

會員數及分布狀況

大垣市及附近各郡ニ顧問賛助員ヲ設ケ約三百名ニ達ス
岐阜縣下各郡市町村内ノ青年、處女團體、在郷軍人會、戶主會主婦會等ノ團體ハ本會ト連絡ヲ取リテ本會ノ機關タルカ如キ狀應ヲ示セリ

主ナル役職名並其氏名

役員

- 理事長 森 茂 樹
- 理事 大橋 熊 吉
- 同 青山 荷 汀
- 同 吉田 順 敬
- 顧問 陸軍中將 堀内 文次郎
- 同 文學博士 福 來 友 吉
- 同 醫學博士 吉 村 良 雄

同 醫學博士 花 澤 鼎
同 日本、東洋 今 津 洪 獄
維持方法 早稻田大學教授

從來收支豫算ヲ設ケス所要ノ費用ハ隨時寄附金ニ依ル主ナル寄附ハ森茂樹ナリ

名 稱 岐阜縣佛教會支會益田郡報國會

事務所所在地 益田郡萩原町大字萩原千二百八十二番地ノ五

創設年月日 大正六年十一月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 日 野 務

沿革概要

大正六年十月時ノ郡長河村牧太ハ宗教家カ地方風教ノ改善指導等公益ノ爲ニ努力スルノ團體ヲ設ケントシ同年十一月二十日郡内宗教家ノ會同ヲ求メ本會ヲ創立シ會長ト

高根村 三名

主ナル役職名並其氏名

會長 缺 員

副會長 馬瀨村桂林寺住職 日 野 務

同 萩原町禪昌寺住職 三 木 東 演

理事 熊崎源一郎

維持方法

寺院分賦金、寄附金其ノ他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 豫算ヲ設ケス一ケ年ノ收支凡ツ五十圓

名 稱 岐阜縣稻葉郡芥見村國民思想涵養會

事務所所在地 芥見村會長宅

創設年月日 大正八年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 下野捨三郎

沿革概要

ナル同年十二月十八日會名ヲ「益田郡報國會」ト定メ副

會長以下幹事代議員十名ヲ決定シ同年四月二十七日ヨ

リ郡内三ヶ所ニ於テ第一回總會ヲ開催セリ

大正十四年五月二日岐阜佛教會ニ加盟シ名稱ノ頭ニ「岐

阜縣佛教會支會」ト冠シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ學ク

ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業

二、社會事業

三、其ノ他目的達成上必要ナリト認メラル、

事項

會員數及分布狀況

郡内各寺院住職 三十四名

萩原町 五名 小坂町 四名 下呂町 四名

竹原村 三名 中原村 一名 下原村 二名

川西村 二名 馬瀨村 二名 朝日村 八名

國民思想ノ荒廢ヲ慨キ有志相謀リテ本會ヲ組織シ大正十四年十月五日岐阜縣教化團體ニ加盟シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ國民道德ノ涵養ヲ圖ルニアリ

ロ、事業 年一回以上嚴肅ナル儀式ヲ行ヒ講演會ヲ開ク

教化ニ關スル印刷物ヲ發行ス

會員數及分布狀況

全村ニ分布サレ現在會員 二二〇名

主ナル役職名並其氏名

會長 下野捨三郎

副會長 下野 竹 夫

理事 小川 忠右衛門

維持方法

寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲出 四二、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 五〇、〇〇

名稱 岐阜眞宗聯合會

事務所所在地 岐阜市東西兩別院內(一ヶ年交代)

創設年月日 大正十年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 兩別院輪番

(一ヶ年交代)

沿革概要

時代ノ趨勢ニ鑑ミ思想善導ノ爲メ市内東西寺院住職等大正十年ヨリ本會ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 思想善導

ロ、事業 一、釋放者保護 二、日曜學校

會員數及分布狀況

岐阜市内東西眞宗各寺住職及市内在住者別院職員ヲ以テ組織ス
主ナル役職名並其氏名

會長 河崎最

副會長 海野覺應

釋放者保護主任 田中現捷 藍川彰龍

松田宗教 賀島涼達

堀惠證 丹宮充寂

小笠原讓 丹宮充寂

理事

資産(種目別)

寄附金 會員費 補助金

維持方法

會費、特志、補助金

昭和二年度豫算額 歲入 一六六、四五

昭和二年度決算額 歲入 一三一、四五

昭和三年度豫算額 歲入 一八六、四五

獎勵金並補助金下附ノ有無

創立當時ヨリ漸次増加シ目下岐阜市役所ヨリ金八十圓下附セラ

名稱 岐阜縣佛教會養老郡支會

事務所所在地 養老郡高田町

創設年月日 大正十二年六月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 澤村忠三郎

沿革概要

大正十二年六月八日本會發會式舉行當日岐阜縣佛教奉仕會ト稱セシカ大正十四年五月九日岐阜縣佛教會養老郡支會ト改稱ス昭和二年ニ至リ各村ニ分會設立ノ獎勵ヲナシ現在牧田、小畑、池邊、日吉ノ四分會設立セラル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ郡内各種團體ト提携シテ思想ノ善導社會文化ノ向上民力ノ涵養ヲ努ムルヲ以

ロ、事業
テ目的トス

一、民力涵養ノ方法ヲ具體的ニ研究シ之レカ普及徹底ヲ期スル事

二、學校其他諸團體ト聯繫ヲ保チ社會文化ノ向上ヲ期スル事

三、社會事業ノ研究及社會事業施設ニ努ムル事

四、同胞相愛ノ觀念ヲ廣ク宣傳シ部落改善ナスコト

五、講習會講話會ヲ開クコト

六、孝子節婦功勞者篤志者善行者等ノ表彰ヲ行フコト

會員數及分布狀況

會員ハ郡内ニ亘リ

一、正會員 一六名 宗教家

一、名譽會員 三一名 村長校長

一、贊助會員 七三名 有志者

主ナル役職名並其氏名

役員

支會長 澤村忠三郎
幹事 大久保休吾

維持方法

會費及補助金ニ據ル

昭和二年度豫算額	歳入	三七六、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	二二八、二九
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	四六二、〇〇
	歳出	

名稱 財團法人神國會

事務所々在地 惠那郡蛭川村

創設年月日 大正十二年六月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 額額秋三郎

沿革概要

大正四年ヨリ講演ヲ開始シ同十年會堂ヲ建築シ益々事業ヲ擴張シ十二年六月文部大臣ヨリ財團法人ノ許可ヲ受ケ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 日本神國ノ大道ニ基キ萬世一系ノ淵源忠孝一
本國民性ノ由來ヲ闡明シ忠君愛國敬神崇祖ノ
精神ヲ鼓吹シ公私道德ノ向上風俗改良生活改
善ノ實行ヲ獎勵スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 講演ヲ主トシ尙圖書出版ヲ以テ之ヲ補フ

會員數及分布狀況

會員 七百名

所在地蛭川村ヲ生トシ同縣加茂郡其他各府縣ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

理事 額額秋三郎 田口專一

鈴村峰一郎 永次清逸

林 彌太郎

監事 田口久夫 奥田鉦雄

外ニ評議員三十一名

資産(種目別)

畑反別九畝四步	地價八圓五十六錢
宅地反別九十七坪二合七勺	地價三十二圓九錢
山林九反一畝二步	地價一圓八十二錢
家屋四棟	

昭和二年度豫算額	歳入	三二五、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	三一五、〇〇
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	五六〇、〇〇
	歳出	

名稱 岐阜縣揖斐郡聯合報德會

事務所々在地 揖斐郡揖斐町

創設年月日 大正十三年二月四日

經營主體又ハ代表者 岐阜縣地方改良協會揖斐郡支會

沿革概要

大正十年三月以來郡内各町村報德會ノ設立セラル、ヤ之カ聯絡統一ヲ圖リ一層其ノ活動ヲ盛ナラシムルノ必要ヲ認メ大正十三年二月四日創設シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ知恩徳ノ主意ヲ服膺實行スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、各町村報德會ノ聯絡統一ヲ圖ルコト
- 二、地方風教ノ維持振作ニ努ムルコト
- 三、善行者ノ表彰ヲ爲スコト
- 四、幹部講習會ヲ開催スルコト
- 五、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト
- 六、其ノ他前條ノ目的達成上必要ト認メタル事項實現ヲ期スルコト

會員數及分布狀況

各町村内區字ニ於テ二十戸乃至四五十戸ヲ標準トシタル報徳會
二百八十有餘ニ達シ各會トモ各戸ヨリ十五歳以上ノ男女其ノ會
員トナル、會員數目下一萬五千人内外ニ達ス
但シ町村數二十四二十一役場ヲ算スルヲ以テ目下各町村聯合報
徳會二十一ヲ以テ本會ヲ組織シ居レリ

主ナル役職名並其氏名

會長 竹中保一
副會長 竹中三造
書記 野口信司
同 山本幸一
教育主事 若原彦造
理事長 長柄五三郎 同 安藤榮太
同 楠了惠

維持方法

岐阜縣地方改良協會揖斐郡支會費ヲ以テ之ヲ維持ス

昭和二年度豫算額

歳入 八、四五〇、〇〇
歳出 六五〇、〇〇〇

昭和二年度決算額

歳入 八、三七一、〇〇〇
歳出 五七七、〇〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 八、四五〇、〇〇
歳出 七〇〇、〇〇〇

名稱 羽島郡振興會

事務所々在地 羽島郡笠松町役場内

創設年月日 大正十三年二月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 加藤虎雄

沿革概要

大正十三年二月二十日郡内ノ六團體（地方改良協會支部
神徳會支部、保護會支部、衛生會弘道會尙武會）ヲ併合
統一シテ本會ヲ設立シ大正十四年十一月岐阜縣教化團體
聯合會ニ加盟シテ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 地方ノ開發、思想ノ善導ヲ以テ目的トス

ロ、事業

- イ、地方改良事業調査研究並視察
- ロ、圖書及印刷物ノ配付
- ハ、講習講演研究会ノ開催
- ニ、衛生上ノ施設改善ニ關スル事
- ホ、尙武ニ關スル事
- ヘ、神職ノ養成
- ト、大麻曆ノ頒布
- チ、免囚ノ保護
- リ、地方改良協會、神徳會、免囚保護會ノ補助
- ヌ、各種團體ノ補助又ハ寄附

會員數及分布狀況

郡内十八ヶ町村ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 加藤虎雄 副會長 岡田保太郎
評議員

千葉 卯市 奥村 敬一 岸 彌三郎
服部 卯三郎 大塚 城 奥村 修吾
後藤 利七 馬島 小左衛門 南谷 益太郎
三浦 治太郎 尾關 壽一 奥田 五平
加藤 代三郎 不破 一三郎 小川 健逸
大橋 佐一 飯塚 端平

ロ、職員

幹事 大野 嘉三郎

資産（種目別）

一、器具其他物品 二十圓

維持方法

會費補助金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額

歳入 二、一四八、〇〇
歳出 二、〇〇七、一七

昭和二年度決算額

歳入 一、八三三、五二
歳出 一、八三三、五二

昭和三年度豫算額 歳入 二、〇九八、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和二年 昭和三年度
 岐阜縣地方改良協會補助 六十四圓
 同 神德會補助 十三圓八十二錢
 同 保護會補助 十圓
 同 十三圓九十四錢

名稱 岐阜縣教化團體聯合會本巢郡支會

事務所々在 本巢郡牛牧村字十九條念瑞寺内
 創設年月日 大正十三年十二月十八日
 經營主體又ハ代表者 代表者 名 和 淵 海

沿革概要
 大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書渙發セラル、ヤ本郡内各宗聯合會組織計畫中偶々縣ヨリ郡ヲ區域トスル教化團體聯合會組織方ノ通達ニ基キ創設シ大正十五年六月四日岐阜佛教會本巢郡支會ト合同シ更ニ昭和

二年九月二十九日會則ヲ變更シ事業部六部ヲ設立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 聖旨ヲ奉戴シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 會員數及分布狀況
 郡内一圓ニ亘リ各宗寺院全部ヲ分布ス

主ナル役職名並其氏名

支會長	名 和 淵 海
支會副長	神 部 了 輝
庶務	根 岸 秀 道 同 三 浦 照 雲
同	村 瀬 貫 良
會計	藤 原 信 道
幹事	高 木 順 忽 同 田 中 良 瑜
同	岡 部 義 貫 同 眞 鍋 觀 誠
同	辻 慈 敬 同 戸 田 大 導
同	近 藤 靈 瑞

維持方法

會員會費寄附金補助金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年豫算額 歳入 八〇七、〇〇〇
 歳出 八一四、〇三〇
 昭和二年決算額 歳入 七九一、六九五
 歳出 六四一、七〇〇
 昭和三年豫算額 歳入 六四一、七〇〇
 歳出 六四一、七〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 五十圓 地方改良協會本巢郡支會ヨリ 昭和二年度
 三十圓 同 昭和三年度

名稱 可兒郡教化團體

事務所々在 可兒郡御高町諸團體事務所内
 創設年月日 大正十四年

目的 本郡教化團體ハ神德會佛教會聯合シテ國民精神作

主ナル役職名並其氏名

役員
 會長 小 池 勇
 理事 天 野 幸 太 郎

名稱 岐阜市教化團體聯合會

事務所々在 岐阜市役所内
 創設年月日 大正十四年三月二十五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 松 尾 國 松

沿革概要

大正十四年三月十一日本會設立方其筋ヨリ通牒アリ岐阜市長ハ直チニ關係教化事業團體代表者ノ參集ヲ求メ協議ノ結果同月二十五日本會ノ設立ヲ見タリ爾來各加盟團體ヲ統制督勵シ教化事業ノ實績ヲ舉クルコトニ努メ今日ニ

至ル
目的及事業種類

イ、目的 大正十二年十一月十日換發アラセラレタル詔書ノ御趣旨ヲ奉戴シ精神作興ニ關スル事業ヲ促進スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、社會教化事業
二、社會事業
三、其他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

岐阜眞宗聯合會 岐阜各宗協會 憲友會
大泉寺婦人會

主ナル役職名並其氏名

會長 松尾國松
副會長 中尾義正
常務理事 郡田繁三郎
理事 田中現捷 眞鍋蕙山

社會教化ニ勉ムルコト

二、社會事業ノ研究施設ニ努ムルコト
三、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 二二五名
ロ、分布狀況 郡内各町村ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

支會長 大野勇
副支會長 井上秀含 河村景州
評議員 三十八名
理事 杉山馨 野倉善太郎

資産(種目別)

國庫債券 五十圓

維持方法

會費及補助金等ヲ以テス

昭和二年度豫算額 歲入 二八九、〇〇
歲出

松枝秀晃 宇野淳心

名稱 岐阜縣佛教會稻葉郡支會

事務所々在地 岐阜市司町二番地
創設年月日 大正十四年五月五日
經營主體又ハ代表者 代表者 大野勇

沿革概要

時局ニ鑑ミ宗教家ノ活動最モ急務緊要ナリトシ郡内二百二十ヶ寺ノ各宗派寺院住職並本會ノ目的ニ賛同スルモノヲ以テ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス
ロ、事業 一郡内各種團體ト聯繫ヲ保チ國民精神ノ作興

昭和二年度決算額

歲入 二八九、〇〇
歲出 一五八、七〇〇

昭和三年度豫算額

歲入 二九九、〇〇
歲出

獎勵金並補助金下附ノ有無

兩年度共岐阜縣社會事業協會稻葉郡支會ヨリ補助金五拾圓

名稱 岐阜縣佛教會惠那郡支會

事務所々在地 惠那郡中津町中津川惠那郡團體事務所内
創設年月日 大正十四年五月十五日
經營主體又ハ代表者 一、經營主體 惠那郡佛教會

ロ、代表者 河村牧太

沿革概要

大正十四年五月十五日郡下六十餘寺ノ寺院ヲ以テ岐阜縣佛教會惠那郡支會ヲ組織シ社會教化事業ノ一端ヲ行ヒツ、今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉戴シ佛

意ニ基キ社會共存ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的ト

ス

ロ、事業 一、社會事業

二、教化事業

三、其ノ他必要ト認ムル事業並ニ研究調査

會員數及分布狀況

本郡内佛教各宗派寺院住職並ニ本會ノ趣旨ニ賛同シタルモノヲ以テ組織ス

其ノ數 寺院 六十六ヶ寺

主ナル役職名並其氏名

會長	河村 牧 太
評議員	平山 大 底
同	久翁 亮 雄
同	後藤 琢 舜

資産(種目別)

基本金 百三十圓

維持方法

寄附金、補助金、其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歲入 二〇一、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 二〇一、〇〇

名稱 岐阜縣佛教會吉城郡支會

事務所々在地 吉城郡事務所

創設年月日 大正十四年五月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 倉田 甚左

沿革概要

大正十四年五月十九日吉城郡内佛教各宗派寺院住職其他支會ノ目的ニ賛同スル者ヲ以テ吉城郡支會トシテ創立爾來社會教化人心善導ニ努メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 社會教化

ロ、事業 民風作興講演會、佛教活動寫眞、追弔會、總會等

會員數及分布狀況

會員數 六十四名(町村長寺院住職)
町村數 十一 各町村ニ五六名宛アリ

主ナル役職名並其氏名

支會長	倉田 甚左
副支會長	柴田 秋平
理事	三塚 回天
同	桑月 信天

維持方法

町村負擔 寺院負擔

昭和二年度豫算額 歲入 三四一、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 四五三、〇九

歲出 二九七、六六

昭和三年度豫算額 歲入 一、二〇七、〇〇

名稱 岐阜縣佛教會

事務所々在地 岐阜市司町一番地

創設年月日 大正十四年五月二十日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 各宗派寺院住職

ロ、代表者 一戸 二郎

沿革概要

本會ハ大正十四年五月創設今日ニ至レルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ舉ク

ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業

二、社會事業

三、其他必要ト認ムル事業並ニ研究調査

會員數及分布狀況

百有餘名ニシテ縣内各郡市ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

總裁	岐阜縣知事 金澤 正雄
會長	同 書記官 一戸 二郎
副會長	同 事務官 田中 平太郎
理事	同 宗教家 等 白 龍
同	同 郡社會教育主事 野倉 善太郎
同	同 宗教家 岩越 智導
同	同 野々垣 日貞
同	同 高木 履窮
同	同 岐阜縣社會事業主事 一色 順雄
同	同 屬 國枝 利一
同	同 宗教家 山中 順敬

口、職員

同	岐阜縣書記 松野 清薰
同	同 高橋 彌一

維持方法

各支會負擔金、補助金、寄附金其ノ他ノ收入

昭和二年度豫算額 歲入 一、三一二、〇〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一、二四七、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一、一三二、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百圓 昭和二年度

三百圓 同 三年度

名稱 岐阜縣佛教會安八郡支會

事務所々在地 安八郡福東村福滿寺内

創設年月日 大正十四年五月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐々木義俊

沿革概要

大正十四年五月岐阜縣佛教會組織セラレ安八郡佛教會創

設セラル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ期ス

口、事業 一、教化事業

二、社會事業

三、其他必要ノ事業

會員數及分布狀況

百五十一名

安八郡内佛教各宗寺院ノ有志者ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 佐々木義俊

理事 奈波 諦觀 同 種田 進

同 兒玉 義蘊 同 前田 利生

評議員 二十一名

資産(種目別)

一、會費 百五十一圓

二、器具其他 八十圓

三、印刷物品物 二十圓

合計 二百五十圓

維持方法

會費、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一五一、〇〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一〇〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 七〇、〇〇〇

名稱 岐阜縣佛教會揖斐郡支會

事務所所在地 揖斐郡公益團體事務所内

創設年月日 大正十四年六月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 竹中保一

沿革概要

大正十四年六月八日設立以來逐次聖旨ノ普及徹底ヲ圖リ且教化事業ノ向上ニ努メ今日ニ及フ

目的及事業種類

- イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖リ且佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ學クルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
 - 一、社會教化事業ノ聯携進展ヲ圖ルコト
 - 二、其他一般社會教化事業ノ獎勵助成ニ努ムルコト

會員數及分布狀況

會員數 一六五名
主ナル役職名並其氏名

創設年月日 大正十四年七月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 東海曹宗

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書ヲ渙發アラセラルレ聖旨ヲ奉戴シテ本縣佛教會ハ大正十四年創立セラレ續イテ各郡ニ亘リテ支會ノ創設セラル、アリ本郡支會モ聖旨ノ普及徹底ト佛意ニ基ク社會共存共榮ノ實ヲ學クルヘク大正十四年七月郡内各宗寺院住職ガ參集シテ同月十日發會式ヲ舉行シ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ學クルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
 - 一、教化事業
 - 二、社會事業
 - 三、其他必要ト認メラル、事項並ニ研究調査

會員數及分布狀況

本郡内各宗寺院住職ヲ以テ正會員トナシ現在會員數九十五名

會長	竹中保一
理事	國枝顯慧 同 鷲見紹隆
同	若原彦造 同 谷文雄
同	三島圓照 同 雨森一意
同	三好童壽 同 野口信司

維持方法

會員負擔金、補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歲入	三二六、〇〇
昭和二年度決算額	歲入	三一〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歲入	三一〇、〇〇

名稱 岐阜縣佛教會山縣郡支會

事務所所在地 山縣郡山縣村長政寺内

分布狀況ハ郡内各町村ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

會長	東海曹宗
副會長	土岐禪松
理事	木村眞隆

維持方法

會費寄附金補助金其他一般ノ收入

昭和二年度豫算額	歲入	一四五、一五五
昭和二年度決算額	歲入	一三九、一五五
昭和三年度豫算額	歲入	一三二、六二五

名稱 岐阜縣佛教會大野郡支會

事務所所在地 大野郡高山町大字三町千二百七十番地

創設年月日 大正十四年八月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 直井佐兵衛

沿革概要

大正十四年三月岐阜縣佛教會設立ニ基キ同年八月六日本會ヲ設立シ目的ニ對シ事業ノ實施ニ努メ大正十五年十一月郡内一般ニ普及徹底ノ目的ヲ以テ各町村毎ニ本會規約ニ基キ分會ヲ設置シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ佛意ニ基キ社會共存ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業 二、社會事業 三、其他必要ト認メタル事業研究

會員數及分布狀況

大野郡内各町村毎ニ分會ヲ設置シ其ノ町村現住人ハ全部會員トス分會數十一個分會

主ナル役職名並其氏名

支會長 直井佐兵衛

經營主體又ハ代表者 代表者 大野 勇

沿革概要

本郡ハ時局ニ鑑ミ大正九年以來京都伏見桃山、花田仲之助氏主宰ノ報德會ノ組織ニ努メ農村問題ノ緩和、自治ノ發達ヲ計リ大正十年度ヨリ地方改良主事ヲ設置シ専ラ之カ指導獎勵ニ當ラシメ昭和三年十二月ニハ約三百團體ヲ組織スルニ至ル依テ大正十四年十月五日郡聯合報德會ヲ組織シ郡内ノ統一ヲ計ルト共ニ年々郡内各町村報德會ノ巡演、報德會幹部講習會等ヲ開催シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 列聖ノ聖訓ヲ奉體シ知恩報德ノ主意ヲ服膺實行スルニアリ

ロ、事業 一、教化事業ノ聯絡提携ヲ圖ルコト 二、年一回總務所其他ヨリ講師ヲ聘シ各町村聯合報德會ニ於テ巡回講演ヲ行フ

副會長 田中玄曠
幹事 船坂虎次郎
常任幹事 桑原信二

維持方法

補助金及寄附金ノ收入ニヨル
昭和二年度豫算額 歲入 三六〇、〇〇
昭和二年度決算額 歲入 二八〇、〇〇
昭和三年度豫算額 歲入 二六二、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無
金二百圓 大野郡地方改良會ヨリ補助 昭和三年度

名稱 岐阜縣稻葉郡聯合報德會

事務所々在地 岐阜市司町二番地
創設年月日 大正十四年十月五日

三、報德會幹部講習會ヲ開ク
四、教化ニ關スル印刷物ヲ配布スルコト

會員數及分布狀況

イ、會員數 約三萬九千人
ロ、分布狀況 郡内二十九ヶ町村ニ亘リ分布ス但シ未組織ノ區域尙約三割アリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
幹事 稻葉郡事務所長 大野 勇
商議員 郡内町村長 二十九名
ロ、職員 稻葉郡事務所書記 杉山 馨
同 藤田 貞吉
同 地方改良主事 野倉善太郎

維持方法

岐阜縣地方改良協會稻葉郡支會ノ經費ヲ以テス
昭和二年度豫算額 歲入 二、一四〇、〇〇
歲出

昭和二年度決算額	歳入	二、一四〇、〇〇〇
	歳出	二、〇八一、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二、一四〇、〇〇〇
	歳出	二、一四〇、〇〇〇

備考

未組織地方ノ組織獎勵ト既設地方ノ活動トヲ督勵指導シツツア

名稱 岐阜縣佛教會土岐郡支會

事務所々在 地 土岐郡土岐津町廣福寺内

創設年月日 大正十五年八月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 菊 知 玄 寔

沿革概要

從來本郡ニハ各宗僧侶ヲ以テ德風會ナルモノヲ組織シ感
化救濟ノ道ヲ講シツ、アリシモ縣佛教會設立ニ伴ヒ茲ニ
土岐郡支會ト改稱シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルニアリ
ロ、事業 感化救濟

會員數及分布狀況

本郡各宗寺院住職五十名ヲ以テ會員トス

主ナル役職名並其氏名

副會長	河 村 文 海
理 事	菊 知 玄 寔
同	高 木 大 光

維持方法

會費並ニ托鉢ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇〇
	歳出	九〇、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	八八、〇〇〇
	歳出	八八、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一一〇、〇〇〇
	歳出	一一〇、〇〇〇

名稱 岐阜縣基督教聯盟

事務所々在 地 岐阜市神室町一丁目十五番地

創設年月日 昭和三年二月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 坂 野 龍 雄

沿革概要

昭和三年二月十三日創設シ今日ニ至ル

目的及事業種類

事業

- 一、協力一致基督ノ精神ヲ實現スルコト及ヒ加盟團
體ノ親和聯盟ヲ圖ルコト
- 二、必要ト認メタル諸問題ニ關スル意見ヲ發表ス
- 三、諸團體ヲ代表シテ外部トノ交渉ニ當ルコト
- 四、教化事業、社會事業ノ他必要ト認メタル事業
ヲ行ヒ及ヒ之カ調査研究ヲ爲スコト

會員數及分布狀況

岐阜縣下ニアル基督教諸團體ヨリ成ル

主ナル役職名並其氏名

理 事	大久保直作	同	坂井雅太郎
同	田中龜之助	同	小島鎌太郎
同	眞島慶次郎	同	五十嵐喜廣
同	征矢野 豊		
代表理事	坂 野 龍 雄		

維持方法

寄附金、會費

昭和二年度豫算額	歳入	一、二五〇、〇〇〇
	歳出	一、二五〇、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、二五〇、〇〇〇
	歳出	一、二五〇、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、五〇〇、〇〇〇
	歳出	一、五〇〇、〇〇〇

名稱 岐阜縣佛教會養老郡支會日吉村分會

事務所々在 地 養老郡日吉村大字字田二一八番地ノ一

創設年月日 昭和三年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 鼻 橋 慈 欣

沿革概要

明治四十一年十月十三日戊申詔書換發セラル、ヤ聖旨ノ普及徹底ヲ期スヘク明治四十二年九月宗教關係者及有志相謀リ日吉講話會ヲ設立シ爾來教化事業ヲ施行シツ、アリ而シテ昭和三年御大典記念事業ノ一トシテ本會ノ刷新ヲ計ルヘク佛教會ニ加盟シ四月一日ヨリ名稱ノ變更ト共ニ前會ノ一切ノ事務ヲ引繼タリ

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ佛教ノ本旨ニ基キ思想ノ善導社會文化ノ向上及民力ノ涵養ニ努ムルヲ以テ目的トス

口、事業

一、講話會ヲ開キ聖旨並教意ヲ敷衍シ民力涵養ヲ努ム且追弔法會ヲ行フ

一、報德會ヲ開キ精神作興及社會文化ノ向上ヲ期ス

三、社會事業ノ施設 四、表彰

五、其ノ他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

會員數三百五十八名ニシテ本村住民ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

イ 役員

理事長 鼻 橋 慈 欣

理事 大久保 精一郎

同 桑 原 清

口 職員

書記 山 田 松 男

資産(種目別)

一、基本金 二百五十圓

維持方法

寄附金、補助金、財産收入及其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 一五、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 一二、七八

昭和三年度豫算額 歳入 二五四、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和三年度

郡支會ヨリ補助金十九圓 社會事業協會ヨリ補助金百四十四圓

村費ヨリ補助 金三十圓

名稱 財團法人大垣市保護協會

事務所々在 大垣市郭町四十五番地ノ六

創設年月日 昭和三年九月二十八日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

口、代表者 東 島 卯 八

沿革概要

歐洲大戰亂ノ影響ハ我國ニ於ケル物質上及思想上ニ一大變調ヲ來シ社會ノ缺陷彌々大ナラントスルニ際シ各種社會事業ハ漸次勃興スルニ至レリ當市ニ於テモ是レカ救濟機關ノ必要ヲ痛感シ熱烈ナル有志者ノ努力ニ依リ會員ノ募集釀金ノ收集ニ努メタル結果遂ニ大正九年七月大垣市保護會ノ創立ヲ見ルニ至リ幼兒ノ保育衛生人事相談感化救濟並ニ教化ヲ目的トシテ逐次發展シ社會ノ爲メ貢獻スル所尠ナカラス爲メニ本會ハ曩ニ宮内省及内務省ヨリ助成金御下賜ノ光榮ニ浴シ益々發奮努力ノ結果事業ノ進展ト共ニ相當資産ヲ有スルニ至リタルヲ以テ益々其ノ基礎ヲ鞏固ニシ一層ノ發展ヲナスヘク昭和二年十月内務司法兩大臣ニ對シ財團法人設立ノ出願ヲナシ昭和三年九月二十八日之ヲ許可セラレ名稱ヲ財團法人大垣市保護協會ト改メ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 社會事業ノ聯絡並其ノ改良發達ヲ圖リ民衆保

護ノ徹底ヲ期スルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、社會事業ニ關スル調査研究ヲナスコト
- 二、公私社會事業ノ後援ヲナスコト
- 三、兒童ノ保育ニ關スルコト
- 四、衛生相談ニ關スルコト
- 五、人事相談ニ關スルコト
- 六、感化救濟教化並司法保護ニ關スルコト
- 七、養老住宅ノ經營
- 八、其ノ他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

- 一、特別名譽會員 一八名 一、名譽會員 一〇九名
 - 一、特別會員 二四名 一、正會員 五三名
- 會員分布狀況 大垣市一圓トス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 東島 卯八

理事 東島 卯八 同 大橋 熊吉

同 平野 金治郎 同 吉田 順敬

同 竹中 加之助 同 淺井 三郎

口、職員

主 務 河村 長四郎

保 姆 高木 キクヨ

資産(種目別)

- 一、基 本 金 一萬圓
- 二、土地(養老住宅敷地一〇〇八坪) 八千圓
- 、建物(同敷地九二坪) 五千圓
- 四、有價證券 三百圓
- 五、銀行預金 三千七百五十一圓
- 六、什 器 八百三十圓

維持方法

會員ノ贖出金品、諸補助金、獎勵金、諸寄附金、事業ヨリ生スル収入、財産ヨリ生ズル果實其他ノ収入

創設年月日 明治四十二年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 原 田 維 織

沿革概要

明治四十一年十一月戊申詔書ノ渙發セラル、ヤ翌四十二年七月時ノ知事有田義資氏ハ率先聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘク方途ヲ講シ其具體的方法トシテ三重縣斯民會ヲ組織シ其ノ設立ヲ見タリ

爾來地方ニハ各郡市ヲ單位トスル郡市部會各町村ニ町村支會ヲ設置シ設立趣旨ノ普及徹底ニ努メ縣下教化團體ノ代表機關トナルニ至レリ

大正十五年郡制廢止ト共ト各郡市ニ於ケル教化團體ヲ本會ニ加盟シ各教化團體ト提携連絡シ歩調ヲ一ニシテ立チ全ク縣下教化事業ノ統制機關トナルニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 勅語、詔書ノ御趣旨ヲ遵奉シテ精神訓育ヲ獎メ、廣ク道德經濟ノ調和、地方自治ノ作興教

名稱 三重縣斯民會

事務所々在地 三重縣廳社會課内

昭和二年度豫算額 歳入 一五、二五〇、〇〇
 歳出 一六、二一八、二二
 昭和二年度決算額 歳入 二、二二五、四五
 歳出 一四、九五〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 一四、九五〇、〇〇
 歳出 一四、九五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年度	百圓	宮内省御下賜金
	百圓	内務省獎勵金
	百圓	岐阜縣社會事業協會補助金
	三百二十圓	縣補助金
	六百圓	市補助金
昭和三年度	百圓	宮内省御下賜金
	百圓	内務省獎勵金
	六百圓	市補助金
	二百一圓六十錢	慶福會ヨリ御大典ニ付養老院ヘ

備考

本會ハ昭和三年九月二十八日法人ノ許可ヲ得タルモ大正九年七月創立ニ係ル大垣市保護會ヲ繼承シタルモノナリ

口、事業

育産業ノ發達ヲ期シ民心ノ啓發思想ノ善導ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- 一、地方公共團體及教化團體ト聯絡ヲ取り團體ノ事業ヲ幫助ス
- 二、善行良風ヲ勸奨シ善行篤志者ノ旌表
- 三、教化事業ニ關スル印刷物ノ發行
- 四、中央教化團體聯合トノ連絡
- 五、其他教化事業ニ關シ目的達成上必要ト認ル事項

會員數及分布狀況

郡部會 一五 市部會 三 町村支會 三三五
 加盟團體 三重縣佛教會 三重縣社會事業協會融和部

主ナル役職名並其氏名

會長 知事 原 田 維 織
 副會長 學務部長 尾 池 秀 雄
 同 內務部長 芝 辻 一 郎

資産(種目別)

副會長 警察部長 大 竹 十 郎
 同 縣會議長 澤 鴻 久 富
 理事長 社會課長 荒 木 義 夫
 理事 廳 內 各 課 長
 評議員 三重縣選出貴衆兩院議員
 同 縣 參 事 會 員
 同 公 立 中 等 學 校 長
 同 旅 團 長 聯 隊 長 其 他

維持方法

- 一、中央教化團體聯合會獎勵金 三百圓
- 一、縣 費 補 助 六千五百圓
- 一、繰 越 金 千九百圓

縣費補助助成金

昭和二年度豫算額 歲入 八、二七四、〇〇
 昭和二年度決算額 歲入 六、八七二、五六

昭和三年度豫算額 歲入 八、二七四、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年度 內務省助成金 百圓
 同 縣費補助 六千五百圓
 昭和三年度 中央教化團體聯合會獎勵金 三百圓
 同 縣費補助 六千五百圓

備考

三重縣斯民會郡市部會及代表者氏名

津市部會 須 山 榮
 宇治山田市部會 福 地 由 廉
 四日市部會 戶 野 周 二
 桑名郡部會 福 原 錢 太 郎
 員辨郡部會 木 村 秀 興
 三重郡部會 岡 田 武 兵 衛
 鈴鹿郡部會 目 下 缺 員
 河藝郡部會 佐 倉 藤 太 郎
 安濃郡部會 倉 田 梅 次 郎
 一志郡部會 前 川 捨 次 郎
 飯南郡部會 小 出 三 郎

名稱 三重縣佛教會

事務所所在地 三重縣廳社會課內

創設年月日 大正十年三月十四日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 原 田 維 織

沿革概要

大正十年三月十四日縣內各郡市佛敎團ヲ會員トシテ組織
 セシモ郡役所廢止ノタメ郡佛敎團ノ解散スルモノアリ統

一上差支生セシニ付昭和二年七月其ノ組織ヲ變更シ縣内各宗派僧侶ヲ通常會員トシ夫レニ在俗者ノ特別會員ヲモ加入セシムルコトニ變更シ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ佛教各宗派相協力シテ尊皇愛國ノ誠ヲ諭シ民衆ノ教化社會ノ改良ニ努ムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業 二、社會事業

三、前二項ノ事業ニ關スル研究調査

四、其ノ他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

縣下各市町村ニ在住ノ僧侶

目下通常會員 一三〇〇名

目下整理中 約七〇〇名

主ナル役職名並其氏名

會長 知事 原田 維織

副會長 學務部長 尾池 秀雄
理事 學務部ニ在籍ノ各課長
常務理事 在職ノ社會課長
幹事 數名

資産(種目別)

一、會費 六百六十圓
二、内務省助成金 百圓
三、縣費補助 九百圓

維持方法

會費、縣費補助金、内務省助成金

昭和二年度決算額 歲入 二、〇七九、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一、三一四、一二

昭和三年度決算額 歲入 二、一七九、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金百圓 昭和二年度 内務省ヨリ助成

金九百圓 縣費補助金

備考 昭和三年度本會事業概要(一千六百四十圓)

- 一、中等學校生徒ニ對スル宗教講座ヲ開催セルモノニ校
- 二、教化資料用パンフレットヲ各會員ニ配付
- 三、巡回講演會申請アル市町村ニ派遣
- 四、教化事業講習會ニ會員ヨリ講習員ヲ派遣
- 五、各市町村ニ於テ爲ス適當ノ事業ニ助成金交付

名稱 三重縣社會事業協會融和部

事務々在地 三重縣學務部社會課

創設年月日 大正十二年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 原田 維織

沿革概要

從來部落改善ノ名ニ依リ部落ノ外形の改善ニ力ヲ致シタルニ依然不合理ナル差別事象ハ去ラス、一面時代思潮ノ

變遷ニ伴ヒ、部落内ノ先覺者ハ自力解放ヲ期シ、茲ニ水平運動ハ勃發セルヲ以テ、部落解放問題ノ忽諸ニ附スヘカラサルヲ認メ、官民合同ノ融和團體トシテ本部ヲ設ケ教化運動ヲ起シ精神的ニ差別撤廢ニ努メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 融和思想ノ普及徹底

ロ、施行事業

- 一、融和委員會
- 二、懇談會
- 三、講習講話
- 四、宣傳
- 五、縣外視察
- 六、生産事業獎勵
- 七、生産資金貸付

主ナル役職名並其氏名

會長 三重縣知事 原田 維織
副會長 學務部長 尾池 秀雄
常務理事 社會課長 荒木 義夫
主事 山下嘉三太 岡岡 政雄

主 事 松野 鈺次郎

維持方法

國庫及縣費補助寄附金

昭和二年年度豫算額

歲入

六、七五〇、〇〇

昭和二年年度決算額

歲入

五、五六二、〇〇〇

昭和三年年度豫算額

歲入

三、七六八、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年年度 國費 二百三十圓 縣費 二百圓

同 三年度 同 二百二十圓 同 二百圓

備考

融和講習會講習修了者ヲ以テ融和會ナルモノヲ組織シ縣下各地ニ融和觀念ノ普及徹底ニ努メツツアリ

近畿

- 京都府教化團體聯合會 (加盟團體 二二)
- 大阪府教化團體聯合會 (加盟團體 三一)
- 大 阪 府 未 加 盟 團 體 三 五
- 教 化 團 體 兵 庫 縣 聯 盟 (加盟團體 四六)
- 和 歌 山 縣 教 化 聯 盟 (加盟團體 三三)

名稱 京都府教化團體聯合會

事務所所在地 京都府學務課內

創設年月日 大正十四年七月二十日

經營主體又ハ代表者 口、代表者 大海原重義

沿革概要

大正十四年七月二十日府下教化團體代表者十八名ハ當時在官池田知事官邸ニ會合シ現下ノ時勢ニ鑑ミ相提携シテ社會教化ノ實ヲ舉ケンカタメ會則ヲ制定シテ本聯合會ヲ組織セリ爾來毎年三、六、九、十二月ノ各二十日ヲ定期代表者協議會日ト定メ協議提携ノモトニ別項ノ目的並事業ヲナシ以テ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 教育勅語、戊申詔書、國民精神作興詔書ノ御趣

旨ニ依リ社會教化ノ普及徹底ヲ期スル爲メ府

下教化團體ノ聯絡提携ヲ圖リ教化事業ヲ促進

スルヲ以テ目的トス

口、事業 イ、聯合各團體代表者協議會及同幹部研究會

ロ、社會教化ニ關スル調査研究

ハ、其ノ他目的達成ニ必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下二十二團體ニシテ其ノ名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

報 德 會	一 德 會
聖 訓 奉 旨 會	伏 見 十 六 會
交 通 安 全 會	使 命 社
道 德 研 究 會	欄 會
赤 誠 奉 仕 會	對 揚 會
京 都 府 教 育 會	日 本 弘 道 會 京 都 支 部
衆 善 會	孝 學 堂 協 贊 會
一 人 會	京 都 市 聯 合 報 德 會
修 養 團 京 都 府 聯 合 會	溫 古 會
京 都 禁 酒 會	修 養 團 京 都 支 部

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 大海原重義
 副會長 福島繁三
 常務理事 堀池英一
 理事 岡本清逕 同 角谷源之助
 同 柴田寅三郎 同 村田太平
 同 淺岡信堂

ロ、職員

幹事 小倉恒司 同 小倉瀧藏
 同 一谷孝四郎

維持方法

補助金、獎勵金、寄附金及其他ノ收入ニヨル
 昭和二年豫算額 歳入 一、〇三八、〇〇
 歳出 一、五六六、八三
 昭和二年決算額 歳入 六三一、三七
 歳出 一、五七五、〇〇
 昭和三年豫算額 歳入 一、五七五、〇〇
 歳出 一、五七五、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一金二百圓 内務省ヨリ助成金 昭和二年二月十一日
 一金二百圓 京都府ヨリ補助金 昭和二年
 一金二百圓 同 昭和三年度
 一金五百圓 中央教化團體聯合會ヨリ獎勵金 昭和三年度

名稱 財團法人 京都府教育會

事務所所在地 京都市川端通丸太町上ル

創設年月日 明治十四年五月六日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 社 團 法 人

ロ、代表者 荒 木 寅 三 郎

沿革概要

明治十四年五月六日發會式ヲ舉ケ、會員數二〇〇ニ充タ
 サザリシカ府下教育促進ノタメ大ニ期スル處アリ爾來四

スコト

- 四、教育上有益ナル印刷物ヲ刊行スルコト
- 五、獎學資金ヲ設クルコト
- 六、教育上ノ功績者ヲ表彰スルコト
- 七、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

會員數 一五、〇〇〇人

分布狀況 一市十八郡ニ亘リ尙他府縣ニ百餘名ノ會員ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 京都帝國大學前總長 醫學博士 荒木寅三郎
 副會長 缺員
 幹事 大澤德太郎 同 川面松衛
 同 竹谷辰郎 同 近山廣二
 同 島崎來 同 山本安之助
 同 田村作太郎 同 岩波喜代登

目的及事業種類

十有餘年幾多ノ變遷ヲ經テ大正四年三月社團法人京都府教育會ノ出現ヲ見ルニ至ル現ニ會員數一五、〇〇〇ニ達ス其間講習講演、且ツ機關雜誌ヲ發行シテ斯道ノ發展ヲ圖リ、大正十年以來教化部ヲ設ケ活動寫眞通俗講演會ヲ開キ、普ク府下町村ニ及ヒ大イニ思想善導民風作興ニ努メタリ、昭和三年十月二十九日文部省ヨリ教化部ヲ表彰セラル同十年育英部ヲ設ケテ外國語學校學術研究所女子高等實務學校ヲ開設シ斯道研究者ノ便ヲ圖リ殊ニ昨年四月ヨリハ雜誌ヲ新聞ニ改メ月二回發行トシ一層社會教化ノタメニ努力ス。

イ、目的 本會ハ京都府下教育ノ發達ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業

- 一、教育ニ關スル意見ヲ發表スルコト
- 二、教育上必須ノ事項ヲ研究調査スルコト
- 三、教育ノ改善進步ヲ圖ル爲メ諸般ノ施設經營ヲナ

同 荻原中作 同 藤森勝郎
 同 原政三 同 和崎角次郎
 同 朝倉曉瑞 同 上野彌一郎
 同 田中一馬 同 内貴清兵衛
 同 鈴木博也 同 奥主一郎
 同 堀池英一 同 末光信三

口、職員
 主事 岡本清逕 同 吉村保

資産(種目別)
 建物(會館、教室、學生休憩所) 三萬九千圓
 有價證券 五萬二千圓
 基金 七萬一千圓
 積立金 七千八百圓

維持方法
 寄附金、會費、事業收入
 昭和二年度豫算額 歲入 一、一六、五一七、〇〇
 歲出 一、一六、五一七、〇〇

八年十月谷鐵臣再ヒ支會長トナリ三十八年歿スルニ及ヒ
 猪熊夏樹支會長トナル歿スルニ及ンテ子爵町尻量弘支會長
 長トナル辭任後角谷源之助之レニ代ル後他地方へ移住ヲ
 以テ辭サレ理事山口直胤會務ヲ司ル

目的及事業種類
 イ、目的 聖旨ヲ遵奉シ邦人ノ道德ヲ高メ國家ノ基礎ヲ
 鞏固ニスルニアリ

口、事業
 一、講演會ヲ開クコト
 一、講師派遣ノコト
 一、會員ノ研究會ヲ開クコト
 一、其他目的ヲ達スルニ必要ナル事

會員數及分布狀況
 會員 五十名
 市内各所
 主ナル役職名並其氏名
 理事 山口直胤

昭和二年度決算額 歲入 九四、六〇一、〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 一一五、五〇〇、〇〇
 歲出 一一五、五〇〇、〇〇

名稱 日本弘道會京都支會
 事務所所在地 京都市西三本木丸太町上ル山口直胤方
 創設年月日 明治二十五年五月
 經營主體又ハ代表者 代表者 山口直胤
 沿革概要

明治二十五年設立當時事務所ハ高倉御池上ル河原林愛之
 助方ニ置キ同三十年高倉蛸藥師下ル西谷成造方ニ移シ三
 十一年西三本木丸太町上ル山口直胤方ニ移シ同三十七年
 再ヒ西谷成造方ニ移シ大正十一年復タ山口直胤方ニ移シ
 現今ニ至ル
 設立當時加藤正矩支會長トナリ宇田淵之ニ代リ明治二十

講師 猪熊淺麿
 同 柴田寅三郎
 委員 渡島幸明

資産(種目別)
 現金 七十圓

維持方法
 寄附金又ハ本部ヨリノ交附金等

昭和二年度豫算額 歲入 一八、〇〇
 歲出 一八、〇〇
 昭和二年度決算額 歲入 一八、〇〇
 歲出 一八、〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 二五、〇〇
 歲出 二五、〇〇

名稱 公益社團法人 伏見十六會
 事務所所在地 京都市紀伊伏見町字南部七十二番地
 創設年月日 明治二十八年二月十六日創設

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 公益社團法人**

ロ、代表者 人見喜三郎

沿革概要

本會明治二十八年二月十六日現會長人見喜三郎ノ發企ニテ伏見町ノ商店員十六人相會シ業務上ノ研究ヲ主トシ將來ノ發達ヲ圖ランタメ創立セシモノニテ先ツ事業ノ原動力トシテ貯金部ヲ設ケタルカ爾後經濟界ノ盛衰ニ伴ヒ幾多ノ變遷アリシモ漸次會員増加シ逐年盛運ニ赴ケルヲ以テ明治四十一年五月十六日公益社團法人ニ組織ヲ變更シ益々地方ノ公利公益ニ貢獻スルコトヲ期セリ今本會ノ經營セル主ナル公益事業ノ一班ヲ舉クレハ明治三十八年五月二十五日有限責任伏見信用組合ヲ設立シタルヲ始トシ同年九月十六日伏見交庫(大五四年四月規模ヲ擴張シ圖書館令ニヨリ伏見圖書館トナス)同三十九年出版部新聞其他郷土誌出版發行同四十三年四月救濟部(貧困者教育ノタメ學資金ノ貸與又ハ給與同病者ノタメ無料診療、小

資金ノ無利息貸付及天災地變ノ救恤等ヲ行フ尙大正元年

十一月三日無料診療事業擴張ノタメ濟生園ヲ設立ス)大

正四年二月伏見實業補習學校、同五年九月伏見商業學校

同十年四月伏見十六會館(公衆集會用ヲ設置シ同十二年

二月實業補習學校ヲ廢止シ、伏見商業學校ヲ甲種程度ノ

商業學校ニ昇格シ同時ニ在來ノ伏見商業學校ヲ伏見商業

夜學校トナシ同十五年九月右夜學校ニ青年訓練所ヲ併置

シ同年十月十六日ニハ救濟部ノ一事業トシテ公益質屋ヲ

設ケタルカ是ヨリ先キ大正十三年八月ヨリ教化團體聯合

會ニ加加シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教育勸語、戊詔勅ノ主旨ヲ奉體シ會員

相互ノ德義ヲ獎メ且伏見町ノ改善發達ヲ圖リ

町民ノ幸福ヲ增進スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 貯金部 公益質屋
伏見商業學校 伏見十六會館

伏見商業夜學校 私立青年訓練所

伏見圖書館 濟生園

出版部

會員數及分布狀況

昭和三年十二月末現在

伏見町	六、五五七 ^名	紀伊郡	二、七六五 ^名
京都市	三、五一六	宇治郡	一、六三五
久世郡	一、二二八	乙訓郡	六三四
葛野郡	一九三	綴喜郡	四七九
大阪北河内郡	七〇六	其他各地	三三九
計	一八、〇五二		

主ナル役職名並其氏名

會長	人見喜三郎
副會長	上村永幸
理事	野村彦次郎 同 人見三一雄
	同 人見三雄 同 柳原文雄
	同 人見敬二 同 河村德之助

資産(種目別)

基金	二十九萬圓
御下賜金	積立 三千八百圓
助成金	

維持方法

貯金部ヨリ生スル剩餘金及ヒ寄附金、補助金、獎勵金其他

昭和二年度豫算額 歳入 八五、六九〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一〇九、八六七、七二

昭和三年度豫算額 歳入 一〇六、三七四、〇〇

獎勵金並補補金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓	宮内省御下賜金	昭和二年二月十一日
金一百圓	内務省助成金	同
金一百圓	社會局補助金	同

金一百圓 文部省表彰金 昭和二年二月十一日
 金二百圓 宮内省御下賜金 同 三年二月十一日
 金一百圓 内務省助成金 同
 金一百圓 社會局補助金 同

備考

本年四月ヨリ 伏見商業學校々舎ヲ 桃山報德會ニ 無償貸與シ 同會 經營ノ 報德學校ヲ 開校ス

名稱 財團法人 報德會

事務所々在地 紀伊郡堀内村字堀内

創設年月日 明治三十四年四月七日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團 法人

ロ、代表者 花田仲之助

沿革概要

明治三十四年四月七日花田仲之助ノ主唱ニヨリ 鹿兒島ニ 於テ 創立ス

爾來漸次全國各地及臺灣、朝鮮、滿洲等ニモ 普久シ 社會 教化上ニ及ホセル 實績尠カラス

大正八年七月京都府紀伊郡桃山陵下ニ 移轉ス

同九年四月京都ニテ 創立二十年紀念大會ヲ 開催ス

事天聽ニ 達シ 宮内省ヨリ 御沙汰書及金一千圓御下賜

同十一年十一月宮内省ヨリ 桃山御陵地約七百坪御貸下

同十三年三月事務所ノ 新築成リテ 同地ヘ 移轉ス

同十四年十二月同地内ニ 報德會堂ノ 建築竣成ス

同十五年十一月財團法人設立許可セララル

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語ノ 聖旨ヲ 奉戴シ 知恩報德ノ 大道ニ 率

由シ 國民道德ノ 普及徹底ヲ 圖ルヲ 以テ 目的トス

ロ、事業

一、各地ニ 於テ 報德會ヲ 設立及ヒ之ニ 關スル 集會ヲ 獎勵スルコト

二、報德會堂ニ 於テ 隨時本會ノ 目的ヲ 講和シ 國民道

德ノ 履踐實行ニ 努ムルコト

三、機關雜誌「報德」(月刊)ヲ 發行スルコト

四、育英事業其他社會教育ニ 關スル 事業

會員數及分布狀況

會員數 約二百二十餘萬人

會數 約一萬一千餘

山口縣ヲ 最トシ 岐阜、鹿兒島、福岡、京都等ノ 各府縣之ニ 次

キ 其他全國各地 朝鮮、臺灣、滿洲ニ 及フ

主ナル 役職名並其氏名

イ、役員

理事長	花田仲之助
理事	高山公通 同 倉橋四郎
同	山崎和宏 同 藤原勳
同	河内茂太郎 同 猪谷不美男
同	山田準 同 松本七郎
同	角谷源之助

ロ、職員

監事	土岐 廣 同 大野盛郁
同	山崎眞之
評議員	五十三名
柳坂新太郎	松尾慶次郎
淺野玲三	宗近實平

資産(種目別)

イ、基本財産

一、土地	六千五百十圓
二、建物	四萬七千八百二十四錢
三、御下賜金	千五百七十四圓九十二錢
四、基本金	一萬八千三百三十五圓二十八錢
計金	七萬四千二十二圓六十九錢

ロ、普通財産

一、備品	五千三百十八圓六十錢
二、現金及有價證券	一萬五千二百一圓六十錢

三、印刷物其他物品(特別會計)

二千五百圓

計金 二萬三千二十四圓二十錢

合計 九萬七千四百八十九錢

維持方法

資産ヨリ生スル果實、寄附金、事業上ノ收入等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一五、〇八八、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一八、五七四、八六

昭和三年度豫算額 歳入 一七、二四九、二六

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 政府ヨリ助成金 昭和二年度

金二百圓 同 昭和三年度

備考

一、機關雜誌「報徳」發行部數ハ毎月一萬二千部内外ナリ

二、育英事業 昭和四年四月ヨリ報徳學校設立ノ豫定(位置京

都府伏見町)

昭和四年四月ヨリ報徳家政女學校設立ノ豫定

(位置静岡市外)

三、本會ノ會計年度ハ毎年十二月二十六日ヨリ始マリ翌年十二月二十五日ニ終ル

名稱 社團法人 一徳會

事務所々在地 京都市上京區新町通り二條上ル二條新町七

百十二番地

創設年月日 明治四十一年四月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 子爵 高倉 永則

沿革概要

一、明治四十一年四月三日故樞密顧問官兼御歌所長高崎正風男首唱ノ下ニ創立セラル

一、同四十五年二月高崎會長薨去ニツキ男爵高木兼寛氏

會長トナル

會員數及分布狀況

一、會員數 一八、二六四名

(但シ法人組織以前ノ準會員ヲモ含ム)

口、分布狀況 會員ハ全国各地ニ跨ルモ支會(五十名以上ノ會員ヲ有スルコトヲ要ス)ノ設置セラレテ多數ノ會員アルハ

左記ノ地方トス

京都府、東京府、大阪府、兵庫縣、福岡縣、岐阜縣、愛知縣、福井縣、神奈川縣、茨城縣、宮城縣、秋田縣、

主ナル役職名並其氏名

會長 子爵 高倉 永則

理事 山口直胤 同 山本文之助

同 淺井榮次郎 同(兼講師)柴田寅三郎

同 角谷源之助

監事 前田奈良三郎 同 森 外三郎

右ノ外

顧問 五 名

一、大正二年十二月高木會長退職ノ後副會長折田彦市氏會長ヲ代理ス

一、大正九年一月折田副會長逝去後子爵高倉永則氏會長トナル

一、昭和二年七月二十日付文部大臣ヨリ社團法人設立ノ件認可アリ理事六名、監事二名、評議員二十五名ヲ

選舉ス

一、同年十一月六日創立二十周年記念式舉行

目的及專業種類

イ、目的 教育ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉戴シテ道德ノ實踐ヲ獎メ國體ノ精華ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

口、事業

一、會誌一徳及社會教化ニ關スル印刷物ノ發行

二、講演會講習會ノ開催講師ノ應請派出

三、美事善行ノ調査並ニ表彰

四、其他必要ナル事項

講師 十五名
 評議員 二十五名
 委員 九名

資産(種目別)

一、基本金 二萬八千四百十圓五十錢
 二、備品 千五百圓
 合計 二萬九千九百十圓五十錢

維持方法

基本金ノ利子、加盟者ヨリ納入ノ會費會誌購讀料及寄附金等ニ
 ヨル

昭和二年度豫算額 歳入 五、〇一九、〇〇
 歳出 四、九七〇、七六
 昭和二年度決算額 歳入 六、〇〇七、九七
 歳出 四、九七〇、七六
 (前二項ハ昭和二年八月以降法人組織後ノ計算)
 昭和三年度豫算額 歳入 八、三四〇、〇〇
 歳出
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 金一百圓 内務大臣ヨリ助成金下附 昭和二年度
 金一百圓 同 昭和三年度

名稱 道德研究會

事務所々在地 京都市上京區二條通新町東入
 創設年月日 明治四十一年十月二十日
 經營主體又ハ代表者 代表者 谷口萬次郎
 沿革概要

明治四十一年十月二十六日創設シ國民思想ノ道德的觀念
 ノ缺陷ヲ憂慮シ奮然起ツテ明治天皇ノ御製ヲ國民道德ノ
 根基トナシ聖旨ノ普久徹底ヲ期センカ爲ニ二十餘年間犧
 牲献身以テ國家風教ノ改善ヲ企圖シ今日ニ至ル
 目的及事業種類

一、目的 明治天皇御製ノ聖旨ヲ奉體シ國民精神ヲ善化
 美化セシムルヲ以テ目的トス

口、事業
 一、例年多クノ發刊物ヲ無料提供ス

一、貧民救助トシテ金品ヲ贈與ス

二、青年團養成ニ努ムルコト

會員數及分布狀況

本會々員ハ各府縣ニ存在ス
 支部モ各地ニアリ

主ナル役職名並其氏名

會長	谷口萬次郎		土山藤吉
理事	青谷誠章	同	小林幸太郎
	宮崎長次郎	同	
同及支部長	高田修吉		
幹事	大西松之助	同	平井嘉三郎
同	西田梅之助	同	兼田龜次郎
同	森本駒次郎		
道德研究會青年團長	澤頭長藏		

維持方法

寄附金、助成金、會員月掛金

昭和二年度豫算額 歳入 三、五五〇、〇〇
 歳出 三、五五〇、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 五、〇〇〇、〇〇
 歳出 五、〇〇〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 六、〇〇〇、〇〇
 歳出 六、〇〇〇、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 昭和二、三年度兩社會局ヨリ下附セラル
 一金二百圓

備考

講演場(活動寫真館)建設ノ議アリ
 社団法人ノ組織ノ建議アリ
 施療院開設ノ議モアリ

名稱對 揚 會

事務所々在地 京都市外花園妙心寺境内
 創設年月日 大正元年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 野 口 繁 治
沿革概要

大正元年十二月創立者野口繁治ノ獨立經營ニ依リ數次ノ
著書及大正九年四月ヨリ月刊對揚新聞ヲ發行大
正十四年二月ヨリ會員組織トス

目的及事業種類

イ、目的 戊申詔書ニ示サレタル御威徳ノ對揚
ロ、事業 一、對揚新聞定期發行

二、著 書

三、講演會、研究會

會員數及分布狀況

會員數 二千名
分布狀況
京都府 三〇〇名
大阪府 一、五〇〇名
兵庫縣 二〇〇名

主ナル役職名並其氏名

代表者 野 口 繁 治

執行役 越 野 文 吉

維持方法

會費並ニ寄附金

名 稱 欄 會

事務所々々在 京都市下京區油小路通五條上ル上金佛町二

六四ノ二

創設年月日 大正四年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊 豆 凡 夫

沿革概要

大正四年二月十一日雜誌「乃木式」第一號ヲ發行シ最初近
畿地方ニ宣傳シ漸次各道府縣朝鮮滿洲臺灣ニ普及シ今日

ニ到ル其間斷絶又ハ休刊セシコトナク大正十五年十一月
主幹畑中豊治死亡シタルニヨリ伊豆凡夫會長トナリ益々
隆盛ノ域ニ達セリ

目的及事業種類

イ、目的 國民的儀表ノ人物トシテ故乃木希典將軍ノ人
格ヲ追慕敬仰シソノ高明正大ノ精神ヲ感得シ一身ヲ
修養シ一家ヲ肅清シ君國ノ恩徳ニ報謝献身スルヲ以

テ目的トス

ロ、事業

一、故乃木將軍ノ姓ヲ藉リテ「乃木式」ト題スル雜誌
ヲ發行シ磅礴タル將軍ノ英靈ヲ通シテ純忠、至
孝、信義、禮讓、質素、友愛、奉公ノ念ヲ激勵
シ以テ國民ノ心胸ニ高大深痛ノ鼓動ヲ與ヘンコ
トヲ期ス

二、本會ハ各地ニ設立セル乃木式實行會及會員ト連
絡ヲ保チ乃木將軍ノ大遺訓ニ關シ會長其ノ他講

演會ヲ開設シ其實其遺訓ヲ感得セシム

會員數及分布狀況

本會々員數ハ三萬五千餘ニシテ團體數六十五其内主ナル實行會
名稱ヲ擧クレハ左ノ如シ

- | | |
|-----------|--------|
| 大日本紡績東京工場 | 乃木式實行會 |
| 群馬縣名和村芝町 | 乃木式實行會 |
| 山口縣伊陸村 | 乃木式實行會 |
| 長野機關庫 | 乃木式實行會 |
| 茨城縣木原村 | 乃木式實行會 |
| 一宮市蠶業試驗所内 | 乃木式實行會 |
| 舞鶴海軍工作部内 | 乃木式實行會 |
| 佐世保海軍工廠内 | 乃木式實行會 |
| 千葉縣萬歲村 | 乃木式實行會 |
| 長野縣鬼世里村 | 乃木式實行會 |
| 廣島縣福永村 | 乃木式實行會 |
| 佐世保海軍造機部 | 乃木式實行會 |
| 大湊要港部 | 乃木式實行會 |

主ナル役職名並其氏名

會 長 伊 豆 凡 夫

編輯主任 塚本小治郎

資産(種目別)

- 一、基本金 二千八百九十二圓二十七錢
- 二、土地建物 三萬圓
- 合計 三萬二千八百九十二圓二十七錢

維持方法

會員ヨリ一ヶ月分十五錢、一ヶ年分一圓六十錢、無期限二十圓ノ割ニテ會費ヲ徵收シ本會ノ經費ニ充ツ但シ不足ノ場合ニハ基金ヨリ補充シ會費以外ハ何等要求セス

昭和二年度豫算額	歳入	三七、五〇〇、〇〇
	歳出	三四、〇四五、五二
昭和二年度決算額	歳入	三六、五〇〇、〇六
	歳出	三一、七二〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	

獎勵金並補助金下附ノ有無
金一百圓 政府ヨリノ補助金 昭和二年度

名稱 衆善會

事務所々在地 京都市上京區烏丸通寺之内上ル慈雲庵内

創設年月日 大正四年十一月十日 (大正天皇御即位式記念日)

日)

經營主體又ハ代表者 代表者 樋口琢堂

沿革概要

大正天皇様カ東宮殿下ニテ御在マセシ時銀閣寺ニ行啓ナリテ御案内申シ其折玉音玉手ヲ頂キシヲ深ク感銘シ居リテ御即位式當日ヲ記念トシ、人情浮薄世情廢類ヲ痛嘆シテ我國民思想ノ善導ヲ企圖シ實行主義ヲ標榜シテ一日一善ヲ唱導シ來リ大正六年機關雜誌衆善ヲ發刊シ以來毎月一日月刊シ、現今昭和四年二月四千五百部ヲ印刷シ來レリ

而シテ事業部トシテ大正十三年十月七日以來和敬學園ヲ開設シテ少年保護ノ教化指導ニ盡カシ居リ今日迄百九十

目的及事業種類

八名ヲ收容シ幾多改善者ヲ出シ居レリ
尙少年保護ニ付テ昨年總二階建二十四坪ノ學園ヲ建築セリ

イ、目的 社會教化思想善導ノ爲ニ一日一善主義ヲ宣傳

獎勵ス

ロ、事業 思想善導 (一日一善主義)

人格向上

社會教化ノタメ月刊「衆善」雜誌ヲ發刊

少年保護教化

貯金獎勵 (一日一錢貯金)

會員數及分布狀況

會員ハ全國ニ分布

總數	二千九百餘名ニテ大略左ノ如シ
京都市内	四五〇名
京都府下	二五四名
東京	二一八
三重	三
大阪	四六
愛知	一〇六
大	六九〇

千葉	一二名	茨城	一〇名
滋賀	八五	群馬	八
宮城	一〇	福岡	三五
長野	一八	島根	四〇
岐阜	七八	岡山	七〇
山口	四三	神奈川	三五
長崎	一五	熊本	一〇
廣島	二六	大分	一五
福岡	一九一	静岡	三四
高知	一〇	愛媛	三〇

尙此外アレトモ略ス

主ナル役職名並其氏名

會長	未設
主幹	樋口琢堂
常務員	森 玄耕
同業慈母	樋口 やす

資産(種目別)

基本金 四百圓 (御下賜金)

建 物 四千五百圓(和敬學園)

器具備品 三百圓 (同上)

印刷物 五十圓

合計 五千二百五十圓

維持方法

寄附金司法省ヨリノ補給費、會費、其他雜收入金ヲ以テ充ツ

昭和二年度豫算額 歲入 二、八〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 七、三九二、七七

昭和三年度豫算額 歲入 八、七〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一金百圓 昭和二年二月十一日 御下賜金 和敬學園ニ

一金百圓 同 三年二月十一日 同 同

一金百圓 同 四年二月十一日 同 同

一金二百圓 同 三年三月卅一日 獎勵金司法省ヨリ 同

名 京 都 禁 酒 會

事務所所在地 京都市上京區丸太町烏丸西入北側

創設年月日 大正七年十二月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 醫學博士 松浦有志太郎

沿革概要

本會ハ大正七年十二月七日ニ創立シ以來京都市内ニ會員

ヲ有スルノミナリシカ漸次府下並ニ他府縣ニ及ヒ現在ニ

至ル

目的及事業種類

イ、目的 我國ヲ禁酒國トシ我國民ヲシテ酒害ヨリノカ

レシメ我國ヲシテ益々隆盛ナラシメンコトヲ目的ト

ス

ロ、事業 宣傳、講演、酒害講習、印刷物新聞雜誌ノ發

行等

會員數及分布狀

現在支部所在地左ノ如シ

京都府(網野、三濱)

滋賀縣(土山、宮、三雲、長野、大河原、東小椋)

三重縣(合河、鞆田、左那具)

長野縣(浦里)

和歌山市ニ支部アリシカ獨立セリ

計 二、五三二人

内京都府内 一、二二六名

他府縣 一、三一六名

主ナル役職名並其氏名

會長 松浦有志太郎

副會長 佐伯理一郎

幹事 大原伴吉

岡田 養

同 岡田 養

同 村井寅雄

同 米田金次郎

同 芦田角藏

同 田中爲造

横田大助

家城菊次郎

岡田定治郎

同 岡田定治郎

同 平井正市

同 寺田德太郎

同 加藤幾太郎

同 長谷計一

資産(種目別)

電話 一 凡 一千圓

維持方法

會費

特別會費 五圓以上

維持會費 三圓

普通會費 只一回一圓

及寄附金

昭和二年度豫算額 歲入 三、〇〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 三、四五六、八五

昭和三年度豫算額 歳入 三、五〇〇、〇〇 歳出

大正十一年機關雜誌赤誠ヲ發刊シ會員ヲ廣ク募集シ爾來今日ニ到ル

名稱 赤誠奉仕會

事務所々在地 京都市上京區大宮通五辻上ル

創設年月日 大正九年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 淺岡信堂

沿革概要

大正九年二月十一日紀元節ノ佳日ヲトシ淺岡信堂岡謹一郎ノ兩名協力シ知己友人中同志ノ人々ヲ百五十三名招集シ建國ノ精神ニ基キ團體ヲ擁護スル目的ヲ以テ個人ノ精神訓練ヲ主トシテ全國的ニ運動センモノト發起結合シ淺岡信堂ハ私財三萬圓ヲ投シテ之カ運動費トナシ内ニ二萬圓ヲ以テ京都現在ノ地ニ道場及事務所ヲ設ケ月三回宛講演會ヲ開ク

會員數及分布狀況

三府四十三縣臺灣朝鮮樺太滿洲支那及南北亞米利加等ニ會員ヲ有シ東京大阪伊勢神戸京城等ニ支部ヲ置ク
現在ノ會員三萬四千二百八十名
主ナル役職名並其氏名

- 會長 淺岡信堂
- 理事長 加藤襄
- 理事 藤田新次郎
- 顧問 工學博士 青柳榮司
- 同 中澤良夫
- 同 伯爵 壬生基義
- 同 山科言綏
- 同 會社重役 依岡省輔
- 同 田宮嘉右衛門
- 同 元代議士 川村數郎
- 同 實業家 上田源三郎
- 同 近藤喜兵衛
- 同 迫間房太郎
- 同 上野勝啓
- 名譽會員 床次竹二郎 同 後藤新平
- 同 元田肇 同 中橋徳五郎

資産(種目別)

- 一、基本金 二千三百圓
- 二、建物 二萬八千圓
- 三、器具其他物品 三千四百圓
- 四、印刷物 五千六百八十圓
- 計 三萬九千三百八十圓

維持方法

會員ノ會費支出金並ニ書籍雜誌販賣等ニ依ル利益ヲ以テ維持費ニ充テ不足額ヘ有志ノ援助金ニ據ル

昭和二年豫算額 歳入 四五、六七八、二〇
歳出 四五、六七八、二〇

昭和二年決算額 歳入 四五、六七八、二〇
歳出 四五、六七八、二〇

昭和三年豫算額 歳入 四六、二五一、三〇
歳出 四六、二五一、三〇

名稱 大日本善人同盟 使命社

事務所々在地 紀伊郡伏見桃山大阪町

創設年月日 大正十二年二月十一日

經營全體又ハ代表者 代表者 村田 太平

沿革概要

主幹村田太平ハ現代人心ノ趨向ニ多大ノ憂慮ヲ抱キ社會教化事業ノ必要ヲ感スルコト久シク、京都帝國大學ニ入リテ社會學ヲ專攻シ學ヲ了ルヤ、大凡二年間大成協會ニ屬シテ社會教化事業ノ研究並ニ見習ヲナシ、大正十二年二月十一日伏見桃山ニ使命社ヲ設立シ、廣ク天下ノ青年男女及一般成人ノ精神指導、特ニ地方自治ノ中堅人物養成ヲ志シ、先ツ雜誌「使命」(主トシテ男子向)ヲ創刊シ後大正十五年更ニ雜誌「愛」(主トシテ女子向)ヲ創刊セリ、大正十五年二月地方善化網結成ノ爲ニ地方職並ニ支部規程ヲ設ケテヨリ全国各地ニ續々支部又ハ準支部ノ設立ヲ

五、本社以外ノ各種團體主催ノ講習講演會ニ出席指導

導

會員數及分布狀況

本社支部ハ六十一團體ニシテ其種類及所在ヲ舉クレハ左ノ如シ

聯合支部	一		
三重縣	一		
支部	六〇		
三重縣	一一	滋賀縣	六
島根縣	二	高知縣	一
栃木縣	一	岐阜縣	一〇
福岡縣	二	奈良縣	一
熊本縣	一	山形縣	一
兵庫縣	四	北海道	二
山梨縣	一	愛媛縣	一
		廣島縣	二
		德島縣	一
		京都府	五
		大阪府	一
		岡山縣	六
		靜岡縣	一

社友數

昭和三年十二月末現在三萬四千五百二十五名ニシテ京都、岐阜、三重、岡山、大阪、滋賀、兵庫、高知ノ各府縣最モ多ク、全國各府縣ニ普及セリ。

主ナル役職名並其氏名

社長兼主幹	村田 太平
顧問 文學博士	小西 重直
同	米田庄太郎
同	守屋 榮夫
講演部長	淺岡 信堂
事務部長	小田 定成
幹事	中島 雄三
同	平山 武敬
同	中島忠太郎
同	村田 好子
同	松居 甚一郎
同	山下嘉三太
同	田吉 次
同	岸本 峯松
同	加茂 氏宣
同	古 範
同	清水 勝雄
同	川村 欽一
同	大谷 武夫
同	中島 文子
同	杏澤 吉太郎
同	小籾 幸吉
同	寺井 利一
同	垣内 兼治郎
同	後藤 邦三郎
同	一谷 軍治

見、今ヤ其支部數六十一ヲ算シ、其活動年ト共ニ旺盛ニ趣キツ、アリ。

目的及事業種類

イ、目的 講習講演著述等ノ方法ニ依リ、人生ノ意義ト理想郷建設ノ方法トヲ明示シ、之レニ則ツテ同胞ヲ善導シ社會ヲ善化シ以テ各人ヲシテ價値アル人生ヲ送ラシムルト共ニ大日本帝國ノ使命ノ完全ナル實現ニ貢献スルヲ其目的トス。此爲ニ善人同盟ノ結束ニヨリ、自己改造ヨリ出發シテ先各自ノ市町村ヲ善化シ進ンテ帝國ノ使命ノ恢弘ニヨリ全人類ノ平和ト幸福トニ貢献セントスルモノナリ。

ロ、事業

- 一、修養及社會善化ヲ目的トスル月刊雜誌ノ發行
- 二、修養及社會善化ヲ目的トスル書籍ノ刊行
- 三、講習講演會ノ開催
- 四、社會善化事業社會奉仕事業ノ指導獎勵

同 國枝儀三郎 同 山田樂治
 同 中村泰輔 同 濱田圓明
 同 加賀安造 同 内田證一郎
 同 光吉彦虎
 地方委員外二百四十九名

資産(種目別)

一、基本金 二千二百八十五圓
 二、器具其他物品 九百七十四圓六十二錢
 三、印刷物 二千五百八十四圓五錢
 合計 五千七百八十六圓六十七錢

維持方法

社友ヨリ納付スル誌代ヲ以テ根幹トシ、之レニ寄附金獎勵金及其他ノ收入ヲ補助トシテ事業ヲ經營ス

昭和二年度豫算額 歳入 三七、四二三、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 三六、二五二、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 三五、六七五、五五
 昭和三年度決算額 歳入 三九、二九四、三〇

於テ誤マレル毒根ヲ吾國民ノ胸裡ニ根サセリ殊ニ無産者ノ思想惡化ハ其レカ經濟的環境ノ不滿ヲ煽テラレ一ノ重大ナル社會問題ヲ形造ルニ至レリ此處ニ於テ吾人拱手傍觀スル能ハス同志ノ者ハ相謀リ社會教化思想善導ノ緒ノ下層階級ノ間ニ介在スルヲ痛感シ貧民指導大願ヲ發シ先ツ大正七年冬事業ノ一端トシテ京都市内中堂寺前田町ニ一地域ヲ借シ私設市場ヲ開設シ専ラ不正奸商ノ膺懲ト度量衡ニ關スル不正行爲ノ撲滅ニ力ヲ致シ以テ貧民階級日常生活ノ安定ヲ計レリ之カ吾カ一人會ノ前身トモ稱スヘキモノニテ當時尙百尺竿頭一步ヲ進メ貧民ノ痛苦ニ惱メルモノヲ救濟センカ爲隣接地ヲトシテ病院ヲ建設セント施藥資源復利貯金會ナルモノヲ發起シタルモ地主トノ交涉不調ニ終リ其ノ儘現今ニ到リタルナリ然ルニ其ノ後思想益々惡化スル趨勢年ト共ニ著シク萬世一系ヲ世ニ誇ル無缺ノ國體ニ對シテモ不信不敬ノ感ヲ抱クモノアリ大正十二年五月十七日決然吾人ハ一人會ノ名ノモトニコノ國

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金百圓 内務省ヨリ補助金 昭和三年二月

備考

廣島、三重、福岡、京都、愛知、北海道ノ各府縣ニ數支部設立準備中ナリ

名稱 一人會

事務所所在地 京都市下京區新三町通五條下ル柿本町五九
 五番地早川蓮一方

創設年月日 大正十二年五月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 早川蓮一

沿革概要

輓近文明ノ進歩ニ伴ヒ世態漸ク一變シ一般民衆ヲ支配セル思想ノ上ニモ亦大ナル變化ヲ生シ就中不完全ナル外來思想ノ急激ナル侵入ハ其咀嚼ニ追アラス廣汎ナル範圍ニ

體ノ擁護ヲ宜シ別記目的ニ基キ徹底的ニ運動ヲ開始シ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 一、目的 本會ハ教育勸語精神作興詔書及ヒ今上陛下ノ勸語ヲ奉戴シ聖旨ニ奉答セシコトヲ以テ目的トス
- 二、事業 一、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト
 二、一日一善日記ヲ配布シ人格ノ修養ヲ實行セシムルコト
 三、路傍演說ヲ隨所ニ行フコト

會員數及分布狀況

各府縣會員數	九千四百六十二人
京都府	一、四六六
大阪府	二、二三七
静岡縣	六九〇
滋賀縣	三二六
和歌山縣	一、六〇〇
長野縣	二〇
東京府	一一〇
埼玉縣	二、〇一一
福島縣	二〇二
北海道	四二〇
神奈川縣	一〇〇
岡山縣	三三

香川縣	四〇人	秋田縣	五〇人
山口縣	五	愛知縣	三〇
富山縣	一〇	兵庫縣	五
廣島縣	三	長崎縣	一〇
岐阜縣	三	鳥取縣	四五
大分縣	五	島根縣	三〇

主ナル役職名並其氏名

會長 早川 蓮一 副會長 田中 政市
 顧問 露木 竹次 同 松本 温
 理事 濱野 松之助 同 加島 謹治
 同 松倉 湛三郎 同 石井 悌五
 同 梅野 一 薫

資産(種目別)

預金 二千圓

維持方法

寄附金 會長出資

昭和二年度豫算額

歳入 五〇〇、〇〇円
 歳出 五〇〇、〇〇円

昭和二年度決算額 歳入 五〇〇、〇〇円
 歳出 五〇〇、〇〇円
 昭和三年度豫算額 歳入 五〇〇、〇〇円
 歳出 五〇〇、〇〇円

名稱 京都府交通安全會

事務所所在地 京都府綴喜郡多賀村字東化組第一番地

創設年月日 大正十三年一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 北澤次兵衛

沿革概要

大正十一年五月有喜代俱樂部ヲ創立シ専ラ地方人ノ教化ニ努メツ、アリシカ大正十二年東都大震火災ニ際シ御下賜ノ精神作興御詔書ニ感激發奮シ急遽大發展大擴張ヲナシ京都府下一圓ニ會員ヲ募集シ大正十三年一月一日ヲ以テ交通安全ト改名シ今日ニ至レリ而シテ事業ヲ賛同スルモノ漸次他府縣ニ及ヒ現今ハ一都二府五縣下ニ支部ヲ有

目的及事業種類

イ、目的 精神作興詔書ノ聖旨ヲ奉體シテ國民精神ヲ作興シ眞劍ナル帝國臣民ヲ養成スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、印刷物ヲ發行スルコト
- 二、教化事業實施ニ關スル諸般ノ設備ヲナシ實行ヲ獎勵スルコト
- 三、講演講習等ニヨリ幹部(地方町村ニテ)ヲ養成ス
- 四、無料相談所ヲ併置シテ人事百般、育兒等ニ付日々ノ煩悶苦慮ヲ解キ正道ヲ教ヘ浮浪者其他直接家庭ヲ指導ス

會員數及分布狀況

本會ノ會員數ハ二千八百十三名

其分布狀況

京都府 相樂郡支部、綴喜郡、久世郡、宇治郡、紀伊郡、中郡、天

主ナル役職名並其氏名

會長 北澤次兵衛 副會長 深見元三郎
 會計兼理事 篠田源三郎 理事 事飯田圓造
 同 田中龜吉 同 竹内寅次郎
 同 奥島文重 同 上田敬助
 同 伊藤富三郎

外幹事職員 十九名

資産(種目別)

一、基本金 十九圓九十錢
 二、施設諸品金 二千八百五十一圓七十錢

三、器具什器 百三十三圓六十錢
 四、印刷物 四十圓
 合計 三千四十五圓二十錢

維持方法

寄附金、補助金、後援會出資金

昭和二年度豫算額 歲入 二、四五〇、〇〇〇
 昭和二年度豫算額 歲出 二、五一〇、〇〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 二、八五〇、〇〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

補助金

金二十圓 綴喜郡教育會ヨリ
 金三十圓 同 多賀村ヨリ
 金十五圓 井手警察署ヨリ

名稱 溫古會

事務所々在地 葛野郡川岡村字川島

創設年月日 大正十三年一月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木岩人

沿革概要

本會ハ大正十三年一月二十六日創立シ昭和三年十二月二十日川岡村溫古會ヲ溫古會ト改稱シ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 一、目的 溫古知新、忠孝仁義ノ發揚
- 二、事業 一、詔勅奉讀會 二、漢文誦講
- 三、社寺古墳善行者參拜展墓 四、講演會
- 五、孝子祭義士祭 六、御大典記念忠孝祭
- 七、娛樂會

會員數及分布狀況

一、會員數 三十八名
 川岡村 二七 桂村 七
 京都市 二 嵯峨町 一
 京極村 一

主ナル役職名並其氏名

顧問	神田源太郎	同	安田幾太郎
同	中村良吉	同	清水喜三郎
同	井上正作		
會長	鈴木岩人	副會長	北村兵太郎
幹事	山口嘉一	同	鹽田信太郎
同	島田信三	同	風間正義
同	辻政次郎	同	谷口良之助
同	太田八十一	同	安田長次郎
同	矢崎信一	同	小西傳次郎
同	風間義雄	同	太田慶次

資産(種目別)

一、預金 五十圓

維持方法

郵便貯金

昭和三年度豫算額

歲入 一〇〇、〇〇〇
 歲出

名稱 社團法人 聖訓奉旨會關西支部

事務所々在地 紀伊郡堀内村字毛利長門一ノ一(本部東京市)

牛込區市ヶ谷田町三ノ二

創設年月日 大正十三年三月二十一日(本部創設大正二年)

十一月三日)

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 伊藤末尾(本部代表者子爵清岡長吉)

沿革概要

本會本部ハ大正二年十一月三日明治天皇御降誕ノ吉辰ヲ永遠ニ記念シ奉ルヘク輦轂ノ下ニ呱呱ノ聲ヲ學ケ大正八年一月二十日組織ヲ更メテ社團法人設立ノ出願ヲナシ同年三月七日内務文部兩大臣ヨリ之ヲ許可セラレ今日ニ至ル

關西支部設立ハ大正十三年三月二十一日ニシテ京都府教化團體聯合會京都府融和團體聯合會大阪府教化團體聯合會ニ加盟シ京阪地方ヲ分擔ス

目的及事業種類

- イ、目的 皇祖列聖ノ聖訓ヲ奉體シ國民道德ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、講演會講習會ノ開催
二、成人教育講座ノ開設
三、新聞聖訓主義ノ發行
四、斯道ニ關スル圖書ノ編纂刊行
五、善行者功勞者ノ表彰
六、其他評議員會ニ於テ必要ナリト認メタル事項

會員數及分布狀況

京都市及郡部 二百八十名
大阪市及郡部 二百五十名

京都大阪共多クハ會社工場商店ヲ會員トシテ其社員職工店員ノ教養ヲナシツツアリ其ノ社員職工店員ノ數ハ京都大阪各數千名ニ達ス

主ナル役職名並其氏名

- 會長 子爵 清岡 長言
顧問 伯爵 二荒 芳德 外六名
監事 子爵 唐橋 在正
理事 伊藤 末尾 外六名
評議員 伊藤 萬助 外十三名
京都委員 市田 彌三郎 外十一名
大阪委員 田村 駒次郎 外十一名
關西支部主事 佐藤 茂

資産(種目別)

關西支部基本金 一萬圓
關西支部電話其他物品約 一千圓
合計 一萬一千圓
維持方法

會費寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一〇、八八五、〇〇
昭和二年度決算額 歲入 七、八七〇、三〇
昭和三年度豫算額 歲入 九、七八五、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
一千七百圓 昭和二年度 內務省補助金
二百圓 同 獎勵金
一千六百圓 昭和三年度 同 補助金

名稱 中丹時報社

事務所所在地 天田郡福知山町内記八三
創設年月日 大正十三年四月三日
經營主體又ハ代表者 代表者 高橋吉治郎

沿革概要

當初福知山町ノ醫師團カ社會的奉仕トシテ中丹時報ヲ發行シ社會教育ニ盡サントシテ本社ヲ組織セルモノナルカ昭和二年ヨリ現經營者ニ屬シ社會教育社會教化ニ努メ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 社會事業ト社會教化
ロ、事業ノ種類 新聞ノ發行 隨時講演 貧民救助等

會員數及分布狀況

會員數 約一千名
主トシテ丹波丹後、兩國ナルモ京都東京ニ各百五十ツツアリ
主ナル役職名並其氏名

- 主幹 高橋吉治郎
顧問 新山 潔
同 六車 勇

顧問 石原松十

維持方法

誌代ト寄附

昭和二年度決算額 歳入 二、五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 二、〇〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 二、一〇〇、〇〇

名稱 孝學堂協賛會

事務所所在地 京都市下京區六角通大宮西入ル今新在家西

町

創設年月日 大正十四年十月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 孝學友彦

沿革概要

去今一百有餘年以前文化文政ノ頃孝學友山ナルモノ孝道

昭和二年度決算額 歳入 三四五、五〇

名稱 京都市聯合報德會

事務所所在地 京都市上京區岡崎西福ノ川町一二河内茂太

郎氏宅

創設年月日 昭和二年十月三十日設立

經營主體又ハ代表者 代表者 河内茂太郎

沿革概要

本會ハ昭和二年十月三十日ニ創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 御詔勅ノ實踐

ロ、事業ノ種類 五十五會ヨリ成ル

報德會(十五歳以上ノ男女) 二九

子供報德會(十五歳以下ノ男女) 二四

普及ノ目的ヲ以テ孝學堂ナルモノヲ興シタルソノ唱導ヲ
繼承シテ爾來斯道ノ普及ニコレ努メ以テ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 國體ノ宣揚 敬神崇祖 孝道普及

ロ、事業 講演會開催、孝道雜誌「わすれまい」ノ發行

孝子節婦ノ表頌

會員數及分布狀況

會員 凡ソ一千五百餘名

京都市ヲ主トシテ

京都市外 大阪府 滋賀縣等ニ少數分布サル

主ナル役職名並其氏名

理事長 孝學友彦

理事 田崎信藏 同 細田善兵衛

同 伊達虎一同 中島寅之助

維持方法

從來ハ寄附金ヲ以テ支辨サル

報德研究會(大學生ヲ中心トスル男女) 一
報德奉仕會(一部ハ大人大部ハ子供) 一

會員數及分布狀況

會員數 約六千名

分布狀況 主トシテ京都市内トス

主ナル役職名並其氏名

幹事 藤谷永三郎 同 中堀貞五郎

同 川岸隆精 同 吉川豊藏

同 西谷源二郎 同 大森政市

同 河内茂太郎

維持方法

熱心努力

名稱 修養團京都府聯合會

事務所々在地 京都府廳内

創設年月日 昭和三年三月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 大海原重義

沿革概要

思想ヲ善導シ愛ト汗トヲ標榜シテ人生觀ヲ確立セシムル
爲昭和三年三月三日ヨリ三日間京都師範學校内ニ於テ第
一回講習會ヲ開キ講習終了ノ日ニ於テ發會式ヲ舉ケ今日

目的及事業種類

イ、目的 愛ト汗ヲ標榜シテ人生觀ヲ確立シテ各自ノ職務
ニ努力セシムルヲ目的トス
ロ、事業 講習會ヲ行フ

會員數及分布狀況

府下各地ニ涉リ漸次同志者ヲ増加シツツアリ

主ナル役職名並其氏名

聯合會長 大海原重義

目的及事業種類

イ、目的 同胞ヲ相愛シ流汗ノ鍛練ヲ爲スヲ目的トス
ロ、事業 講習講演會ヲ開キ毎日曜早天京都御所建禮門
前ニ於テ神宮遙拜宮城遙拜、君ケ代合唱、心ノ力朗
誦美化作業、國民體操ヲ爲シテ散會（此間約一時間）
及毎月十一日定期會合シテ目的ノ達成ヲ期シツ、ア
リ

會員數及分布狀況

現在四〇〇餘名京都市内各方面ニ分散ス

主ナル役職名並其氏名

支部長 青柳榮司
副支部長 福島繁三
同 木村尙一

維持方法

幹事ノ出金講習ノ益金等ヲ以テ支辨ス

備考

副會長 川面松衛

同 岩田正雄

維持方法

寄附金又ハ講習會ノ收入、代理部益金等

名稱 修養團京都支部

事務所々在地 京都市役所内

創設年月日 昭和三年九月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 青柳榮司

沿革概要

國民精神ヲ作興シ同胞相愛シ流汗ノ鍛練ヲ爲シテ修身齊
家以テ献身報國ノ實ヲ舉クヘク同志三〇餘名昭和御大禮
ヲ記念トシテ精神文化ノ中心地タルヘキ京都ニ白色倫理
運動ヲ起サムト九月六日京都府廳ニ相會シ當支部設置ヲ
協定ス

創設日淺ク團員ノ普及不十分ナリ

名稱 大阪府教化團體聯合會

事務所々在地 大阪府廳社會課（大阪市東區大手前町）

創設年月日 大正十五年一月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 各教化團體加盟組織

ロ、代表者 力石雄一郎

沿革概要

府下ニ於ケル各教化團體ハ其發生起源ヲ異ニシ而モ獨特
ノ長所ヲ有シテ互ニ活動シツ、アリシカ大正十四年之カ
團體ヲ調査シ國民道德ヲ基調トシ思想ノ善導生活ノ安定
ヲ圖ルヲ以テ目的トセル十三團體ヲ先ツ選ヒテ大正十五
年一月初メテ發會ヲ見ルニ至レルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 國民道德ヲ基調トシ思想ノ善導生活ノ安定ヲ

圖ルヲ以テ目的トス

イ、事業 聯合各團體代表者協議會ノ開催

ロ、社會教化ニ關スル調査研究及講演講習會ノ開催

ハ、其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會加盟團體左ノ如シ

民風作興會	公益團
安治川乃木講社	大日本國光宣揚會
聖道會	大阪講演會
中央乃木講社	堺節約會
修齊會	有隣會
實唱實行會	達明會
聖訓奉旨會	岸和田修養會
牧方乃木講社	堀江乃木講社
西野田乃木講社	阪南乃木講社
日本皇風會	彌榮會
日本魂社大阪社友會	浪華乃木會
覺醒社	大日本國旗宣揚會

鹽三修養會	敬神組
國民精神作興忠孝會	九條乃木講社
大阪和光會	西野田愛郷會
日の本修養會	

主ナル役職名並其氏名

會長	大阪府知事	力石雄一郎
副會長	同 學務部長	上田莊太郎
理事	同 社會課長	大谷繁次郎
同	同 社會事業主事前	前田宇治郎
同	同 囑託	牧野虎次
同	同 大阪講演會長	林龍太郎
同	同 大日本國光宣揚會長	權藤傳次
同	同 聖道會長	相模圭太郎
幹事	大阪府屬	上妻宗康

資産(種目別)

一、基本金 五千圓

維持方法

會費、補助金、寄附金、其他雜收入ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年年度豫算額 歲入 二、〇二〇、〇〇

昭和二年年度決算額 歲入 一、八五五、九〇

昭和三年年度豫算額 歲入 一、四三八、六八

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金百圓 昭和二年度 獎勵金 內務大臣

金一千圓 同 補助金 府ヨリ

金一千圓 昭和三年度 補助金 府ヨリ

金七百圓 同 中央教化團體

名稱 敬神組

事務所々在 地 大阪市西區北堀江御池通り二丁目二十三番

地高田與三次郎方

創設年月日 天保九年

經營主體又ハ代表者 講元 高田與三次郎

代表者 吉田松次郎

沿革概要

天保九年ノ創設ニシテ當時高榮講ト稱シ講員數百名ヲ有シ明治四十年現在ノ通り改メ其ノ後社會ノ進運ニ伴ヒ思想善導生活安定ノ爲メニ努力スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 毎月一回ノ集會アリ其席上へ神職其ノ他ノ講師ヲ招キ講員一同へ精神修養ノ講演ヲ目的トス

會員數及分布狀況

大阪市内ニ亘リ會員 現在七百名

主ナル役職名並其氏名

講元	高田與三次郎	代表者	吉田松次郎
副講元	廣岡庄太郎	同	佐藤豊太郎
同	石田兼平		
相談役	脇本庄吉	同	小野源次郎

會計 平野友次郎 同 馬淵爲吉
 幹事 飯田熊吉 外二十三名
 維持方法

金三百五十圓 寄附金 其他ノ收入
 昭和二年度豫算額 歲入 五五〇、〇〇
 昭和二年度決算額 歲入 五七〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歲入 五一〇、〇〇

名稱 有隣會

事務所々在 大阪市南區高津町三番丁高津小學校内
 創設年月日 明治二十八年五月十八日
 經營主體又ハ代表者 代表者 熊田嘉久馬
 沿革概要 創業當時ハ専ラ部内教育ノ普及隆盛ニ重キヲ置キ之ヲ授

第三部會員 一千百七十五人
 第四部會員 二百人

高津聯合區其他
 高津町一番丁ヨリ九番丁ニ至ル
 日本橋筋二丁目ヨリ五丁目ニ至ル
 二ツ井戸町・御藏跡町ノ十五ヶ町
 其他

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
 會長 熊田嘉久馬
 副會長 太田勘兵衛 同 生田嘉助
 同 吉田傳治郎 同 大倉柁次郎
 第一部長 寺田八三郎
 口、職員
 書記 櫻井眞一

資産(種目別)
 第一積立金 三千七百四十四圓一錢

助シ來リシカ其後會則ヲ變更シ部制度トシ從來ノ會員ヲ
 第一部社界教化部ニ編入シ更ラニ第二、第三部ノ會員ヲ
 募集シ各該當小學校ノ後援部會員トシ第四部ハ有志家ノ
 寄附金ニ依リ獎學資金ヲ以テ兩校卒業生アリ選抜シ中等
 程度ノ實業學校ニ入學セシメ其ノ學資ヲ補助スルコトト
 ナシ現ニ三名商業學校ニ在學シ居レリ

目的及專業種類

イ、目的 教育ノ普及隆盛及社界教化ノ促進ヲ圖リ會員
 相互ノ交誼ヲ篤クスルヲ以テ目的トス
 口、事業 一、第一部規定(社會教化)ノ事業
 二、第二部規定(高津小學校後援)ノ事業
 三、第三部規定(日本橋小學校後援)ノ事業
 四、第四部規定(獎學部)ノ事業

會員數及分布狀況

第一部會員 九百三十五人
 第二部會員 一千五十九人

第四部獎學資金 金三千八百八十二圓九十六錢

維持方法

會費及寄附金
 昭和二年度豫算額 歲入 三、四五一、三〇
 昭和二年度決算額 歲入 三、〇四八、二一
 昭和三年度豫算額 歲入 二、四二二、七五
 獎勵金並補助金下附ノ有無
 金一千圓 大阪ヨリ補助金 昭和二年度

名稱 吉川修齋會

事務所々在 大阪市港區北境川町四丁目十一番地
 創設年月日 明治四十三年八月十五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 吉川又平
 沿革概要

明治四十三年八月十五日吉川製油所内ニ於テ從業者幸福増進ヲ目的トシテ創立セシモノナルカ大正八年未ニ至リ歐洲大戰ノ休戦ト共ニ我國事業界ノ變化ト共ニ思想上憂慮スヘキモノアルヲ見テ一般的ニ社會教化、苦學生養成其他思想善導勤儉力行ノ獎勵等ニ努力シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 神ナガラノ大道ヲ奉體シ相愛、鍛練、共存共榮以テ同胞ノ總親和ヲ目的トス

ロ、事業

- 一、一般教化事業ト聯絡提携ヲ圖ルコト
- 二、苦學ノ秀才ヲ養成シ精神的國士ノ輩出ヲ圖ルコト
- 三、少年保護事業ノ獎勵助成ヲ爲スコト

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 吉川 又平

理事 吉川泰治郎 同 吉川武治

口、職員 寺井源七 大部 勇

資産(種目別)

一、基本金 八千五百圓

維持方法

合資會社吉川製油所ヨリノ補助金並ニ基本金ヨリ生ヌル利子金

昭和二年度豫算額 歲入 八二五、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 八二五、〇〇
歲出 七八〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 九三〇、〇〇
歲出

名稱 覺 醒 社

事務所々在地 大阪市外岡町松原通四丁目

創設年月日 大正三年一月五日

主ナル役職名並其氏名

主幹 宮澤英心

幹事長 村井 樸 三

副幹事長 松並寅太郎

幹事 西田嘉吉 同 勝田椿逸

同 朝日利道 同 吉田太四郎

同 三木一二 同 金藤米藏

維持方法

雜誌料及有志ノ獻金

昭和二年度豫算額 歲入 六、〇〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 六、〇〇〇、〇〇
歲出

昭和三年度豫算額 歲入 六、〇〇〇、〇〇
歲出

經營主體又ハ代表者 代表者 宮澤英心

沿革概要

大正三年創立以來日刊「覺醒」ヲ發行シ世道人心ノ啓發ニ力ヲ致セリ

尙毎月一回乃至二回公開講演會ヲ開催スルノ外各地ノ天災地變アリシ際ハ義捐金ヲ募リテ之ヲ贈リ且ツ社員ヲ派シテ實地ニ見舞ハシムル等大イニ盡力セリ

大正十四年ヨリハ右ノ外、大阪市内ノ讀者有志五十名ヲ會員トスル覺醒後援會ナルモノヲ組織シ、本社ノ活動ニ援助シツ、アリ

本年一月ヨリハ覺醒婦人會獨立セリ

目的及事業種類

イ、目的 國家中心主義ノ善化運動主トシテ精神的救濟

ロ、事業 講演及雜誌、著述等

會員數及分布狀況

本邦各地並ニ支那、伯國等ニモ少數アリ 四千人

名稱 大阪中央乃木講社

事務所所在地 大阪市西區北堀江通六丁目一番地

創設年月日 大正六年十一月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 能勢 天 祐

沿革概要

大正六年創立者能勢天祐東京ニ於テ故金原明善翁ノ紹介ヲ以テ東京乃木講元創立者高橋靜虎氏ニ面會シ乃木講ノ主旨ヲ聞キ之ニ賛同シ歸來後有志八名ト相謀リ大阪乃木講社ヲ創立シ其ノ發會式ヲ大正六年十一月十三日舉行セリ、爾來毎月十三日大阪市西區劍小學校ニ於テ例會講演會ヲ開催シ未タ一回モ休會セシコトナク本月ヲ以テ連續一百三十五回ニ至レリ。

目的及事業種類

イ、目的 皇室中心主義ヲ奉シテ、乃木將軍夫妻ヲ模範トシ、健實ナル思想ヲ養成シ、社會ノ安寧國家ノ興隆ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、毎月十三日例會講演ヲ開催ス
- 二、毎月雜誌乃木講友ヲ頒布ス
- 三、時々皇陵及神社ニ參拜ス
- 四、思想善導ノ印刷物ヲ頒布ス

會員數及分布狀況

直屬講員 三百餘名

分講社講員 約四千餘名

分布ノ狀況

大阪府 京都府 兵庫縣 滋賀縣 岡山縣
 山口縣 靜岡縣 大分縣 長崎縣 宮崎縣
 朝鮮 其他

主ナル役職名並其氏名

相談役 秦 正堂 成田 軍平
 吉岡 時治 權藤 傳次

維持方法

講費及寄附金

昭和二年度豫算額 歲入 九〇六、六七五

昭和二年度決算額 歲入 七二九、九九五

昭和三年度豫算額 歲入 八四五、八四五

獎勵金並補助下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一百圓 內務省ヨリ助成金 昭和二年二月十一日

金一百圓 同 三年二月十一日

備考

目下大阪市内ニ於テ各區内一講社以上ノ講社ヲ組織スヘク努力中ナリ

名稱 公益團

事務所所在地 大阪市港區九條南通三丁目三一九

資産(種目別)

- 一、基本金 三百二十九圓四十錢
- 一、器具其他 二百八十六圓四十錢

世話人

安藤 長造 青木 積遊
 酒井利三郎 平賀 周
 井上平兵衛 濱田直八郎
 堀口 榮吉 富山 辰造
 岡本市郎兵衛 岡本 英詮
 若林 耕 谷田 捨吉
 高木 幸七 中山 勘太郎
 佐竹 善雄 三浦 啓太郎
 藤田 原治

常務世話人

堀 天啓 中田 秀次郎
能勢 天祐

創設年月日 大正六年十二月

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 會員組織**

ロ、代表者 森田直治郎

沿革概要

大都市ノ周ニ於ケル不良分子ノ特ニ多キニ鑑ミ教化ヲ進
メ公益ヲ廣メンカ爲メ大正六年十二月本會ヲ創設シ爾來
一貫今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 公共益世ノ事業ヲナスヲ以テ目的トス

ロ、事業 **一、講演** **二、社會見學**

三、春秋御陵參拜

四、社會教化並ニ社會事業ノ一端

會員數及分布狀況

會員數五十名

大阪市九條聯合一圓

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

團長 森田直治郎

副團長 池田重太郎 同 平形政視

ロ、職員

會計 大西長太郎 同 小野小夫

維持方法

會費ニ依ル

昭和二年度豫算額

歳入 三〇〇、〇〇
歳出 二五〇、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 三〇〇、〇〇
歳出 二四〇、〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 三〇〇、〇〇
歳出 二四〇、〇〇

名稱 大日本國光宣揚會

事務所々在 大阪市天王寺區西高津中寺町二五

創設年月日 大正十年十一月

沿革概要

經營主體又ハ代表者 **代表者 權藤傳次**

大正十年十一月別項記載ノ目的ヲ以テ本會ヲ組織シ、元

帥伯爵海軍大將東郷平八郎閣下、陸軍大將大迫尙道閣下

故男爵陸軍大將鮫島重雄閣下、子爵小笠原長生、佐藤鐵

太郎兩海軍中將閣下、大阪府知事、第四師團長及大阪市

長等ノ贊助ヲ得、同年十二月舊大阪市西區泉尾町一番地

フトシ會館建設ノ地鎮祭執行翌年一月六日之カ上棟式舉

行、次テ同年三月落成四月一日機關雜誌「國光」發行同

月三日神武天皇祭ノ佳節ニ開館式舉行、爾來大正十五年

九月末日迄本部ヲ該會館ニ置キ諸般ノ會務ヲ處理シ來リ

タルモ會員ノ増加ト本會内務ニ改革ノ要アルヲ以テ同年

十月本部ヲ現在地ニ移シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ神武天皇以降列靈ノ御勅教ヲ奉體シ特

ニ 明治天皇ヲ奉祀シテ御聖德ヲ宣傳シ日蓮主義ニ

依リ大義名分ヲ高揚シ宗教道德ニ關スル同志ヲ糾合

シテ敢テ一宗一派ニ偏スルコトナク王佛一乘ノ旨ヲ

闡明シ忠君愛國ノ觀念ヲ蘊蓄シテ一旦緩急ノ場合ニ

備フベキ國民思想ノ善導ヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、例會及各地巡講

二、教化ニ關スル活動寫眞

三、少年團處女團ノ教養

四、御陵靈蹟參拜

五、會員相互救助及一般救濟並ニ篤行者ノ表彰

六、月刊雜誌國光ノ發行

七、太陽光線治療部開設

八、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラル事項

會員數及分布狀況

本會々員ハ時ニ移動アルモ目下全國ニ通シ約一萬五千名支部三

十有餘其ノ主ナル所在ヲ舉ケレハ左ノ如シ

- 一、東京支部
- 二、仙臺支部
- 三、岩ヶ崎支部
- 四、尾尾支部
- 五、氣仙沼支部
- 六、若柳支部
- 七、鳴子支部
- 八、大船渡支部
- 九、神戶支部
- 十、高砂支部
- 十一、津山支部
- 十二、島原支部
- 十三、長崎支部
- 十四、眞幸支部
- 十五、山ヶ野支部
- 十六、大島支部
- 十七、宮崎支部
- 十八、鹿兒島支部
- 十九、長與支部
- 二十、宇和川支部

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 陸軍中將 權藤 傳次
- 理事 津村源十郎
- 同 宮崎 孫六
- 常任理事 陸軍工兵大佐 野一色 益吉
- 口、職員 住田 幹作 同 田中 德太郎

同 本城半次郎 同 田中正文
書記 菊農正太郎 同 淺野房子

資産(種目別)

- 一、基本金 一千圓(國庫債券)
- 二、建物 借料(六百圓)
- 三、器具其他物品 八百圓
- 四、印刷物 二百圓
- 合計 二千六百圓

維持方法

寄附金、補助獎勵金其他會費收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 二、七六二、〇〇
昭和二年度決算額 歳入 三、一五四、四二
歳出 二、四六七、一八
昭和三年度豫算額 歳入 二、七六〇、一〇
歳出 歳出超過ノ場合會長負擔

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 政府ヨリノ助成金 昭和二年度

目的及事業種類

イ 目的 皇室中心主義ニ依リ敬神崇祖ノ念ヲ鼓吹シ思

想ノ善導ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業 一、毎月一回講演會ヲ催シ又皇陵參拜ヲナス

二、貯蓄團ヲ組織シ勤儉貯蓄ヲ獎勵ス

三、婦人會ヲ組織シ生活改善ヲ圖ル

四、印刷物ノ配布

會員數及分布狀況

維持會員 二百十七名

普通會員 五百三十人

北區ヲ主トシ大阪府、兵庫縣、奈良縣

主ナル役職名並其氏名

- 會長 四谷 四郎
- 副會長 中野 岩藏
- 專任理事 平尾 柴太
- 會計 四方 楢吉
- 脇田 元暉

名稱 浪華乃木會

事務所々在地 大阪市北區北同心町中野岩藏方

創設年月日 大正十一年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 四谷 四郎

沿革概要

大正六年春乃木會ヲ組織シタガ地理上不便ナルヲ以テ大正十一年一月十五日大阪天滿乃木講ヲ創立シ第一回講演會ヲ催ス大正十二年一月皇陵參拜團ヲ組織シ毎月一回歴代御陵ヲ順次參拜シツ、アリ大正十二年大阪天滿乃木講ヲ解散シテ浪華乃木會ト改稱シ今日ニ至ル昭和二年六月浪華貯蓄團ヲ組織シ昭和三年四月浪華婦人會ヲ組織シ今日ニ至ル

幹事 五名

評議員 十名

名譽顧問 八名

名譽會員 八名

資産(種目別)

基本金 百七十圓

維持方法

會費及寄附金

昭和二年度豫算額

昭和二年度決算額

昭和三年度豫算額

名稱 大阪府枚方乃木講社

事務所所在地 大阪府北河内郡枚方町大字三矢

創設年月日 大正十一年五月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 柴田理平次

沿革概要

本講社ハ大正十一年五月ノ創立ニシテ世界ノ大戰後惡思想滔々トシテ流入シ之ニ感染セントスル傾向ヲ憂ヒ同志相謀リテ之ガ對策ヲ老究中乃木將軍ノ人格ヲ偲ビ我國固有ノ國民性ヲ涵養振作シテ忠君愛國ノ至情ヲ培ヒ我國體ノ尊嚴ノ保持ニ努ムルコト、シ毎月十五日ハ必ず思想善導精神作興ノ講演日ト定メ創立以來六ケ年半講演會ヲ重スルコト八十餘回ノ多キニ及ベリ

目的及事業種類

イ、目的 敬神崇祖實實剛健ノ氣性ヲ養ヒ業務ニ勉勵スル事ヲ目的トス
ロ、事業 (1) 毎月十五日右目的ニ對スル講演會及修養感想談話會ヲ開ク
(2) 尙御大典記念事業トシテ

(3) 年一回皇陵參拜

(4) 年一回講社時報發行

(5) 社會事業トシテ

イ、善行表彰

ロ、敬老慰

ハ、救濟慰

ニ、學事獎勵ニ付大ニ奮闘セン

會員數及分布狀況

會員數 百六十餘名

會員分布狀況

枚方町一圓及二三接續町村

主ナル役職名並其氏名

一 常務世話人 柴田理平次

同 小野久次郎

同 兼會計 奥田彌一

二 相談役 小林金次郎

相談役 梅田百枝

同 渡邊由太郎

三世話人 瀧川繁太郎 同 村山重吉

同 小路卯吉 同 大石善雄

同 堀家重次郎 同 小川直三郎

同 吉川宗次 同 高木良三

同 竹川石松 同 山下幸次郎

資産(種目別)

一、基本金 二百六十五圓(勸業債券 二十五枚 復興債券 三枚)

一、現金 二百二十六圓五十四錢

一、什器見積 二百圓

維持方法

會費、寄附金ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 二五八、八五

昭和二年度決算額 歲入 二四三、八八

昭和二年度決算額 歲出 一八三、一五

昭和三年度豫算額 歳入 四〇九、四一

名稱 堺節約會

事務所所在地 堺市役所内

創設年月日 大正十一年九月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 森 本 仁 平

沿革概要

歐洲大戰後依然トシテ諸物價底落セズ失業者續出シ大正十一年八月頃全國各地ニ於テ期セスシテ勤儉貯蓄ノ聲起リ本市ニ於テモ堺市役所商工會堺實業協會堺工業協會堺市農會堺水産會各代表者發起トナリ生活改善並ニ勤儉貯蓄ノ美風ヲ普及スルヲ目的トシ本會ヲ創立シ直ニ翌九

昭和三年度豫算額 歳入 二五〇、〇〇

名稱 堺彌榮會

事務所所在地 堺市甲斐町東一丁府社開口神社内

創設年月日 大正十二年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 三 上 俊 一

大正八年十一月開口神社社司三上俊一堺市助役大島仲太郎堺市會書記長大北勉等ノ主唱ヲ以テ當市有識階級ノ同志ト相謀リ東京帝國大學教授法學博士寛克彦氏ヲ聘シ講演ヲ公開シテヨリ聽講有志者中ヨリ古神道鼓吹ノ必要ヲ痛切ニ感シ是非本會ノ組織ヲ渴望スル聲漸次濃厚トナリ寄々會合ノ結果其機ノ到來スルト共ニ則チ大正十二年一月十五日ヲ期シ其發會ヲ學グルコト、ハナリヌ

月ヨリ印刷物ノ配布講演講習會開催ヲナシ事業ノ實施ニ移リタルモノトス

目的及事業種類

イ、目的 一般生活改善ヲ圖リ勤儉貯蓄ノ美風ヲ普及スルヲ目的トス

ロ、事業 印刷物ノ配布講演會講習會等ヲ開催ス

會員數及分布狀況

二百名 堺市内

主ナル役職名並其氏名

會長 森 本 仁 平
幹事 住 友 茂 章
同 八 木 均

維持方法

特志家ノ寄附ニ依リ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 二五〇、〇〇
昭和二年度決算額 歳入 二四八、六〇

目的及事業種類

イ、目的

本會ハ皇室ヲ中心トシ惟神ノ大道ヲ發揚シ國體ヲ講明シ我建國ノ根本精神ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

大正十四年九月特別ノ御思召ヲ以テ畏クモ 皇后陛下ヨリ開口神社へ御本「神なからの道」御下賜ノ光榮ニ浴シ依テヨリ之ガ普及徹底ヲ期センガ爲メ毎月一回該御本ノ拜讀會ヲナシ終テ講演ヲ開ク
毎年六月三十日大祓式ヲ施行シ式後講演ヲナス毎年一回若シクハ二回斯道ノ大家ヲ招聘シ講演會ヲ開催シ思想ノ善導ニ努メツ、アリ
又附帶事業トシテ毎年一回若シクハ二回神社並ニ皇陵ノ參拜ヲナシ其都度臨地講話ヲ試ミ其目的ノ達成ヲ期シツ、アリ

會員數及分布狀況

百四十八名

主ナル役職名並其氏名

會長 三上俊一

副會長 大島伸太郎

同 神山鈴吉

外幹事 二十三名

維持方法

本會ハ精神的事業ナルヲ以テ會員ニ對シテハ僅ニ一ケ年金一圓ヲ會費トシテ釀出セシメ以テ事業費ニ充當セシメ若シ不足ヲ生シタル場合ハ神社ノ經費中ヨリ其一部ヲ補充スルコトトセリ

昭和二年年度豫算額 歲入 一四八、〇〇

昭和二年年度決算額 歲入 一四八、〇〇

昭和三年年度決算額 歲入 一五〇、〇〇

名稱 日本皇風會

事務所々在地 大阪市東成區森町九十二番地

創設年月日 大正十二年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 金田龍二

沿革概要

大正十二年二月創設以來

宮城大觀 刊行、無料頒布

大正十三年四月

青年子女處世 刊行、無料頒布

大正十四年八月、皇風青年團ヲ組織ス、仁徳御陵道工事奉仕、其後毎年、皇陵巡拜、講演會、映畫會等、數十回開催、其他、職業、結婚、無料相談等ノ社會事業等ノタメ奉仕

目的及事業種類

イ、目的 皇室中心主義ニ立脚シ歴代御聖訓ヲ奉體シ國

民思想ノ惡化ヲ防ギ其ノ善導ニ資スベキ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

口、事業 一、圖書刊行、講演會、皇陵巡拜

社會事業ニ關スル事項ニ付テノ無料相談

會員數及分布狀況

堺市内 四百名

大阪市内 二百五十名

主ナル役職名並其氏名

會長 金田龍二

顧問 子爵 蒔田廣城

理事 鈴木禎藏

同 今岡吉太郎

維持方法

寄附金(主トシテ會長出資)

備考

時代ノ趨勢ニ鑑ミ精密機械工業ノ必要ヲ感シ昨年十一月、大阪

名稱 大阪講演會

事務所々在地 大阪市北區堂島濱通一丁目七四番地

創設年月日 大正十二年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 林龍太郎

沿革概要

歐洲大亂直後ニ於ケル、我財界ノ反動的動搖、並ニ關東大震災ノ厄難ニ當面シ、道念日々ニ頽廢シ、國家内外多事多端ノ折大ニ感スル所アリ、辯護士トシテノ公職ヲ退イテ専ラ奉仕ノ精神ヲ以テ立チ別項事業ヲ繼續シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 禁酒禁煙勵行、信念涵養、其他國民精神作興

ノ爲メニ努力ス

ロ、事業 一、學校工場其他ニ於ケル講演

二、公園等ニ出動シテ屋外宣傳ヲ爲ス

三、毎年七八十萬部ノ印刷物ヲ配布ス

主ナル役職名並其氏名

會長 林 龍太郎

主事 菅 龜助

講師 濱谷理吉郎

維持方法

林龍太郎ノ出費

昭和二年度豫算額 歳入 五、〇〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一〇、〇〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 八、〇〇〇、〇〇

名稱 社團法人 聖訓奉旨會關西支部

事務所所在地 京都府紀伊郡堀内村字毛利長門一ノ一

創設年月日 大正十三年三月二十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

ロ、代表者 伊藤末尾

沿革概要

本會本部ハ大正二年十一月三日明治天皇御降誕ノ吉辰ヲ
永遠ニ記念シ奉ルベク輦轂ノ下ニ呱呱ノ聲ヲ擧ゲ大正八
年一月二十日組織ヲ更メテ社團法人設立ノ出願ヲナシ同
年三月七日内務文部兩大臣ヨリ之ヲ許可セラレ今日ニ至
ル

關西支部設立ハ大正十三年三月二十一日ニシテ京都府教
化團體聯合會大阪府教化團體聯合會京都府融和團體聯合
會ニ加盟シ京阪地方ヲ分擔ス

目的及事業種類

イ、目的 皇祖列聖ノ聖訓ヲ奉體シ國民道德ノ振興ヲ圖

ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、講演會講習會ノ開催

一、成人教育講座ノ開設

一、新聞「聖訓主義」ノ發行

一、斯道ニ關スル圖書ノ編纂刊行

一、善行者功勞者ノ表彰

一、其他本會評議員會ニ於テ必要ナリト認メ
タル事項

會員數及分布狀況

京都市及郡部 二百八十名

大阪市及郡部 二百五十名

京都大阪共多クハ會社工場商店ヲ會員トシテ其ノ社員職工店
員ノ教養ヲナシツツアリ其社員職工店員ノ數ハ京都大阪各數

十名ニ達ス

主ナル役職名並其氏名

會長 子爵 清岡 長言

顧問 伯爵 二荒 芳徳

監事 子爵 唐 橋 在 正

理事 伊藤 末尾 外六名

評議員 伊藤 萬助 外十二名

京都委員 市田 彌三郎 外十一名

大阪委員 田村 駒次郎 外十一名

關西支部主事 佐藤 茂

資産(種目別)

關西支部基本金 一萬圓

同 電話其他物品約 一千圓

合計 一萬一千圓

維持方法

會費、寄附金、其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一〇、八八五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 七、八七〇、三〇

昭和三年度豫算額 歳入 九、七八五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一千七百圓 昭和二年度 内務省補助金

二百圓 同 同 獎勵金

一千六百圓 同 三年度 同 補助金

備考

昭和四年四月ヨリ京都大阪ニ各三十ヶ所成人教育講座開設生徒
五千人ヲ得ル豫定ナリ

名稱 岸和田市修養會

事務所々在 地 岸和田市役所

創設年月日 大正十三年三月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 脇坂市治郎

沿革概要

大正十三年三月二十七日日本會發會式舉行同月三十日第一
回講演會開催當時ハ會員僅ニ數名ニ過キス隨而經營ハ舟

アリ

主ナル役職名並其氏名

顧問 舟木二三二

會長 脇坂市治郎

幹事 西ノ内房吉 同 老木計治

同 川井源五郎 同 田中テイ

同 宇口萬太郎 同 山岡ハル

同 松下義周 同 正井五郎

同 丸尾友治郎 同 舟木凡子

同 青井群三郎 同 須田楠太郎

資産(種目別)

定期預金 一千一百圓

昭和二年度決算額

歳入

四八二、六三

円

歳出

本會長始メ一般篤志家ノ寄附ニ俟チシモ其後會員逐次増
加シ同年末ニ到リテハ全會員ノ會費收入ニヨリ維持シ得
ルニ到リ所定ノ諸事業ヲ續行ス昭和二年二月前會長任期
滿了改選ノ結果現會長脇坂市治郎氏當選ス同年三月會則
ノ一部ヲ變更シ維持會員ノ會費收入ヲ基本金造成資金ニ
充ツルコト、セリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ公開シ自他共ニ精神ヲ修養シ其向上安

定ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 本會ハ毎月一回修養ノ爲例會ヲ開キ且隔月一

回名士ノ講演會ヲ開ク尙臨時ニ開クコトモア

リ

會員數及分布狀況

普通會員 一二一人

維持會員 三七人

會員ハ概ネ本市各町ニ散在セルモ尙他町村ヨリノ加入者モ數名

名稱 鹽三修養會

事務所々在 地 大阪市南區鹽町通三丁目三番地

創設年月日 大正十三年八月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 長谷川 操太郎

沿革概要

大正十三年五月 皇太子殿下御成婚記念事業トシテ大阪
市南區鹽町通三丁目(九十八世帶人口六百三十八人大正
十四年調)ニ創立

國民精神作興ニ關スル御詔書ノ聖旨徹底普及ノ爲メ毎月
一日午前五時三十分難波神社ニ集合詔書ノ捧讀後經書講
義一時間ヲ實行シ來リ現今別ニ夜間毎月十五日經書講義
ヲナス

目的及事業種類

イ、目的 國民精神作興ニ關スル御詔書ノ 聖旨徹底普

及ヲ以テ目的トス

ロ、事業 毎月一回早起會ヲ催シ神社ニ集合御詔書捧讀

式後經書講義

每月一回夜間精神講話ヲ開催ス

會員數及分布狀況

大阪市南區鹽町通三丁目居住ノ者全體(戶主九八月)

主ナル役職名並其氏名

常任理事 長谷川 操太郎

理事 瀨尾喜一郎 同 桂 善助

同 有本國治 同 福田吉兵衛

同 木村猶三郎 同 出原治良吉

同 杉下助三郎 同 鹿海文助

同 科野米造

維持方法

寄附金制度

昭和二年度豫算額 歲入 三八五、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 三九七、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 四〇〇、〇〇

名稱 九條民風作興會

事務所々在地 大阪市港區九條中通二丁目

創設年月日 大正十三年十月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 水田秀光

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書渙發セラル、ヤ有志會合聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方法ヲ協議シタル結果其ノ具體的方法トシテ九條民風作興會ヲ組織スルコトニ決シ翌年十月十日之レヲ設立ス
爾來入會者逐次増加シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ現下ノ弊風ヲ除却シ美俗ノ進展ヲ期シ國運ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

一、民風作興ニ關スル詔書ノ聖旨宣傳講演會

見學講習會

一、一般教化ニ關スル一切ノ事項

一、商工業道德ノ作振及能率増進研究

一、濟世奉仕救護等

一、國家經濟ノ研究及節約ノ宣傳

一、法律ノ研究及相談政治道德ノ促進

會員數及分布狀況

八百五十三名

九條聯合區内ニ限ラル

主ナル役職名並其氏名

會長 水田 秀光

副會長 渡邊 琴次郎

同 山口 和三郎

理事長 富松 彦次郎

理事兼教育部長 池田 今次郎

名稱 實 唱 實 行 會

事務所々在地 大阪市南區二ツ井戸町六番地

創設年月日 大正十三年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 森田 太三郎

沿革概要

大正十三年十一月十日國民精神作興御詔書渙發一週年記

念日ニ組織シ創立ス
目的及事業種類

イ、目的 大詔ニ覺醒シ肉體ノ改造ト精神修養、謠曲趣

味ヲ通シテ佛語ノ研究

ロ、事業 前條ノ目的ヲ達スル爲メ

毎月 講話謠曲會開催

毎月 皇陵巡拜

毎月 人道誌ノ發刊

會員數及分布狀況

本會々員ハ市内外ニ散在シ

會員數ハ 二百七十五名

主ナル役職名並其氏名

會員

會長 森田 太三郎

幹事 兼頼 佐太郎 外十三名

資産(種目別)

會トシテハ寄附金ノ積立カ

現在 百五十圓餘アルノミ

維持方法

篤志寄附金 全部會長ノ支出

昭和二年度豫算額 歲入 五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 四八二、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 五〇〇、〇〇

名稱 達、明 會

事務所々在 地 大阪市北區南同心町二丁目九番地

創設年月日 大正十三年十一月十六日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

ロ、代表者 葎崎 勝正

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書發ア

ラセラル、ニ付テ詔書ヲ奉體シ大乘佛敎ノ眞義ヲ鼓吹シ

テ民衆ノ道念ヲ涵養シ皇室中心主義ノ下ニ國民精神作興

ヲ圖リ立國ノ基礎ヲ強固ナラシメントス翌年十一月十六

日之ヲ設立セリ、爾來堺市南旗籠町東二丁目北河内郡古宮

村大字濱北區澤上江町ノ各三ヶ所ニ支部ヲ設ク國民精神

作興會家庭佛敎講座生活改善ニ關スル講習會ノ三種ニシ

テ其ノ會數二百四十七回ニ及ヘリ、達明誌毎月一日發行

既ニ四ヶ年ニ至ル、社會ニ宣傳スル發行印刷物四十五萬

八千ニ達セリ

目的及事業種類

イ、目的 一、肇國ノ洪範ニ則トリ列聖ノ叡旨ヲ奉體セ

ンコトヲ期ス。一、篤ク三寶ヲ敬シ大乘精神ヲ涵養

シ以テ昭和ノ實ヲ舉ケンコトヲ期ス

ロ、事業

一、教化事業トシテ専ラ講演會ヲ主眼トス

二、教化ニ關スル印刷物ヲ發行ス

三、教化事業振興ニ關スル幹事評議員會ヲ開ク

四、生活改善ニ關スル講習會ヲ開催ス

五、生活改善ニ關スル洗濯法野菜料理法等ノ實習ヲ

施行ス

會員數及分布狀況

會員總數 一千二百三十人

支部名稱左ノ如シ

堺支部、古宮支部、都島支部

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

幹事長 葎崎 勝正

幹事 生活改善技師 畑 中 乙 松

幹事常任 吉 田 秀 同 山元梅太郎

同 前田善次郎 同 藤井 豊

ロ、職員

主事 永原文平 同 北野賢三

資産(種目別)

- 一、器具類 三百圓
- 二、諸印刷物 三百七十圓
- 計 六百七十圓

維持方法

一會員ノ離出金 一寄附金 一補助金

昭和二年年度豫算額	歳入	三、四五五、〇〇
	歳出	三、二五〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	三、三九八、六七
	歳出	三、一四七、四〇
昭和三年年度豫算額	歳入	四、三三〇、〇〇
	歳出	四、一五〇、〇〇

名稱 大阪堀江乃木講社

事務所々在 大阪市西區北堀江通六丁目一番地

創設年月日 大正十三年十二月十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 森本清之亮

沿革概要

大正十三年十月創立者森本清之亮ハ西區堀江小學校ニ於テ西七會秋季講演會ノ講師トシテ大阪中奉乃木講社代表者能勢天祐氏ヲ聘シ同志ノ講演ヲ聞キ乃木將軍ヲ一層崇敬スルノ念ヲ喚起シ同氏ノ勸説ニ依リ大阪堀江乃木講社ヲ設立スルコトヲ決意シ有志十數名ト謀リ同年十二月十四日創立發會式ヲ舉行セリ。

爾來毎月十四日堀江小學校ニ於テ例會ヲ開キ本月ヲ以テ連續第四十九回ノ例會ヲ開催セリ。

目的及事業種類

- イ、目的 皇室中心主義ヲ奉シテ乃木將軍夫妻ヲ模範トシ、健實ナル思想ヲ養成シ、社會ノ安寧國家ノ興隆ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、毎月十四日例會講演ヲ開催ス
- 二、毎月雜誌講友ヲ頒布ス

會員數及分布狀況

講員 一百四十名

分布ノ狀況

大阪市西區一圓

主ナル役職名並其氏名

- 相談役 早瀬榮之助 外十一名
- 世話人 今西作次郎 外十三名
- 常務世話人 吉田松次郎 同 中村政治
- 同 森本清之亮 同 菅沼松彦

資産(種目別)

一、器具 金二十二圓

維持方法

講費及寄附金

昭和二年年度豫算額	歳入	五一五、二八〇
	歳出	四一五、二八〇

昭和二年年度決算額

歳入	四九三、八五〇	
歳出	四六六、五〇〇	
昭和三年年度豫算額	歳入	六二七、三五〇

名稱 聖道會

事務所々在 大阪市浪速區櫻川三丁目一三八二

創設年月日 大正十四年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 相模圭太郎

沿革概要

一、本會ハ教育勅語、國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨並ヒニ聖賢ノ遺訓ヲ奉憲シ以テ我等國民相互修養教化シテ健全ナル國民トナリ、國運ノ隆盛ヲ期シ以テ聖旨ニ副ヒ奉ラントスル主旨ノモトニ成立ス

大正十五年二月大阪府教化團體聯合會ニ加盟ス

目的及事業種類

イ、目的

本會ハ列聖ノ御遺勅ヲ遵奉シ健全ナル國民トナリ會員相互敬愛シ自己ノ研磨充實ヲ圖リ社會ヲ改善シ併セテ國民思想ノ善導ヲ以テ目的トナス

ロ、事業

- 一、講演講話會ノ開催
- 一、會員修養ノ行事
- 一、皇陵神社ノ參拜
- 一、會員貯金ニ關スル事項
- 一、會報「聖道」ノ刊行

會員數及分布狀況

- 一、會員數 五〇〇名
- 一、分布狀況

大阪市 浪速區 西區 港區

(右三區方面)

主ナル役職名並其氏名

會主 相模圭太郎 支部長 田宮彌藏

名稱 日本魂社大阪社友會

事務所所在地 大阪市西區江戸堀南通一丁目三十三番地

創設年月日 大正十四年四月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 後藤武夫

沿革概要

本社友會ノ母體タル日本魂社ハ大正五年ノ創立ニシテ爾來十有餘年間雜誌「日本魂」ヲ發行シ又講演會ヲ開催シテ世道人心ニ資スル所尠カラス

本會ハ雜誌日本魂購讀者ヲ以テ糾合シ大正十四年四月三日創立セラル

爾來加入人員逐次増加シ大阪府下ノミニテ一千三百名(昭和三年度末現在)ヲ算スルニ至ル

外ニ全國五十有餘箇所ノ社友會ト聯絡提携シ國民精神作興ノ爲メ一大努力ヲ續ケ居レリ

目的及事業種類

イ、目的 日本道德ノ精髓タル皇室中心主義忠孝主義、

主司長 山田豊吉

常任主司 田中伊三郎 同 梅村幸二郎

同 松本幸太郎 同 高天岩次郎

同 生田萬吉 同 水谷純一

會計 伊澤頼一同 林龍助

資産(種目別)

備品(器具帳簿其他物品)

金一百九十三圓五十錢

維持方法

會員會費及特志寄附其他ノ雜收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 六〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 五二五、九四

昭和三年度豫算額 歲入 八〇〇、〇〇

人格主義、至誠努力主義即日本魂主義ノ鼓吹

ニ努メ以テ國民精神ヲ作興シ國運ノ隆昌ヲ圖

リ延イテ世界ノ平和ニ貢獻スルニ在リ

ロ、事業 雜誌圖書ノ發行、講演會ノ開催、有爲人物ノ

養成模範人物ノ表彰、善風美俗ノ支持、陋習

迷信ノ打破、人格教育ノ高調、青年ノ統一指

導、學生ノ國家思想涵養、世界文化ノ研鑽、

勞資協調ノ實行

會員數及分布狀況

社友分布狀態ハ東京市ヲ始メ全國ニ亘ルモ本會ハ大阪府下所在ノ社友ヲ以テ組織シ現在社友一千三百三十二名ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

會長 後藤武夫

理事 占部卯太郎 同 山本幸吉

同 高松信藏 同 中島久次郎

幹事長 藤村末吉

資産(種目別)

一、基本金 五百圓

二、建物器具其他ハ會長後藤武夫私有物ヲ無料借用ス

維持方法

雜誌購讀料ノ外會長ヨリ補助

昭和二年年度豫算額

歳入 一、三八五、八〇〇
歳出 一、三三三、三〇〇

昭和二年年度決算額

歳入 一、三八一、五〇〇
歳出 一、三七九、七四〇

昭和三年年度豫算額

歳入 一、四〇〇、〇〇〇
歳出 一、三三三、三〇〇

名稱 安治川乃木講社

事務所所在地 大阪市港區南安治川通二丁目二七

創設年月日 大正十四年五月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 宮本寅吉

沿革概要

當講社ハ東京乃木講社本部取締陸軍中將摺澤靜夫閣下及地方幹事能勢天祐、前川芳輝酒井貞六、諸氏ノ斡旋ニヨリ乃木講分社トシテ本社ノ趣意ヲ繼キ創立セシモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 皇室中心主義ノ下ニ乃木將軍御夫婦ノ「心ヲ以テ心トスル」思想ノ善導ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 本部ノ發行スル乃木講友雜誌ヲ購讀シ毎月一回以上例會ヲ催シテ會員各自ノ意見ヲ交換スル等又講師ヲ聘シテ講演ヲ拜聽ス而シテ時々皇陵參拜ヲ行フ

會員數及分布狀況

一百四十六人

港區 南安治川 北南安治川 市岡

西區 本田 梅本町

主ナル役職名並其氏名

名稱 西野田乃木講社

事務所所在地 大阪市此花區吉野町二丁目二十八番地

創設年月日 大正十五年二月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 堀口榮吉

沿革概要

乃木講社ハ乃木將軍夫妻ノ人格精神ヲ感得シ一身ヲ修養シ一家ヲ肅清シ君國ノ恩德ニ報謝獻身スルヲ信條トシ大正四年二月東京ニ於テ創設セラル講元ヲ東京ニ置キ講社ヲ各地ニ置クコトニヨリ大正六年十一月能勢天祐ト共ニ發起シテ大阪乃木講社ヲ創設ス、爾來講社ノ發展ニ努メ西野田方面ニ講員ヲ多數得ルコト、ナリ大正十五年二月大阪講社ヨリ分離シテ西野田ニ乃木講社ヲ創設セルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 乃木將軍ノ人格精神ヲ感得シ君國ノ恩德ニ報スルヲ目的トス

資産(種目別)

準備金 一百圓

金庫 一箇

机椅子

其他諸備品

維持方法

一ヶ月會費 二十錢

不足額ハ世話人ニ於テ負擔ス

昭和二年年度豫算額

歳入 二五〇、〇〇
歳出 二五〇、〇〇

昭和二年年度決算額

歳入 二六五、八〇
歳出 二六五、八〇

昭和三年年度豫算額

歳入 三五〇、〇〇
歳出 三五〇、〇〇

口、事業 一、講元發行ノ講友誌ノ配本

二、毎月一回以上精神修養、思想善導社會教化ノ講演會ヲ開催ス

三、春秋二期ニ皇陵神社ノ參拜ノ催ヲナス

四、其他文書宣傳配本等ヲナス

會員數及分布狀況

本會々員數ハ目下 一百二十九名

主ナル役職名並其氏名

常務世話人 堀 口 榮 吉 同 西野五兵衛

同 木村惣三郎 同 土田 鐵 藏

同 阪井常次郎 同 仲谷彌太郎

資産(種目別)

一器具其他ノ物品 二十圓

維持方法

講費、補助金、寄附金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 三二六、〇〇 歲出

昭和二年度決算額 歲入 四二八、〇〇 歲出

昭和三年度豫算額 歲入 三六一、〇〇 歲出

名稱 西野田愛郷會

事務所々在地 大阪市此花區大野町二丁目一三二番地

創設年月日 大正十五年八月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 峯 内 政 信

沿革概要

大正十五年八月、衛生思想ノ普及改善及ヒ思想善導町民ノ福祉増進ヲ目的トシ創立ス、其ノ當時會員一百名ナリ
シニ今ヤ五百八十名トナレリ

目的及事業種類

イ、目的 皇室ヲ尊ヒ國憲ヲ重シ教育衛生ノ普及ヲハカリ勤儉貯蓄ノ精神ヲ涵養シ隣人ヲ厚シ思想

維持方法

尿尿汲取利益金及ヒ有志ノ寄附金

昭和二年度豫算額 歲入 四〇〇、〇〇 歲出

昭和二年度決算額 歲入 四二〇、〇〇 歲出

昭和三年度豫算額 歲入 四五〇、〇〇 歲出

名稱 和 光 會

事務所々在地 大阪市天王寺區下寺町三丁目下寺町集會所

創設年月日 大正十五年十月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 奥 村 捨 吉

沿革概要

現在ノ社會狀態ニ鑑ミ特ニ國民精神ノ作興ヲ圖ルノ急務ナルヲ痛感シ同志ヲ語ヒ本會組織ニ着手シ大正十五年十月六日天王寺市民館ニ於テ當時ノ知事閣下市長其他府下

善導ヲ計ルヲ以テ目的トス

口、事業 事業トシテ會員ノ尿尿汲取ヲナシ其ノ利益ヲ以テ會費ニ充ツ

會員數及分布狀況

イ、會員總數 目下 五百八十名

口、分布 西野田一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 峯 内 政 峯

副會長 瀨 口 久 吉 同 山本嘉多治

幹事 清水寅吉 同 吹田與一郎

同 安川幸太郎 同 瓜生吉次郎

同 増田幸一 同 野島英治

資産(種目別)

動産 約六百圓

器具 一百圓

但シ動産ハ船、車、及ヒ附屬品

ニ於ケル主ナル社會教化事業關係者ノ臨席ヲ仰キ發會式ヲ舉行シ現今ニ及フモノニシテ今回聯監ニ加入シタルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 口、事業 一、毎月一回名士ヲ招聘シ講演會ヲ開催シ精神修養ニ努ム

二、時ニ御陵參拜ヲ行ヒ皇室尊崇ノ念ヲ養成ス

三、毎年歲末ニ際シ糠袋販賣ヲ爲シ利益金ヲ管内細民ニ分與ス

會員數及分布狀況

會員數 一百五十名

天王寺區西部六ヶ町(逢坂下之町、下寺町二、三、四丁目、南日東町)北日東町ニ居住スルモノニシテ本會ノ趣旨目的ニ賛同シタルモノ

主ナル役職名並其氏名

會長	奧村 捨吉
理事	西村 鐵藏
幹事	棚池 源次郎
	同 藤田 久吉
	同 宇津尾 宇之助
	同 蟻川 福太郎
	同 神野 滿太郎
	同 伯耆 増太郎
	同 前川 宇三郎
	同 藤田 政太郎
	同 村上 熊太郎
	同 森田 条藏
	同 北野 三藏
	同 大伴 龜之助

維持方法

會員ノ會費ニ依ル

名 稱 阪南乃木講社

事務所々在 地 大阪市西成區玉出町九二九堀農吉方

創設年月日 昭和二年二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 堀 農 吉

沿革概要

堀農吉主唱ノ許ニ乃木將軍ノ盡忠愛國ノ精神ヲ鼓吹シ以テ國民精神ノ善導ヲ圖ル、専ラ講演ニ依テ運動ヲス、メ會ヲ開クコト數十回ニ及フ

目的及事業種類

事業 一、講演會 二、桃山御陵參拜
 三、乃木神社參拜

會員數及分布狀況

舊玉出町一圓

賛助員 二十名

會 員 百八十名

主ナル役職名並其氏名

世話人 大井 文 朗 外數名

維持方法

會費及賛助金

昭和二年度豫算額	歳入	三〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	三〇〇、〇〇
	歳出	

名 稱 九條乃木講社

事務所々在 地 大阪市港區九條通一丁目八五六番地笹島榮

助方

創設年月日 昭和三年三月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 笹 島 榮 助

沿革概要

本講者ハ創立者笹島榮助大正十二年十月修徳會ナルモノヲ作り時ニ精神修養講演會ヲ開催シツ、アリシカ昭和二年十一月堀江乃講代表者森本清之助氏ヨリ乃木講ノ精神

修養團體トシテ有力ナルヲ聞キ九條乃木講創立ヲ思立チ
 同三年一月大阪中央乃木講代表者能勢天祐氏ニ面會シ乃
 木講組織ノコトヲ相談シ愈々修德會ヲ改メテ九條乃木講
 ヲ創立スルコトヲ決意シ有志數名ト相謀リ昭和三年三月
 十八日陸軍大將大庭二郎閣下ノ來臨ヲ仰キ其發會式ヲ舉
 行シ爾來隔月例會講演會ヲ開催シツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 皇室中心主義ヲ奉シテ乃木將軍夫妻ヲ師表ト
 シ健實ナル思想ヲ養成シ社會ノ安寧、國家ノ
 興隆ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、隔月十八日例會講演會ヲ開催ス
 二、毎月雜誌講友ヲ頒ツ
 三、時々思想善導ノ印刷物ヲ頒ツ

會員數及分布狀況

講員 一百十三名
 大阪市港區一圓

主ナル役職名並其氏名

常務世話人 笹島榮助
 世話人 下河榮太郎 同 野田官太郎
 同 細井伊久藏 同 堀田嘉四郎
 同 佐伯忠太郎

資産(種目別)

器具 十一圓

維持方法

講費及寄附金

昭和三年度豫算額 歲入 五〇〇、〇〇
 歲出 〇

名稱 大日本國旗宣揚會

事務所々在地 大阪市東成區片江町百九十七番地

創設年月日 昭和三年四月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 須基 浩

沿革概要

本會ハ昭和三年四月十日設立セラレタルモノナルカ本會
 長須基浩ハ夙ニ國旗ノ宣揚カ國民教育及社會善導ノ上ニ
 重要ナルヲ感シ明治四十三年世界國旗大觀ナル書ヲ著作
 シ以來數種ノ圖書ヲ著述セシカ昭和三年國旗ニ關スル展
 覽會ノ開催ヲ企畫シ大阪府教化團體主催ノ展覽會以來京
 都市、松山市、和歌山市、神戸市兵庫縣山崎町等ニ同會
 ヲ開催シテコレカ計畫ニ助力シ同年中ノ來觀者約三十萬
 ノ思想善導ニ資シタリ

目的及事業種類

目的 本會ハ我大日本帝國々旗ノ表徵セル意義ヲ國民闡
 明シソノ尊嚴ナル所以ヲ周知セシメ且國家ノ慶吊ニ際
 シ國旗掲揚ノ普及ヲ計ルヲ目的トス

會員數及分布狀況

會員 二百名

大阪府 九十六名 和歌山縣 二十四名

京都府 三十二名 兵庫縣 四十八名

主ナル役職名並其氏名

會長 須基 浩
 兵庫縣支部長 小野清人

資産(種目別)

一、展覽會出展資料 七百圓
 二、印刷物 二百圓
 計金 九百圓

維持方法

寄附金其他ノ方法ニヨル

昭和三年度豫算額 歲入 七八〇、〇〇
 歲出 〇

名稱 國民精神作興忠孝會

事務所所在地 大阪市北區宗是町三十八番地

創設年月日 昭和三年五月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 山崎忠次郎

沿革概要

昭和三年春共產黨事件ニ奮起シ思想惡化防止ノ趣旨ニヨリ創立セリ創立日淺ク記載スヘキ沿革ト稱スルモノナシ

目的及事業種類

イ、目的 一、聖訓ヲ奉シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、優秀ナル映畫ヲ以テ忠孝ノ趣旨徹底ヲ期ス

ス 天皇皇后、兩陛下 御辰影ヲ全國各

戸ニ奉掲セシメンコトヲ期ス

會員數及分布狀況

創立日淺キヲ以テ大阪府下、徳島、岡山、廣島、ニ各一ヶ所ノ

名稱 日の本修養會

事務所所在地 大阪市東成區中濱町三七六ノ一

創設年月日 昭和三年十一月十日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

ロ、代表者 杉並寅太郎

沿革概要

本會ハ去ル大正十三年二月初メテ日の本足袋會社ニ勤務スル社員工場員ノ精神修養ヲスル爲メニ設立シタルモノナルカ昨年十一月十日御大典ヲ記念トシテ『日の本修養會』ヲ設立シ日の本足袋會社ニ勤務スル社員以外ニ本會ノ趣旨ニ賛成スルモノヲ會員トシテ廣ク修養ノ目的ヲ達成センコトヲ努メツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的教育勅語ノ聖旨ヲ奉體シ各自ノ精神ヲ修養シ人格ヲ向上シテ忠良ナル臣民トナリ君父ノ大恩ニ報スルヲ目的トス

支部ヲ有スルニ過キス

主ナル役職名並其氏名

會長 山崎忠次郎

理事 太田 勸 同 鈴木斯郎

同 岡本利雄

資産(種目別)

基本 金五百圓

動産 活動寫眞機 フィルム

備品 其他

合計 千五百圓

維持方法

講演、映畫、收入篤志者寄附金雜收

備考

會長ヨリ 一千圓寄附

ロ、事業 一、毎月四日、十七日、二十四日ノ三回講演

會ヲ開催ス

一、敬神觀念養成ノ爲毎朝就業前ニ社内ノ神

前ニ參拜シ大祓詞ヲ奏上ス

會員數及分布狀況

會員數 三百八十五名

主ナル役職名並其氏名

會長 杉並寅太郎

副會長 山中庄之助

常任幹事 山東辰二郎 同 石川英一

同 永原 武夫

幹事 此村榮吉 同 生田晋次郎

同 松並亥三 同 榎島豊吉

相談役 宮澤英心

維持方法

會費 甲種 金十錢 社員其他ノモノ

乙種 金五錢 工場員ニ限ル

日の本足袋會社ヨリ補助ヲ受ク

昭和三年度豫算額 歲入 一、二九〇、〇〇

歲出

名 稱 大阪皇陵參拜團

事務所所在地 大阪市南區内安堂寺町通二丁目四十番地

創設年月日 大正二年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 富山辰造

沿革概要

創設當時一千名ニ近キ團員ナリシモ歐洲戰亂當時團體輸送不可能ノ爲メ代表の模範團員ヲ結合シ服裝ヲ現今ノ如ク改革セリ

目的及事業種類

イ、目的 尊王愛國ノ精神ヲ涵養シ祖先崇拜ノ氣風ヲ固

維持方法

本團ノ維持方法ハ役員理事献身のニ報國ノ爲メ目的事項ヲ協力一致維持遂行スルモノトス

昭和二年豫算額

歲入 四八〇、〇〇
部出 四五〇、〇〇

昭和二年決算額

歲入 四八七、〇六
歲出 四二二、六四

差引殘額 七十四圓四十二錢昭和三年度へ繰越ス

昭和三年度豫算額

歲入 五五四、四二
歲出 四五〇、〇〇

名 稱 皇國擁護修養會

事務所所在地 大阪市東區南久寶寺町二丁目四十一番地

創設年月日 大正六年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 鳥居久吉

沿革概要

本會ハ創設者鳥居久吉夙ニ敬神愛國ノ念深ク神道德光教

ムルヲ目的トス

ロ、事業 一、毎年春秋二季ノ皇靈祭日ヲトシ各皇陵ヲ

巡拜シ御陵前ニ於テ御高德ヲ俾フ講演ヲ

爲ス

一、役員理事ハ毎月各皇陵ヲ踏査シ道路不明

ノ個所等ニ道知ルヘ石標ヲ建設ヲ爲ス

一、講演會

會員數及分布狀況

會員數 二百名

大阪府内

主ナル役職名並其氏名

理事長 富山辰造

理事 井上平兵衛 同 後藤安吉

同 宮本芳藏

理事會計 河野工

相談役 陸軍砲兵大佐 酒井利三郎

會ニ歸依シテ心身ノ修養ニ志シ同教ノ信徒總代ニ推選サレ敬神ノ道普及ニ勤メツ、アリシカ歐洲大戰以來思想羸化ノ傾向著シク國體精神ニ反スル行動者往々顯ハル、ヲ慨シ率先シテ自己商店ハ更ナリ附近各町ノ人士ヲ集メ毎日修養講演ヲナシ健實ナル思想養成ニ力ヲ致シ且ツ創設者ハ進ンテ皇國擁護資金トシテ全國著名ノ神仕佛閣百ヶ所ヘ金一百圓宛ノ献金ヲ志シ本年迄ニ九十二ヶ所ヘ献金ヲスル今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教育勅語ノ聖旨ヲ奉體シテ會員各自ノ

精神ヲ修養シ且ツ身體ノ鍛練ヲナシ質實剛健

ニシテ忠實業ニ服スル根本精神ヲ養成シ健實

ナル思想ヲ有スル社會ノ發達ヲ圖リ以テ皇國

ノ進運ニ貢獻スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、毎月一回(第三日曜日)例會講演會開催

二、時々精神修養ニ關スル文書ヲ配布ス

三、全國著名ノ神社佛閣へ皇國擁護資金ヲ献納ス

會員數及分布狀況

會員數 一百五十五名

大阪市 一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 鳥居久吉

幹事 鳥居平吉 同 高橋直一

同 藤井 豊 同 辻村謹造

同 林谷憲次

相談役 武林徳藏 同 能勢天祐

同 山内良千 同 小田切生三

同 池田甲子雄

資産(種目別)

一千圓

維持方法

會長ニ於テ必要ニ應シ全部之ヲ支辨ス

昭和二年度豫算額 歳入 三六〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三六〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 四〇〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 四〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 三五五、〇〇

昭和三年度決算額 歳出 四〇〇、〇〇

名稱 船場修養會

事務所々在地 大阪市東區南久寶寺町三丁目二五

創設年月日 大正七年三月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 井上徳太郎

沿革概要

本會ハ創設者井上徳太郎ニ於テ社會ノ思想日ニ日ニ荒怠

ニ赴キ全國ノ商工都市タル大阪市ノ商業道德ハ益々頹廢

セントスルヲ憂ヒ自己ノ微力ヲモ願ミズ自己商店ニ勤務

スル店員ヲ始メトシ親戚、知己、其他一般同志ヲ集メ著

大阪市 一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 井上徳太郎

幹事 猪山芳松 同 中松長八

同 中津常四郎 同 寺場吉郎

同 伊木三郎

相談役 武林徳藏 同 池田甲子雄

同 能勢天祐

資産(種目別)

基本金 一千圓

維持方法

會長ニ於テ一切ヲ支辨ス

昭和二年度豫算額 歳入 三六〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三六〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 四〇〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 四〇〇、〇〇

目的及事業種類

イ、目的 會員各自ノ精神ヲ修養シ、且肉體ノ鍛練ヲナ

シ質實剛健ニシテ忠實業ニ服シ、以テ社會ノ

一員トシテ恥チサル人格ヲ作り社會ノ進運ニ

貢献スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、毎月十九日講師ヲ招聘シテ講演會ヲ開催

ス

二、精神修養ニ關スル文書ヲ頒布ス

三、祭日休日等ニハ會員各自神社佛閣ニ參拜

ス

會員數及分布狀況

會員數 一百五十八名

名稱 明治會堺支部

事務所所在地 大阪府堺市遠里小野町三六五

創設年月日 昭和二年十一月三日

經營體又ハ代表者 代表者 金 田 龍 二

沿革概要

昭和二年三月明治節制定セラル、ニ當リ本部(東京)設立
セリ

其後隨時講演會等開催

昭和三年七月 明治神宮參拜

目的及事業種類

イ、目的 先帝ノ御遺訓 今上陛下ノ御聖旨ヲ奉シテ明

治大帝ノ盛徳大業ヲ鑽仰シ依テ國民精神ノ統

一ヲ期シ國家興隆ノ實ヲ學ケントス

ロ、事業 毎月一回明治神宮遙拜式ヲ行フ

日刊又ハ月刊ノ機關紙ヲ會員ニ頒布

講演會ノ開催社會救濟事業

會員數及分布狀況

全國ニ亙リテ約三萬人ノ會員數アレトモ堺支部トシテハ

堺市内ニ 百五十名

主ナル役職名並其氏名

堺支部委員長 金 田 龍 二

同 委員 谷 本 平 吉

同 同 澤 森 要 三 郎

維持方法

寄附金並ニ會員ノ會費釀出金

名稱 希望者大阪府聯盟

事務所所在地 大阪市天王寺區石ヶ辻町二四番地

創設年月日 昭和三年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 松 木 天 村

沿革概要

大正七年六月現社主後藤靜香(東京府下西大久保二三六

希望社)ノ創設シタル皇室ヲ中心トスル社會教化ナリ、

其ノ目的ノ爲メニ修養冊子月刊五種(希望、のぞみ、泉

の花、かがやき)、ヲ發刊ス

目的及事業種類

イ、目的 社會教化

ロ、事業 ナシ(大阪ニ於テハ)

會員數及分布狀況

誌友數 五萬餘名

主ナル役職名並其氏名

府聯盟主事 松 木 天 村

府聯盟委員 三 谷 龜 鶴

大阪市聯盟主事 牧 口 五 明

堺市聯盟主事 北 野 信 治

岸和田市聯盟主事 西 浦 織 之 助

豊能郡聯盟主事 横 山 昌 郎

維持方法

誌友ノ寄附ニ依ル

名稱 教化團體兵庫縣聯合會

事務所所在地 神戸市下山手通四丁目三十八番地兵庫縣廳

社會課内

創設年月日 昭和二年二月十九日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體** 加盟團體

ロ、代表者 長延 連

沿革概要

昭和二年二月十九日時ノ山縣長官黑瀬神戸市長ハ縣下各教化團體代表者ヲ集メ趣意書及規約ヲ定メ發會式ヲ行フ現存加盟團體四十五團體

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ノ聯絡提携ヲ圖ルコト

二、教化事業ニ關スル調査研究ヲ爲スコト

三、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト

四、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

五、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト

六、其他教化事業ノ目的達成上必要ナリト認

メラル、事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下四十五團體ニシテ其ノ名稱左ノ如シ

神戸 乃木講社	基督教婦人矯風會支部
神戸 參 陵 會	神戸基督教聯盟
海軍協會神戸支部	立正曉 鐘 會
國柱 會 神港局	明石自慶會
美囊郡佛教護國團	皇國誠進會
出石郡佛教各宗聯合會	赤 穂 義 士 會
修養園希望者兵庫縣聯合會	大日本國光宣揚會神戸支部
神戸 積 德 會	神戸公 德 會
神戸佛教會館寶林會	稜威會神戸支部
神 戶 修 養 會	住吉乃木講社
加西郡和敬會	智 德 會
多紀佛 教 團	養 正 會
神戸婦人禁酒禁煙會	明治天皇御物保存會
神戸基督教青年會	心教兵庫縣支部
神戸基督教女子青年會	神戸排酒期成會
北谷村 醇厚會	皇陵紀念普及會

ロ、職員

主事 吉井專三

囑託 平原篤隆

同 石本杉太郎

維持方法

寄附金、補助金獎勵金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 一、五一〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一、三三〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 四、一〇二、四九

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金百圓	政府獎勵金	昭和二年度
金四百二十圓	縣補助金	同
金八十圓	兵庫縣救濟協會助成金	同
金千圓	同	昭和三年度
金六百圓	中央教化團體聯合會補助金	同

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 長延 連

副會長 川崎末五郎 同 黨 瀬弘志

理事 三國谷三四郎 同 西廣忠雄

同 小田直藏 同 木村義吉

同 奥村拓治 同 武岩豐太

同 子爵 森 忠 恕 同 雲 井行善

同 谷津善次郎 同 生田長浩

常務理事 庄野俊平

名稱 加西郡和敬會

事務所々在地 加西郡北條町

創設年月日 明治十七年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 松本寬眞

沿革概要

明治十七年和敬會ト稱シ各宗寺院ノ融和ヲ圖ラムカタメナリシモ當時徵兵忌選者多ク出ツルニ至リシヲ以テ尙武氣風ヲ養成スルニ努メ日清戰後ノ當時各宗協會ト改稱シ爾來郡民ノ指導教化ニ努メツツアリシカ大正九年ニ至リ思想問題ニ起リ益々民力涵養ノ必要ニ迫リ茲ニ會ノ組織ヲ變更スルト同時ニ明治十七年ノ會名ニ復舊スルニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 民力涵養、思想善導

ロ、事業 毎年春秋二回定期巡回講演會ノ開催、講習會

講話會ノ臨時開催救濟事業、昭和二年ヨリ兵

寄附金、會費及ヒ其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 八五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 八五〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 八五〇、〇〇

歳出 八五〇、〇〇

名稱 日本基督教婦人矯風會神戸支部

事務所々在地 神戸市中山手通六丁目女子神學校内

創設年月日 明治十九年

經營主體又ハ代表者 代表者 城ノブ

沿革概要

明治十九年禁酒會ヲ起シタルガ本會ノ初メテアル今日ニ至ルマテ繼續シテ居ル不斷禁酒公娼全廢在外醜蒙婦取締ル等常ニ風教問題ニ戰ツテ居ル

目的及事業種類

庫縣聯合保護會が西郡支部ヲ設置シ釋放者ノ

保護ヲナシツ、アリ

會員數及分布狀況

加西郡内各町村

一千百名

主ナル役職名並其氏名

會長	松本寬眞
副會長	芝田弘淳
理事	古川實憲 同 松浦隨淨
同	中安字英 同 中野日造
同	岡本準教

資産(種目別)

基本金 一千五百圓

器具其他 一百圓

合計 一千六百圓

維持方法

目的 基督教主義ニヨリ禁酒禁煙ノ勵行ヲ始メ諸般ノ弊

害ヲ矯正シ社會風教ヲ高メ且基督教ヲ傳播シ以テ

人生ノ幸福ヲ増進スルニアリ

本會ハ萬國基督教婦人矯風會ト聯絡アリ

會員數及分布狀況

二二〇名

主ナル役職名並其氏名

神戸支部長	城ノブ
副支部長	竹内よね子
會計	増田幸枝
同	戸川波子
書記	吉岡道枝 同 喜田晴江

資産(種目別)

銀行預金 六百五十四圓三十錢

維持方法

會費、寄附金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 三八七、二一
歳出 三二四、七九

名稱 神崎郡皇道會

事務所々在 地 神崎郡田原村西田原千八百、千八百番ノ二

合併地

創設年月日 明治二十七年九月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 西 村 陽

沿革概要

明治二十五年十一月十九日皇道闡明ノ必要ヲ感シ劃策明

治二十七年九月十六日組織發會式ヲ舉ケタリ

明治三十八年十月從來ノ規定ヲ廢シ其組織ヲ變更シ以テ

斯會ノ發展ヲ期圖セリ

更ニ大正九年十二月十八日會則中變更スル所アリテ益々

事業ノ發達ヲ期シ、昭和二年二月十二日教化團體兵庫縣

聯合會ニ加入申込ミシ昭和四年二月ソノ承認セラレタリ
目的及事業種類

イ、目的 皇道ノ大義ヲ明カニシ國民道德ノ振興ヲ圖ル
ヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、敬神崇祖ノ美風ヲ鼓吹スル爲講演講話ヲ開催
スルコト

二、地方公益事業ヲ幫助シ風教ノ改善ニ努力スル
コト

三、郡内出身戰病死者ノ招魂祭ヲ執行スルコト

四、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

本會ハ全郡民ヲ會員ト定ム丁年以上ノモノ約三萬人役員ハ郡内
各種團體ヨリ選出セリ、尙事業遂行上連絡ヲ期圖セリ今參考ノ
爲ニ其關係ノ主ナルモノ二三ヲ舉クレハ左ノ如シ
神崎郡教育會 神崎郡尙武教會

在郷軍人神崎郡聯合分會 神崎郡町村長會
主ナル役職名並其氏名

會長 西 村 陽
副會長 缺 員
幹 事 芦 田 耕 作 同 井 奥 賢 治
同 牛 尾 彦 十 郎 同 西 藤 喜 代 太 郎
同 燒 山 善 一 同 柴 田 嘉 藏
評議員 安 藤 恒 信 外 十 名
郡内各町村長

資産(種目別)

一、基本金 五千圓

維持方法

寄附金

昭和二年度豫算額 歳入 八五八、〇〇〇
歳出 一、七四四、〇二〇

昭和二年度決算額 歳入 一、四三三、〇七〇
歳出 一、四三三、〇七〇

昭和三年度豫算額 歳入 六八五、〇〇〇
歳出 六八五、〇〇〇

名 職 播 磨 德 育 會

事務所々在 地 播磨國宍粟郡安師村安志九〇四

創設年月日 明治二十八年一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡 田 善 吾

沿革概要

發起人前會長岡田甚吉氏ノ祖父ハ深ク佛法ニ歸依シ、且
ツ和歌ヲ嗜ム、臨終ノ際遺レ置カル、一首ノ和歌
苦し身の重き枕の下よりは

南無阿彌陀佛の風の冷しき

コノ前會長深ク感シ佛教ヲ基礎トシテ道德養成ノ會ヲ設
ケント思ヒツ、一年又一年ト延ヒツ、アリシ間ニ明治二
十七年八月一日清國ニ對シ宣戰ノ大詔下レリ茲ニ於テ諸
氏ハ共ニ一團體ヲ結ヒ贖金以テ軍事公債ノ募集ニ應シテ
決定ノ誠ヲ表シ報國ノ一端ニ供スルト共ニ利殖ヲ以テ組

織高德ノ師ヲ聘シ義勇奉公ト徳性ノ涵養則チ忠孝人道ヲ
明カニシ以テ國利民福ノ増進ヲ圖ルヲ本會ノ趣旨トシテ
明治二十八年一月一日發起セラレタリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ヲ基礎トシテ義勇奉公ト徳性ヲ涵養シ忠
孝人道ヲ明ラカニシ以テ國利民福ノ増進ヲ目
的トス

ロ、事業 教化事業 社會事業

會員數及分布狀況

會員數千三百六十三名ニシテ此内千六百六十九名ハ安栗郡内ニシ
テ百七十七名ハ他郡、十七名ハ他府縣ナリ、而シテ會員トハ本
會ノ趣旨ヲ賛成シ資金トシテ入會金ヲ喜捨セラレタル人ヲ云フ
安栗郡 神戸村ニ支部アリ

主ナル役職名並其氏名

本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長（會計ヲモ專任ス） 岡 田 善 吾

日第二十六番ニテ滿期終了ノ豫定ナリ

維持方法

基本金ノ利子ヲ以テ經營維持ス
昭和二年度豫算額 歳入 六七一、九一〇
歳出 七五五、五一〇
（此ノ支出ノ内ニハ義捐金又ハ寄附金等ニ金二二五圓二〇錢
ヲ合ム）
昭和三年度豫算額 歳入 五六〇、六四〇
歳出 六九六、〇〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無
大正十五年二月ニ内務省 金一百圓教化助成金トシテ御下附

名稱 皇陵觀念普及會
事務所在 地 飾磨郡鹿谷村
創設年月日 明治三十一年一月三十日

副會長 小林 正則
會計帳簿監査係 小林 善太郎
同 石戸 時之助
同 松井 利也
幹事 岡田惣太郎 同 中村清八
同 高尾龜太郎 同 岡田 泰

資産（種目別）

昭和三年十二月末日現在
第一、基本金七千二百九十三圓八十四錢ノ基本金ノ利子ヲ以テ
事業ヲ遂行シツツアリ
第二、基本金四百五十八圓〇六錢大正十五年二月内務省ヨリ教
化事業助成金トシテ金一百圓ヲ下附セラレタリ有志者喜
ヒテ寄附ヲ爲セリ之ヲ第二ノ基本金トシテ増加ヲ圖リツ
ツアリ
第三、基本金七百五十圓四十八錢
本會ノ基本金増加ノ目的ニテ第二回目ノ基金講ヲ組織シ
開會進行中ナリ目下七番會迄濟シタリ昭和十三年八月五

經營主體又ハ代表者 代表者 加納 道也
沿革概要

明治三十一年一月三十日創立、陵墓靈場參拜會ト稱シ同
年四十年二月十一日東京ニ於テ全國風教調査會、愛好會
二姉妹會ヲ設置同四十四年五月十二日横須賀ニテ右ヲ合
併シテハ不講道院ト改稱シ陵墓參拜會、婦人竹風會、日
本讀書會、兒童義會、雜誌朔風會、萬歲圖書館、圖書發
賣部、石版活版印刷部等ヲ設置、大正五年十二月一日更
ニ組織ヲ一新シテ命題ヲ皇陵觀念普及會ト改メ事務所ヲ
現在ノ地ニ定ム、同六年四月二十八日宮内省ヨリ特別ノ
恩典ニ預リ御陵墓全部ノ撮影等ヲ爲ス、同十二年九月一
日關東地方ノ大震火災ニ際シ東京及横濱横須賀ノ兩市ニ
於キ寫眞原版教材、器具、記錄類、機械、圖書等ノ殆ト
大全部ヲ燒失シ會運爲メニ大ニ坐頓ス、昭和二年二月十
九日教化團體兵庫縣聯合會ニ加盟ス、同三年十一月十七
日今次ノ御即位大禮ニ賜ハリタル優渥ナル勅語ノ奉戴ヲ

記念トシテ内容ノ充實ヲ計リ會則信條ノ改制區ヲ行フテ
現在ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 祭政一本ノ國體ヲ明徴ニスルニ惟神ノ大道ニ
則リ歴代ノ皇陵ヲ始メ祖宗ノ太廟及神籬佛祠
ニ祭祀ノ誠ヲ致スベキ所以ノ實生活觀念ヲ普
及スルヲ以テ目的トスル

ロ、事業

- 一、全國ノ各市町村及各種團體等ニ出張シ國民教化
社會匡救ニ關スル講演又ハ幻燈或ハ活動寫眞映
寫講演ヲナス
- 二、思想ト經濟ノ調和ヲ計リ郵便公金及愛國貯金者
ノ増加ニ努力ス
- 三、各種機關團體ヲ經營ス
- 四、靈時ニ神靈三寶ヲ奉體シ寶祚國體ノ彌榮ヲ始メ
國家世界及會員ノタメ會中朝夕祝禱祭祀ノ儀ヲ

行フ

- 五、會員ヲ代表シ毎年皇陵神社靈場ニ參拜ス
- 六、不時ノ天災等ニハ罹災者救援ノ事業ヲ行フ
- 七、趣旨ニ叶フ印刷物ノ頒布及宣傳ヲ講ス
- 八、個人教化ヲ特ニ重シ常ニ其最善ノ施設ヲ講ス
- 九、中央教化團體聯合會及教化團體兵庫縣聯合會ニ
順應シテ各種ノ動作ヲ行フ
- 十、其他目的達成上ニ必要ナル事項ヲ行フ

會員數及分布狀況

會員數 約一千名
但シ右ハ一ヶ市町村及各種一ヶ團體ヲ單位トセルソノ代表者
トス由テ特別名譽兩贊助會員ヲ除ク
分布狀況
兵庫縣及東京、神奈川、大阪、京都、奈良、和歌山、岡山其
他ノ各府縣ニ散在ス
所屬各機關團體ノ會員數ヲ除ク

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 加納 道也
會計監 水野 幾太郎
評議員 藤田 惠身
外九名

ロ、職員

專任講師 加納 道也
專任技師兼庶務 加納 ミツ
書記 鈴木 惠德

資産(種目別)

一、土地及建物(事務所使用權利金) 四千圓
一、教材器具其他物品 三千圓
一、印刷物 五百圓
合計 金七千五百圓

維持方法

維持會員、各贊助會員ノ豫出スル會費、寄附金及ヒ各補助金獎
勵金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	六〇〇、〇〇
	歳出	一、〇五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、一六〇、〇〇
	歳出	一、二〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、二〇〇、〇〇
	歳出	一、二〇〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
教化團體兵庫縣聯合會	昭和二年五月十八日	金十圓
ヨリ補助金		
同三年三月二十六日		金二十圓

名稱 姫路揚善會

事務所々在地 姫路市本町姫路圖書館内
創設年月日 明治三十一年八月七日
經營主體又ハ代表者 代表者 竹内 方山
沿革概要

明治三十一年ノ初姫路市内北後文次郎、岩谷榮太郎、篠崎則發其他ノ有志ハ深ク世道人心ノ弛廢ヲ慨キ自己ヲ反省シ修養スルト共ニ世ニ隱レタル善行者ノ善行事實ヲ社會ニ紹介シテ大ニ善行ヲ獎勵センコトヲ企圖シ同志百六名ヲ得テ同年八月七日發會式ヲ舉ケ同十一月善行者十名ヲ表彰セリ之ヲ本會ノ嚆矢トス、爾來毎年一回表彰式ヲ舉行スルヲ例トシ其ノ善行事實ハアラユル方法ニ依リテ汎ク社會ニ宣傳シ感化ノ効ヲ偉大ナラシムルコトニ努力シ一貫シテ現今ニ及ヘリ

善行者表彰區域ハ最初ハ姫路市並ニ其ノ附近ナリシカ次第ニ擴張シテ近郡ニ及ホシ大正四年ヨリハ兵庫縣下全體ニ涉リテ選拔スルコト、セリ

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語ノ趣旨ヲ奉體シ善行者ヲ稱揚シ世道ノ隆昌、人心ノ改善ヲ企圖ス

ロ、事業

- 一、善行者ニ表彰狀及記念品ヲ贈與スルコト
 - 一、善行事實ヲ新聞雜誌ニ掲載シ其他凡ユル方法ヲ以テ社會ニ宣傳スルコト
 - 一、善行登錄簿ヲ製シ事由ヲ記載シ置クコト
 - 一、善行者歿レタルトキニ會葬シ又ハ弔詞ヲ呈スルコト
- (附言 會員各自相砥礪シテ善行ヲ勵ムハ勿論ノコト、ス)

會員數及分布狀況

會員 五百二十三人

内 譯

名譽會員一〇人 特別會員一七人 終身會員一五人

通常會員四八一人

前記會員中市外ニ在ルモノ二十四人他ハ總テ姫路市内在住者トス

主ナル役職名並其氏名

會長 竹内方山

副會長 松井國次 同 増田彌治郎

幹事長 岩谷榮太郎

幹事 三宅正太郎 外十七名

資産(種目別)

基本財産 七百三十圓

維持方法

會員會費、篤志家寄附金及基本金利子ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	四二〇、七〇
	歳出	四一〇、七八
昭和三年度決算額	歳入	三七〇、三三
	歳出	四一〇、七八
昭和三年度豫算額	歳入	四五八、五九
	歳出	四五八、五九

獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和二年二月十一日内務省ヨリ助成金一百圓下付セラレ

備考

創立當時ヨリ昭和三年マテノ間ニ於テ表彰シタル者四百八十人

ニシテ兵庫縣下各都市ニ涉ル

名 稱 神戸市基督教青年會

事務所々在地 神戸市下山手通六丁目

創設年月日 明治三十二年六月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 森田金藏

沿革概要

神戸市青年ノ智育、體育、德育及社會的訓練ヲ計ルヲ以テ其目的トシ明治三十二年六月創立、同三十四年英語學校ヲ開始ス、同四十二年一月十二日法人設立ヲ許可サレ募金運動ヲ始ム、米人ウツドワード氏九萬圓ノ寄附アリ内地ニテ募金シタル三萬圓ヲ加ヘ四十四年八月下山手通六丁目ニ煉瓦造四階ノ會館ヲ設立ス、大正十年市電擴張ノタメ移轉ノ止ムナキニ至リ同十一年三月現在ノ地ニ移轉ヲナス、現在學生七百五十名教育部ノ校門ヲ出テ、社會ニ活動スルモノ數千ヲ算ス尙會員數百名カ社會部、體育部、宗教部ノ各事業ニ關與シオレル外一般市民ニシテ

本會館ヲ利用スルモノ年三十五萬餘ニ達ス
目的及事業種類

イ、目的 都市ニアル青少年ヲシテ基督教主義ニ基キ智育、體育靈育及社交ヲ通シテ圓滿ナル人格ヲ養成スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

教育 夜間、神學校商業科中等科

晝間、商業學校、其他各種講演會

體育 室内運動場ヲ有シ各種ノ競技運動ヲナス

宗教 聖書研究——各種宗教集合

社交部 各種ノ社交集合ヲ催ス

會員數及分布狀況

神戸市内及其附近 現在數 七〇八名

主ナル役名職並其氏名

理事長 森田 金藏
副理事長 中村 平三郎

資産（種目別）

理事 西川玉之助 同 菅沼四郎
同 佐川恒七 同 大村甚三郎
同 武藤 健 同 富尾留雄
同 岡部五峰 同 山本長兵衛
監事 芳川笥之助 同 正木良一
總主事 奥村龍三
神戸市下山手通六丁目二十九番地ノ一
市街空地 三百〇四坪四合 金十三萬六千八百八十四圓八十一錢
右地上四階建築瓦通一棟
建坪數二百五十八坪二合五勺 金二十七萬五千三十三圓十一錢
役備費 金五萬七千九百四十三圓一錢
右價證券 金一百圓
銀行當座預金 金二十八圓六十二錢（建築費）
同 金千百一十一圓九十錢（經常費）
地主 午久左高金十六圓七十九錢
合計 四十七萬四千八百二十四錢
維持方法

沿革概要

明治三十三年有志者相謀リ尊皇奉佛ノ大旨ヲ奉戴シ佛教共通ノ本義ニ依リ聖德太子ノ遺訓ヲ遵奉シ實踐道德ヲ鼓吹シ社會ノ風紀ヲ維持セントシ本會ヲ設立シ明治四十年四月二十七日政府ニ請フテ財團法人ノ免許ヲ受ク

目的及事業種類

イ、目的 尊皇奉佛ノ趣意ニ依リ信仰ト道德トヲ鼓吹シ公益慈善ノ事業ヲ獎勵シ社會ノ風紀ヲ匡正シ以テ真正ノ歸趣ヲ示ス

ロ、事業

一、講演法話ノ會ヲ公開シ、高僧碩學ヲ聘シ佛教信念ヲ扶植ス
二、教化ニ關スル印刷物ヲ發行ス
三、博愛慈善矯風のノ事業ヲ援助ス

會員數及分布狀況

會員數 三百九十五名

會費及寄附金

昭和二年度豫算額 歲入 四二、四八〇、〇〇
歲出 四〇、三五〇、〇〇
昭和二年度決算額 歲入 四七、二九〇、〇〇
歲出 四七、二九〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）
教育部ノ爲
二年度 五百圓
三年度 四百圓

名稱 財團法人神戸積徳會

事務所所在地 神戸市會下山町一丁目十八番地ノ二

創設年月日 明治三十三年三月一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 武岡 豊太

大部分ハ神戸市内在住者

主ナル役職名並其氏名

理事 川西清兵衛 同 武岡豊太
 同 神田兵右衛門
 常務幹事 貞永省三 同 佐野政次
 同 山戸島吉 同 川野秀治

資産(種目別)

土地 八百三十六坪四分五勺
 建物 百八十八坪九合七勺
 土蔵 四坪
 公債市債 一萬五千圓
 株券 四百十二株

維持方法

基本財産ノ収入會費寄附金其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 二、九一四、〇〇
 歳出

昭和二年度決算額 歳入 四一七九、〇〇
 歳出

昭和三年度豫算額 歳入 三、一七〇、〇〇
 歳出

名稱 美囊郡佛教護國團

事務所々在 美囊郡久留美村金剛寺中

創設年月日 明治三十七年一月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 郡内各宗寺院

代表者 福岡琢明

沿革概要

設立當時ハ美囊郡各宗協會ト稱シ、郡教育會ト提携シ毎年春秋二期ニ名師請聘シテ郡内巡回講演ヲ舉行セシカ同四十年ヨリ獨立シテ之ヲ行ヒ更ニ文章、傳道、招魂祭花祭、釋放者保護等ヲ爲スニ至リ大正十年ヨリ佛教護國團ト改稱シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 尊皇奉佛ノ趣旨ヲ闡明シ、國民精神ノ統一ヲ

希望ス

口、事業

- 一、釋尊降誕花祭
- 一、毎年一回郡内巡回講演及文章傳道
- 一、青年會、婦人會、其他各種團體ニ對スル講演
- 一、郡内國難殉死者ノ招魂祭及現役兵ノ慰問
- 一、釋放者保護

會員數及分布狀況

寺院團員 八十一 普通團員 四百三十
 支部十一(各町村ニ支部ヲ置ク)

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
 團長 福岡琢明
 理事 森田信義 同 藤井瑞翁
 同 小谷惠進 同 高橋瑞芳

同 蓬萊實圓

資産(種目別)

一、基本金 三百六十圓

維持方法

團費、町村補助金其他ノ收入ニ依ル
 昭和二年度豫算額 歳入 四六〇、〇〇
 歳出 四一四、六〇
 昭和二年度決算額 歳入 四九七、九一
 歳出 四六〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 四六〇、〇〇
 歳出

名稱 兒島贈從三位舊趾保存會

事務所々在 赤穂郡坂越村坂越

創設年月日 明治四十年五月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 奥藤謹治

沿革概要

明治四十年坂越村有志者ト兒島贈三位舊趾保存會ヲ設立シ終焉地ナル大櫻ト稱スル地ニ存在セル五輪塔ノ保存ヲ目的トシテ高德卿ノ忠烈ナル事蹟ヲ研究シ國民ヲシテ忠君愛國ノ念ヲ偲ハシム大正五年卿ノ逝去五百五十年ニ相當スルヲ以テ墳墓ノ三千坪開拓シテ磐沖園ヲ設ケ保存會ハ妙見寺師ノ所有地山林四町歩永久借用シ地目ヲ遊園地ト變更シ現今ニ至ル本會ハ教化團體兵庫縣聯合會ニ昭和四年二月十一日加盟許可セラル

目的及事業種類

イ、目的 一、高德卿事蹟ヲ研究シテ其忠勇義烈ナルコトヲ會員及一般國民ニ指導スル尙ホ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ニ關シテ調査研究スルコト

二、史蹟教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

三、年數同講演會ヲ開會スルコト

一、寶物(軸物類)二百本

三千圓

合計

八千六百圓

維持方法

寄附金、補助金、會員會費等

昭和二年度豫算額

歳入 一、二四五、七八
歳出 四

昭和二年度決算額

歳入 一、一二七、五六
歳出 八七六、四二

昭和三年度豫算額

歳入 一、一四五、八二
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

本年度ヨリ坂越村役場ヨリ

百五十圓 補助

毎年坂越村報徳會ヨリ

四十圓 寄附

奥藤研造一氏ヨリ毎年

一千圓 寄附

名稱 神戸排酒期成會

事務所所在地 神戸市下山手通六丁目神戸市基督教青年會

四、其他本會ノ目的達成上必要ナリト認メラ

ル、事項

會員數及分布狀況

會員數 名譽會員 二十名

特別會員 八十名

普通會員 六百二十名

主ナル役職名並其氏名

兒島贈從三位舊趾保存會

會長 奧藤謹治

副會長 高橋富士松

理事 渡邊龜太郎 同 高橋嘉吉

同 岸本庄之功 同 三住吉之助

資産(種目別)

一、基本金 一千五百圓

一、建物(倉庫一棟四阿及家屋十棟) 二千五百圓

一、石燈籠(神前棧四個全燈籠 二個) 千六百圓

館内

創設年月日 明治四十二年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 奥村龍三

沿革概要

明治四十二年一月湊川禁酒會ナル名稱ヲ以テ市内大開通二丁目ニ事務所ヲ設置シ該運動ヲ開始ス、大正二年一月神戸禁酒會ト改稱シ、市内北長狹通五丁目豐實株式會社内ニ移ル、大正九年七月神戸排酒期成會ト改稱シ、日本國民禁酒同盟ニ加入シ連絡ヲ計ル、大正十年一月事務所ヲ元町一丁目吉田商店階上ニ移シマタ右當所ニ又移ル

目的及事業種類

イ、目的 我我國ヨリ先ツ廢酒ノ實ヲ舉クヘク專念シ活

動ス

宗教宗派ニ偏セス年月ヲ超越シ絶對禁酒セヌ

者ヲモ會員トナス

會員數及分布狀況

支部又ハ分會トシテノ組織ナシ然シ左ノ如キ數字ニテ各自活動ス

神戸市内 三〇七名
神戸市ヲ除ク全縣下 九二名
他府縣 八八名

主ナル役職名並其氏名

常任幹事 奥村 龍 三 同 村松淺四郎
幹事 吉田金太郎 外十三名

維持方法

會費及寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	四〇〇、五七
	歳出	九四七、八五
昭和二年度決算額	歳入	九四五、一六
	歳出	四四九、五〇
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	

名稱 北谷村醇厚會

事務所々在地 美囊郡北谷村前田

創設年月日 明治四十四年九月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 山本克己

沿革概要

明治四十一年十月十三日戊申詔書渙發セラル、ヤ本村有志詔書ノ御趣旨ニ基キ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘク本會ヲ組織シ翌四十四年九月十七日之ヲ設立シ醇厚會ト名ツケ二十年今日ニ及フ

目的及事業種類

一、目的 聖訓ヲ奉體シ、民心ノ作興ニ務ムルヲ目的トス

口、事業 風紀ノ矯正、教育ノ獎勵

貧困病者救助

一、公共事業ノ督勵産業ノ發達ヲ圖ルコト
二、勤儉思想ノ發達ヲ圖ルコト

資産(種目別)

基本金 一千十五圓

維持方法

基本金利子、會費其他寄附金及補助

昭和二年度豫算額	歳入	一八五、〇〇
	歳出	一五五、七九
昭和二年度決算額	歳入	一九〇、二五
	歳出	

會員數及分布狀況

本村一圓ハ基ヨリ逐次他町村ニ亘ル

會員 一百五十八名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	山本 克己
副會長	谷郷賢治郎
幹事	松原桂一郎 同 林田伊作
	藤堂覺然 同 宮田長治郎
	藤本定吉 同 吉川正治
口、職員	
庶務	眞造五郎吉
會計	松本延一

名稱 播磨養老會

事務所々在地 宍粟郡蔦澤村上牧谷九五七番地

創設年月日 大正四年十一月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 中川 靜 岐

沿革概要

大正四年十一月大正天皇御即位ノ大典ヲ舉ケサセ給フニ

當り崇祖犒老ノ深キ御思召ニ依リ八十歳以上ノ高齢者ニ
天杯並酒肴料ヲ下賜アラサラレ以テ範ヲ國民ニ垂レサレ
タル記念事業トシテ組織スルコトニ決シ同月三十日之ヲ
設立セリ

爾來一般有志ノ寄附金及基本金造義稅其他ノ方法ニヨリ
基金ノ造成ニ努メツ、アリテ近ク財團法人設立ノ出願ヲ
爲サムト企畫シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 各御詔勅ノ御趣旨ヲ奉戴シ民衆ノ教化開發ニ
首リ其ノ福利ヲ増進スルニ努メ進テ國家ノ發
展ニ資ス

ロ、事業 イ、老年人ノ慰安 ロ、老年人ノ保護

ハ、貧困者ノ救濟

ニ、公共事業團體又ハ慈善事業團體ニ贊助ス

ホ、會員祖祠ノ祭祀供養

ヘ、其他本會ノ目的ニ對シ必要ト認メタル事

業

會員數及分布狀況

會員數 五千名
分布狀況 播摩一圓

主ナル役職名並其氏名

會長理事 中川 靜 岐
理事 井口 慶次 同 福井 勇治
同 横野 秋太郎 同 平脇 清治
監事 栗田 喜平 同 深川 卯之助
同 白谷 清市

資産(種目別)

一、基本金 四千四百六十九圓二十錢
二、器具物品 二百五十圓
三、印刷物 一百十圓

維持方法

基本金、寄附金、補助金獎勵金其他ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	五二六、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	五二六、〇〇
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	七〇〇、〇〇
	歳出	

名稱 社團法人 海軍協會神戸支部

事務所所在地 神戸市下山手通五丁目十七番ノ二神戸法學

院内

創設年月日 大正七年一月十四日支部設置

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 社 團 法 人

ロ、代表者 長 延 連

沿革概要

海軍協會本部ハ大正六年我海軍カ世界的ニ活躍シ且ツ國
内ニ於テ八々艦隊ノ團編漸ク盛ナラントスルノ時ニ於テ

設立セラレ神戸支部ハ故服部一三氏主宰ノ下ニ大正七年
一月設立セラレ海軍ヲ主トスル國防精神ト母國思想ノ發
揚ニ努メタリ爾來一盛一衰アリシカ大正十五年二月本部
ハ社團法人ノ組織ニ改メ大ニ更生ノ策ヲ講セラレ支部又
之ニ應シ面目ヲ一新シ海事思想及國防精神修養機關ノ實
ヲ擧ケツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 海軍及海事思想並ニ國防一般ニ普及シ併セテ
海軍力ノ完成維持ニ貢獻スルヲ目的トス

ロ、事業 一、調査機關ヲ設ケ内外ノ海軍海運其他ノ海
事ニ關スル諸般ノ事項ヲ調査研究スルコ

ト 二、會員ノ軍船軍港等ヲ見學ハ勿論一般國民
ノ見學上便宜ヲ計リ又講演會活動寫真會
ヲ開催スルコト

三、會報、雜誌、年鑑、書籍等ヲ刊行スルコト

四、海軍記念日(五月二十七日)ヲ尊重シ本會

主催者トナリテ毎年各地ニ會ヲ開キ特ニ

海軍其他ノ海事思想ノ鼓吹獎勵ニ努ムル

コト

五、以上ノ外必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

當支部會員數

六百有餘名ニシテ神戸市ヲ中心トシテ兵庫縣郡部ニ分布シアリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

支部長 兵庫縣知事 長延 連

副支部長 海軍少將 井手 元 治

ロ、職員

幹 事 兵庫縣學務部長 川崎 末五郎

同 大阪商船支店內 高田 金 治

名 稱 心教兵庫縣支部

事務所々在地 神戸市北長狹通六丁目一三五ノ三

創設年月日 大正八年四月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 武山眞佐雄

沿革概要

明治三十八年三月二十二日心教々主品田俊平氏多年苦心ノ結果萬教ノ中心ヲ一貫シタル心ノ教タルヘキ心教ヲ開立シ大正三年東京ニ本部ヲ置キ官衙學校警察其他種々ナル集團又ハ各家庭ニ於テ教旨ヲ説キ實踐躬行ヲ以テ自ラ其範ヲ垂レ大正七年ニハ皇室ニ於テ御前講演ノ榮ヲ得、最モ健實ナル修道機關トシテ廣ク認メラル、ニ至ル、大正八年三月神戸地方ニ普及サル、ニ及ヒテ兵庫縣支部ヲ設立シ爾來十年關西地方ニ於テ著シク發展ス昭和四年二月十四日教化團體兵庫縣聯合會加盟ヲ受ク

目的及專業種類

イ、目的 心教ノ教義ニ則リ會員相互ノ修養親睦ニ圖リ

幹事 藤岡眞會主 藤岡吉太郎

同 海軍中佐 檜 柴 産 治

同 赤十字社支部主事 藤井治三郎

同 海軍中佐 河 村 辰 雄

同 互光會支配人 田中卯三郎

維持方法

寄附金補助金獎勵金會員離出金其他收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 四、八五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 二、六五七、六八

昭和三年度豫算額 歲入 二、二九〇、二六

備考 歲出 五、五〇〇、〇〇

當地方ノ如キ帝國第一ノ海都トシテハ一層發展シ先以テ海國精神ノ進展ニ貢獻セサル可ラサルヲ痛感シ海事思想宣傳ニ努メツツアリ

社會教化救濟ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス

ロ、專業 一、精神作興ノ講演會

二、暗示學講習會

三、家庭講話會

四、例會コトモ修養會

五、皇陵神社佛閣ノ參拜

六、暗示學及修養ニ關スル印刷物ノ刊行

七、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

支部 三

研究所 一九

主ナル役職名並其氏名

役員

支部長 武山眞佐雄

理事 丹波 丈 藏

相談役 陸軍少將 奥村 祐 治

同 稻岡武一
 須磨 支部長 山口眞三
 上筒井支部長 萩阪八十馬
 住吉 支部長 福島登代子

資産(種目別)
 基 本 金 三百圓
 器具其他物品 五百圓

維持方法
 會費、寄附金及本部補助金
 昭和二年度豫算額 歳入 二、八〇〇、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 二、九二〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 三、〇〇〇、〇〇

名稱 住吉乃木講社

事務所々在地 兵庫縣武庫郡住吉村池床
 創設年月日 大正八年十一月十八日
 經營主體又ハ代表者 代表者 前川芳輝

沿革概要
 創立當時ト會員ノ増減多少アリシモ特記スル程度ノモノ
 アラス其他變リナシ

目的及事業種類
 イ、目的 思想善導、風教改善
 ロ、事業 會員ノ自己修養、一般講演會

會員數及分布狀況
 會員數 八十三名

分布狀況
 御影町住吉村 其他若干
 主ナル役職名並其氏名
 相談役 岩崎元一 同 土佐完舜

相談役 嘉納 純 同 辰馬六郎
 同 玉木敬太郎 同 堤恒也
 同 草薙 彊 同 小林徳藏
 世話人 井奥菊松 同 小野定治
 同 中井榮治郎 同 國光吾一
 同 西村芳松 同 横田儀作
 同 横田幸太郎 同 八木定夫
 同 山口喜一郎 同 藤田幸太郎

維持方法
 一ヶ月二十五圓ヅツノ豫定ニテ頼母子講ヨリ補助アリ

名稱 修養園希望社 兵庫縣聯合會

事務所々在地 神戸市大谷町三丁目四七
 創設年月日 大正八年

經營主體又ハ代表者 代表者 小原七三郎
 沿革概要
 明治四十二年岸田軒造氏神戸市ニ於テ修養園ノ宣傳ヲナ
 シ四十四年神戸支部發會式ヲ學ケ大正八年修養園兵庫郡
 聯合會ヲ組織シ大正十五年更ニ希望社誌友ヲ合同シ修養
 園希望社兵庫縣聯合會ト改稱今日ニ至ル

目的及事業種類
 イ、目的 修養園及希望社精神ノ普及徹底ヲ計リ民風作
 興ト理想郷(理想工場學校)ノ建設ヲ圖ル

ロ、事業 一、縣下中堅戶主、中堅婦人、中堅青年講習
 會開催

二、郡市町村工場學校等支部ノ聯絡提携ヲ圖
 ル

會員數及分布狀況
 縣下ヲ通シテ修養園ハ工場、學校、町村ヲ單位トセル支部約七
 十アリ、團員一六、二二五名アリ希望誌友ハ三六、三、一七名ア

リ 合計 五二、五四二名ナリ

主ナル役職名並其氏名

會長 小原七三郎
理事長 勝原梧一
理事 安田 弘 同 豊田榮之助
同 水田吉太郎 同 大西利一

資産(種目別)

基本金 五百二十三圓十錢
積立金 二千一百圓
電話 一千圓
代理部資金 八百圓
合計 四千四百二十三圓十錢

維持方法

寄附金講習會費、代理部益金

昭和二年度豫算額

昭和二年度決算額

歳入 七、三一〇、〇〇
歳出 九、六〇〇、七二

ノ任ニ當ル、大正十四年全国總會ヲ開キ日本基督教女子青年會本部ト改稱シテ目下基督教女子青年會日本同盟トナシ從ツテ本會モ加盟團體トナル。

目的及事業種類

イ、目的 基督教主義ニ基キ婦女子五ニ援ケテ靈知、體

及社會方面ノ向上發展ヲ計リ、個人、家庭、社會ヲ

聖化セントコトヲ目的トスル

ロ、事業

宗教部、キリスト教ニ關スル諸集會並ニ研究會

教育部、英語、宗教、音樂、手藝等ノ補助教育ヲナ

ス

商工部、職業婦人勞働婦人間ニ自治クラブヲ組織シ

又講演會慰安會ヲナス

クラブ部、女學生並ニ一般婦人間ニ自治クラブ組織

ヲ獎勵援助ス

會員部、會員相互ノ社交及向上發展ヲ計リ、會報發

昭和三年度豫算額 歳入 八、六〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一百圓 内務省ヨリ下賜 昭和三年二月十一日

名稱 神戸基督教女子青年會

事務所々在 神戸市下山手通三丁目六十五番地

創設年月日 大正九年三月二十一日

經營全體又ハ代表者 代表者 室原富子

沿革概要

大正八年十一月日本基督女子青年會本部ヨリ幹事來神シ都下基督教知名ノ婦人青年ヤ目的ノ普及徹底ヲ圖ル可キ本會ノ設立ヲ協議シ、創立委員ヲ擧ケテ着手シ、翌年三月二十一日發會式ヲナスニ至ル、爾來幹部委員ヲ擧ケテ事業管理トシ各部ニ分チテソノ遂行ヲ計リ、幹事職員ソ

行ヲナス

會員數及分布狀況

顧問 三名

名譽會員 一名

普通會員 三百五十名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

委員長 室原富子

副委員長 中松やす

委員 淺野會和外七名

書記 伊丹安子

同 英屋直身

會計 鹽路清子 外一名

委員 富尾光子 外三名

ロ、職員

總幹事 ミス、マグレカー 會員部幹事 岩崎きよ

教育部 浦見 宮子 小女部 寺田 三千代
河本 久仁江 事務部 半田 光子

ミス、アンダーソン

資産(種目別)

幹事器具其他物品 三千圓

維持方法

會費、寄附金、各部收入、隨時ノ催物ニ依ル收益ニヨル

昭和二年度豫算額

歳入 九、四六〇、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 七、四九四、〇六
歳出 七、四五二、四五

昭和三年度豫算額

歳入 一〇、六四〇、五〇
歳出 一〇、六四〇、五〇

名稱 明石自慶會

事務所所在地 明石市樽屋町一丁目二十番地

創設年月日 大正九年四月

經營全體又ハ代表者 代表者 加藤 清登
沿革概要

近年世路逼迫人情浮偽動モスレハ社會頹廢ノ懼レアルヲ憂ヒ、之ヲ救フノ道精神修養教化普及ニアルヲ惟ヒ、大正八年九月ヨリ同九年四月本會設立之ニ至ル間發起者間ニ於テシハ、講演會等ヲ開催シテ一般ノ精神修養思想善導ニ努メ其間有志相諮リテ東京自慶會本部ノ本多日生氏ニ交渉ヲ遂ケ大正九年四月自慶會明石支部ヲ設立シ約百五十名ノ會員ヲ得爾來時ニ大家ヲ招キテ修養講演會ヲ開キ講師ヲ選定シテ出張講演ヲ爲サシメタリ、昭和三年十月二十三日第七回總會ニ於テ名稱ヲ明石自慶會ト改メ内容ヲ整備シ今ヤ會員ノ數百七十二名ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 健全ナル國民精神ヲ啓培シ德性ヲ涵養シ思想ヲ善導スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、講演會ヲ開催スルコト

一、講師ヲ派遣シテ出張講演ヲ爲スコト

三、會報ヲ發行スルコト

會員數及分布狀況

會員 總數 一七二名

内譯

明石市 一六一名 明石郡 八名

神戸市 二名 東京府 一名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 加藤 清登

評議員 二 口 泰 一 外二十一名

ロ、職員

幹事 坂本 豊彦 外四名

資産(種目別)

一、銀行預金 百九十八圓八十錢

維持方法

會費、寄附金、其他ノ收入

昭和二年度決算額

歳入 三九一、六一
歳出 一九八、六一

昭和三年度豫算額

歳入 四一三、五〇
歳出 四一三、五〇

名稱 神戸佛教聯合會

事務所所在地 神戸市北逆瀬川町能福寺内

創設年月日 大正九年七月二十九日

經營全體又ハ代表者 代表者 雲 井 行 善

沿革概要

大正九年九月十二日發會式ヲ舉行

大正十一年十一月佛教聯合會慈友會ヲ創設績イテ少年部ヲ設ケ今日ニ至ル。

目的及事業種類

目的 本會ハ佛教ノ本旨ニ依リ世界ノ文化ニ貢獻シ國民ノ精神ヲ振作統一シ尊皇護國濟世利民ノ

爲メニ盡スヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

會員數 百五十七名

神戸市在住ノ寺院及説教所

主ナル役職名並其氏名

- 會長 雲井行善
- 副會長 大海元秀 同 新聞智啓
- 常務理事 本川曉圓 同 林義昌
- 會計 小野田愨成
- 監査 岡田實範 同 明石教道
- 慈友會常務 山森順祐
- 少年部主事 波來谷乘勝

資産(種目別)

少年保護所、天王谷學園建物

維持方法

會費及會員ノ臨時寄附金等

學校ト提携シ然シテ昭和三年十月二十三日教化團體兵庫縣聯合會ニ加盟シ今日ニ至ル。

目的及事業種類

- イ、目的 各宗協同一致、思想善導
- ロ、事業 風教問題、青年指導、婦人問題、勞資問題、部落改善、勤儉獎勵、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

出石郡ニ曹洞、臨濟、淨土、眞宗、眞言、日蓮ノ六宗アリ、寺院四十七ヶ寺尼庵十五庵アリ、丁年以上ノ僧侶ヲ以テ會員トシ出石郡中ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

- 理事 伊藤禪優 (會長)
- 同 河村宗定 (會計)
- 評議員 金谷正哲 同 三好能淳
- 同 末澤龍雄 同 森本俊哲

維持方法

昭和二年度決算額 歳入 二、六八八、二〇〇 歳出 二、六一七、二〇〇 奨励金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

- 一、金三百圓 昭和二年二月十日 御下賜金
- 一、金百七十圓 昭和二年十二月九日 司法省ヨリ
- 一、金三百圓 昭和三年二月十一日 御下賜金

名稱 出石郡佛教各宗聯合會

事務所々在地 出石郡出石町吉祥寺内

創設年月日 大正十年六月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤禪優

沿革概要

従前ヨリ出石町寺院懇話會ナルモノアリ、之ヲ擴大シテ郡内一般寺院ニ示シタルハ明治三十年頃ナリ、大正十年ニ至リ尼庵ヲ加ヘ出石郡佛教各宗聯合會ハ改メ各町村及

寺院住職人ノ負擔トス

昭和二年度決算額 歳入 二二〇、八〇 歳出 二二二、八〇

昭和二年度決算額 歳入 一八五、五三 歳出 二二二、八〇

昭和三年度決算額 歳入 二二二、八〇 歳出 二二二、八〇

備考

本會ニハ會長ヲ置カス理事二名ノ内一名ヲ會長ニ代フ

外ニ臨時講師若干名ヲ互選ス

名稱 加古川町四恩會

事務所々在地 加古郡加古川町篠原町善照寺内

創設年月日 大正十一年十一月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 北村義照

沿革概要

本會ハ豫テ町内各寺住職集リテ思想善導町風振興ニ關シタル事業ヲナスヘク計畫中幸ニ小山町長ヨリ提議サレシ

ヲ以テ之ヲ好機トシテ小山町長援助ノ下ニ本會ヲ設立シ其ノ第一歩トシテ托鉢ヲナシ其ノ收獲ノ寄捨金ヲ基本トシテ第一回講演會ニ福來友吉博士ヲ招聘シテ發會式ヲ開クニ至ル維時大正十一年十一月七日ナリ爾來今日ニ至ル目的及事業種類

イ、目的

本會ハ通佛敎主義ニヨリテ報恩觀念ヲ標識トシ國民精神ノ剛健、宗敎的の信念ノ發揚ニ努メ治世和平ノ實ヲ擧クルヲ目的トス

ロ、事業

一、講演、屋内及路傍 二、文書宣傳ハ報恩ヒラト稱スル印刷物ヲ毎月町内各戸ニ配布ス、毎年釋尊降誕ノ花祭ニハ學童ニ童話ヲ爲シ雜誌ヲ施與ス

主ナル役職名並其氏名

本會ハ會長其ノ他ノ役員ヲ置カス各寺住職交互ニ事務一切ヲ處理ス事務擔當ノ任期ハ一ケ年トス他ノ三ヶ寺住職及ヒ寺族等ハ之ヲ輔佐ス

維持方法

毎年春秋二期托鉢ニ巡回シテ得タル喜捨金ト町役場ヨリノ補助金トニヨリテ維持ス

昭和二年度豫算額	歳入	三二〇、〇〇〇
	歳出	三二〇、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	二八〇、〇〇〇
	歳出	二八〇、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	三五〇、〇〇〇
	歳出	三一〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無
加古川町役場ヨリ一ケ年一百五十圓ノ補助金ヲ受ク

名稱 神戸參陵會

事務所々在地 神戸市宮本通三丁目七番地(筒井八幡神社内)

創設年月日 大正十一年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 黒瀬弘志

沿革概要

我帝國ノ敎ヲ立ツルヤ忠孝ヲ以テ基トスルハ茲ニ論ヲ俟タス、既ニコノ立敎ノ基礎アリ、臣子ヲシテ常ニ敬始尊本ノ念ヲ涵養シ以テ忠孝ノ精神ヲ充實セシメサルヘカラス夫レ敬始尊本ノ涵養ノ法タル固ヨリ一ナラスト雖モ歴朝ノ天皇其祖宗ニ奉シ給フノ勸旨ヲ奉體シ列聖ノ山陵ヲ順拜スルハ其良法ノ最タルモノナリ乃チ身心ヲ淨メ親シク現地ニ莅ミ一タヒ陵前ニ拜跪セハ恰モ古先帝王ニ咫尺シ奉リ其萬感ニ觸ル、カ如ク、敬虔ノ念油然而シテ湧起シ眞ニ帝國國民タルノ念滿身ニ滂沱タルヲ覺ユ本會ハ此ノ目的ヲ以テ大正十一年十一月三日創立シ其當時ハ無會費ナリシモ却テ愛會ノ念乏シク斯クテハ不敬ノ行爲ヲ敢ヘテスルモノナキヤヲ憂ヒ大正十二年四月ヨリ月額貳拾錢ノ會費ヲ徵シ昔ノ跡ナル小冊子ヲ刊行配付シ尙大正十三年四月ヨリ會費ヲ増額シテ一面會ノ財政ヲ鞏固ナラシムルコトニセリ、然シテ今日迄ニ促シタル例會ノ回ヲ重

ヌルコト五十一講演會ヲ開キ文書ノ宣傳等ヲナシタルコト數回ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 皇陵ヲ巡拜シ皇室尊崇ノ道念ヲ増進シ國民思想ノ向上ニ資スルヲ目的トス

ロ、事業 毎年六回例會ヲ開キテ皇陵並ニ神社佛閣ヲ巡拜シテ史蹟名所ヲ探リ併テ「古キヲ訪ネテ」ナル會報ヲ發行頒布又尙時宜講演會文書ニ依ル思想宣傳等ヲナス

會員數及分布狀況

現在會員 三百五名

其ノ大部分ハ神戸市内在住者ニシテ一部分ハ縣下各市郡及大阪京都方面ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

會長 神戸市長 黒瀬弘志
幹事 小野清人 同 和田陽三